

数量公開用図書

設計

令和7年4月

工事名称 大空団地4街区丘6号棟除却工事

工事場所 帯広市大空町9丁目2番1、2番2の内

※注意事項

- ①本設計書は参考数量として取り扱い、数量の相違については、各々の判断で入札価格に反映させてください。

■設計説明書

- 1 施工理由 本工事は、大空団地4街区丘6号棟除却工事を行うもの。
- 2 工期 契約上の着工日から 令和8年1月27日まで
- 3 仕様書 別紙「特記仕様書」による。

■設計概要

- 1 構造・規模 (丘6号棟) 構造：鉄筋コンクリート造4階建
建築面積： 387.23m²
延床面積：1,504.04m²

(自転車置場棟) 構造：鉄骨造平屋建
建築面積： 21.60m²
延床面積： 21.60m²

(受水槽棟) 構造：コンクリートブロック造平屋建
建築面積： 18.36m²
延床面積： 18.36m²
- 2 工事内容 丘6号棟、自転車置場棟、受水槽棟の解体及び撤去、その他付帯設備等の撤去、電気設備の撤去、機械設備の撤去

(工事価格 _____)

(_____)

(_____)

解体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
1 住棟解体工事	住棟解体	1	式		
計					
2 受水槽棟解体工事	受水槽棟解体	1	式		
計					
3 アスベスト除去工事	外壁下地調整材除去	1	式		
3 アスベスト除去工事	その他	1	式		
3 アスベスト除去工事	住居棟 成形板等除去	1	式		
3 アスベスト除去工事	住居棟 保温材(フランジ・エルボ) 撤去	1	式		
3 アスベスト除去工事	受水槽棟 (ユニオン・フランジ等) 撤去	1	式		
計					
5 自転車置場解体工事	自転車置場解体	1	式		
計					
6 外構解体工事	外構解体	1	式		
計					
7 植栽撤去工事	植栽撤去	1	式		
計					
8 電気設備撤去工事	電気設備撤去	1	式		
計					
9 機械設備撤去工事	機械設備撤去	1	式		
計					

解体工事		1 住棟解体工事			住棟解体	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<直接仮設工事>						
桢組本足場 (手摺先行方式) 東西南側	22m未満 建桢900*1700 布桢500+24 0 運搬費共	841	m ²			
桢組本足場 (手摺先行方式) 北側	22m未満 建桢900*1700 布桢500+ 240 運搬費共	591	m ²			
安全手摺 (手摺先行方式) 東西南側	桢組本足場用 運搬費共	73.8	m			
安全手摺 (手摺先行方式) 北側	桢組本足場用 運搬費共	51.9	m			
外部仕上足場 (バルコニー)	脚立足場 転用数4 階高4.0m以下 運搬費共	238	m ²			
内部解体用足場	脚立足場 転用数4 階高4.0m以下 運搬費共	1,400	m ²			
内部階段用足場	階段足場 運搬費共	104	m ²			
足場側面 養生シート 東西南側	防災1類 運搬費共	841	m ²			
足場側面 養生シート 北側	防災1類 運搬費共	591	m ²			
小幅ネット張り (層間塞ぎ) 東西南側	防災ボ リエステル RC造標準日数 修理費含む 4階建 建築面積2,000m ²	295	m			
小幅ネット張り (層間塞ぎ) 北側	防災ボ リエステル RC造標準日数 修理費含む 4階建 建築面積2,000m ²	208	m			
<躯体とりこわし>						
コンクリートとりこわし	RC造 地上部 圧砕機 標準	640	m ³			
コンクリートとりこわし	RC造 土間コン 圧砕機 標準	1.9	m ³			
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 圧砕機 -	81.3	m ³			
コンクリートとりこわし	捨コンクリート	9.5	m ³			
鉄筋切断		723	m ³			
埋戻し	土間下流用	1.5	m ³			
とりこわし機械 運搬 (パームマシン, バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.8m ³	2	往復			

解体工事		1 住棟解体工事			住棟解体	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし機械 運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.5m3	1	往復			
とりこわし機械 運搬	ハイアーム アーム取付用クレーン	1	往復			
とりこわし機械 積込	ハイアーム アーム取付用クレーン	2	回			
とりこわし機械 組立	ハイアーム アーム取付用クレーン	1	回			
とりこわし機械 解体	ハイアーム アーム取付用クレーン	1	回			
〈杭引抜き〉						
杭撤去工	PC300φ L=7m GL-1.5m未満頭出し手間共	109	本			
重機組立・解体	重機本体組立・解体	1	回			
重機運搬費	重機本体	2	台			
重機運搬費	リフト-他	4	台			
重機運搬費	バックホウ0.45m3	2	台			
鉄筋切断		33.7	m3			
埋戻し	杭抜き部 砂(人力)	52.9	m3			
〈外部仕上とりこ わし〉						
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	646	m ²			
屋根とりこわし	野地板撤去	596	m ²			
屋根とりこわし	小屋組撤去	481	m ²			
庇部 屋根とりこわし	小屋組撤去	6.8	m ²			
コーナーソケット撤去	集積共	5.4	m			
バルコニー 手摺笠木撤去	木下地共 カー鉄板t0.4 糸尺350	208	m			

解体工事		1 住棟解体工事		住棟解体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バルコニー スチール手摺撤去	H=1,100	208	m			
建具 開口部撤去	枠共 集積共 AD、AW	244	m ²			
建具 シーリング撤去	集積共	769	m			
バルコニー 吊環撤去	スチール 19φ 150φ	6	か所			
バルコニー 軒天換気ハブ撤去	塩ビ 80φ L140	48	か所			
バルコニー 隔て板枠撤去	スチール 1,000×950	20	か所			
バルコニー 物干金物撤去	スチール 400×530	36	か所			
バルコニー 物干金物撤去	スチール 400×640	12	か所			
バルコニー 堅樋撤去	白ガ 水管50φ	21.6	m			
バルコニー フロアトレッド撤去	50φ	12	か所			
バルコニー 避難ハッチ撤去	t4.5 450角	6	か所			
バルコニー 避難梯子撤去	H=1,300	6	か所			
床下換気口撤去	鋳鉄製 360×150	22	か所			
梯子撤去	スチール H=11,300	1	か所			
陣笠撤去	スチール	6	か所			
外壁 棟番号撤去	スチール	2	か所			
煙突 灰出し口撤去	鋳鉄製	6	か所			
<内部仕上とりこ わし>						
浴室床 無筋コンクリート とりこわし	厚200未満	7.1	m ³			
浴室床 アスファルト防水撤去	防水層撤去	89.3	m ²			

解体工事		1 住棟解体工事		住棟解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装材とりこわし	木造床組 集積共	729	㎡			
内装材とりこわし	押入棚 木下地	145	㎡			
畳撤去	一畳 集積共	186	枚			
畳撤去	半畳 集積共	18	枚			
床 断熱材撤去	合成樹脂発泡材t25	385	㎡			
床 化粧フロア撤去	集積共	633	㎡			
床 合板撤去	集積共	96.3	㎡			
床 断熱材撤去	グラスウール#50 t PF0.15 t 共	171	㎡			
床 ノスリップ 撤去	スチール W=35	116	m			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	2.1	㎡			
床 断熱材撤去	発泡ウレタン t 45	82	㎡			
床 アルミ製への字撤去	W=25	10.3	m			
木製幅木撤去	集積共	712	m			
タタキ寄撤去	60×24	503	m			
雑巾摺撤去	20×15	175	m			
モルタル巾木撤去	t20 H100	97.2	m			
内装材とりこわし	開口部 集積共 SD-36カ所、WW-38カ所、WD-123カ所、PW-34カ所、F-96カ所、R-24カ所	801	㎡			
内装材とりこわし	間仕切壁仕上(ホート片面) 集積共 合板撤去	683	㎡			
内装材とりこわし	間仕切壁仕上(ホート片面) 集積共 ハッカーホート	25.9	㎡			

解体工事		1 住棟解体工事		住棟解体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内装材とりこわし	間仕切壁仕上(ボード片面) 集積共 プリントボード	2,092	m ²			
内装材とりこわし	2丁掛けタイル 集積共	1.6	m ²			
内装材とりこわし	間仕切壁下地(ボード別途) 集積共	1,028	m ²			
内装材とりこわし	木胴縁	1,594	m ²			
内装材とりこわし	アルミアングルL-15*15 集積共	43	m			
付鴨居撤去	40×24	1,395	m			
壁 断熱材撤去	合成樹脂発泡材t25	1,038	m ²			
壁 断熱材撤去	発泡ウレタンt25	220	m ²			
壁 断熱材撤去	発泡ウレタン t 45	390	m ²			
壁 断熱材撤去	発泡ウレタン t 30	118	m ²			
階段 スチール手摺撤去	H=900~2,300	27.6	m			
内装材とりこわし	天井下地(ボード別途) 集積共	190	m ²			
内装材とりこわし	天井仕上(ボード) プリントボード 集積共	70.1	m ²			
天井 断熱材撤去	合成樹脂発泡材t25	181	m ²			
天井 断熱材撤去	合成樹脂発泡材t38	322	m ²			
天井 断熱材撤去	発泡ウレタンt25	71.3	m ²			
天井 断熱材撤去	発泡ウレタン t 30	67.3	m ²			
木製廻り縁撤去	集積共	1,616	m			
木製カーテンレール受撤去	集積共	61.2	m			
住戸窓 落下防止柵撤去	アルミ製 1,530×700	48	か所			

解体工事		2 受水槽棟解体工事		受水槽棟解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<直接仮設工事>						
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 平家用 運搬費共	18.4	m ²			
<躯体とりこわし>						
コンクリートとりこわし	RC造 地上部 圧砕機 標準	3.9	m ³			
コンクリートとりこわし	RC造 土間部 圧砕機 標準	2.6	m ³			
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 圧砕機 -	3.3	m ³			
コンクリートとりこわし	捨コンクリート	0.5	m ³			
鉄筋切断		9.7	m ³			
コンクリートブロック造 とりこわし		5.7	m ³			
土間下 断熱材撤去	ポリフィルムt0.1共 合成樹脂発泡材t25	17.1	m ²			
地中梁 断熱材撤去	合成樹脂発泡材t25	16.7	m ²			
埋戻し	土間下流用	1.9	m ³			
<外部仕上とりこわし>						
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	32.7	m ²			
屋根とりこわし	野地板撤去	25.5	m ²			
屋根とりこわし	小屋組撤去	25.5	m ²			
内装材とりこわし	開口部 集積共	1.4	m ²			
内装材とりこわし	天井仕上(ボート) 石膏ボート 集積共	4.6	m ²			
内装材とりこわし	天井下地(ボート別塗) 集積共	4.6	m ²			
天井 廻り縁撤去	一般 集積共	39	m			

解体工事		3 アスベスト除去工事		外壁下地調整材除去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
〈養生・機材〉						
作業床面防汚養生	ホリシート2層 t 0.15	123	m ²			
足場内壁飛散防止養生	ホリシート1層 t 0.1	1,432	m ²			
足場天井飛散防止養生	ホリシート2層 t 0.15	123	m ²			
足場布板等横架材防汚養生	ホリシート2層 t 0.15	1,720	m ²			
建具等開口部防汚養生	ホリシート1層 t 0.1	240	m ²			
前室設営		6	か所			
高性能真空掃除機設置		50	日			
エアレスブレー装置設置		50	日			
発電機	10 k va 2台	1	式			
資機材運搬費		1	式			
〈安全衛生保護具〉						
全面型粉塵防じんマスク		8	面			
全面型粉塵防じんマスクフィルター		108	個			
半面型粉塵防じんマスク	(養生撤去時)	6	面			
半面型粉塵防じんマスクフィルター	(養生撤去時)	28	個			
防護服保護具等		1	式			
アスベスト廃棄用ポリ袋		1	式			
エアージャワフィルター		30	枚			
〈含有建材除去〉						

解体工事		3 アスベスト除去工事		住居棟 成形板等除去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
〈養生・機材〉						
作業床面防汚養生	ポリシート2層 t 0.15	1,152	㎡			
〈安全衛生保護具〉						
半面型粉塵防じんマスク		22	面			
半面型粉塵防じんマスクフィルター		278	個			
防護衣		1	式			
アスベスト廃棄用ポリ袋		1	式			
〈含有建材除去〉						
事前事後清掃		1,152	㎡			
内装材とりこわし (アスベスト含有)	床クッションフロア ー 集積共	358	㎡			
含有建材除去	壁ビニールクロス ー 集積共	1,233	㎡			
含有建材除去	壁ボード ー 重張 集積共 珪酸カルシウム板	0.4	㎡			
含有建材除去	壁ボード ー 重張 集積共 フレキシブルボード・大平板	421	㎡			
含有建材除去	天井ビニールクロス 集積共	4.2	㎡			
含有建材除去	天井ボード ー 重張 集積共 フレキシブルボード	143	㎡			
含有建材除去	屋根 ルーフینگ ー 集積共 受水槽6含む	622	㎡			
含有建材除去	スレート管撤去煙道受 105φ L=250 アスベスト含有	48	か所			
飛散防止剤吹付	除去面	1,233	㎡			
廃含有建材密封処理	密封処理	1,233	㎡			
飛散防止剤吹付	シート面	1,152	㎡			

解体工事		8 電気設備撤去工事			電気設備撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
〈電灯設備撤去工事〉						
照明器具A 白熱灯器具 撤去	シーリングライト 再利用しない IL60W×1	24	個			
照明器具B 白熱灯器具 撤去	シーリングライト 再利用しない IL40W×1	24	個			
照明器具C 白熱灯器具 撤去	シーリングライト 再利用しない GW60W×1	24	個			
照明器具D 白熱灯器具 撤去	コップ型 フラケット 再利用しない IL40W×1	48	個			
照明器具E 蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 V型 再利用しない	3	個			
照明器具F 蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 V型 蓄電池内蔵 再利用しない	12	個			
照明器具G 蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 防水型 再利用しない	3	個			
照明器具J 蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 再利用しない	3	個			
〈幹線設備撤去工事〉						
600V絶縁電線 撤去	管内 14mm2 × 1本 再利用しない	42.8	m			
600V絶縁電線 撤去	管内 38mm2 × 1本 再利用しない	25.2	m			
600V絶縁電線 (PF管内) 撤去	管内 100mm2 × 1本 再利用しない	128	m			
薄鋼電線管 撤去	(C63) 再利用しない	42.5	m			
薄鋼電線管 撤去	(C39) 再利用しない	7.5	m			
ブルボックス撤去	SS300×350×200 再利用しない	3	個			
集合計器盤撤去	H1350×850×D180 MCCB2P20A×10	3	面			
電灯分電盤撤去	H230×W330×60 鋼板製 再利用しない	24	面			
引込開閉器盤撤去	350×600×150 CKS 3P150A	1	面			
鋼管柱撤去		1	本			

解体工事		9 機械設備撤去工事		機械設備撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
〈屋外給水設備撤去工事〉						
配管切断 (樹脂管類) ・手間のみ	配管切断 50A 保温無	1	か所			
量水器さょう撤去	再利用しない コンクリート製	1	個			
量水器取外	撤去後 市へ返却 隔測式 50	1	個			
ポリエチレン管(給水) (一般)撤去	再使用しない 一般 50A	47	m			
根切り(機械)	バックホウ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	35.3	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	35.3	m3			
As舗装切断	t=15cm以下	4.4	m			
As舗装取壊	車道8cm	1.9	m ²			
舗装復旧		1.9	m ²			
舗装表層	密粒度 3cm 小規模	1	式			
アスファルト安定 処理	密粒度 5cm 小規模	1	式			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
〈屋外排水設備撤去工事〉						
①汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×500H 樹蓋共	1	組			
②汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×510H 樹蓋共	1	組			
③汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×530H 樹蓋共	1	組			
④汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×670H 樹蓋共	1	組			
⑤汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×680H 樹蓋共	1	組			
⑥汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×700H 樹蓋共	1	組			

解体工事		9 機械設備撤去工事		機械設備撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
⑦汚水樹撤去	再使用しない 600Φ×840H 樹蓋共	1	組			
⑧汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×850H	1	組			
⑨汚水樹撤去	再利用しない 600Φ×870H	1	組			
⑩汚水樹撤去	再使用しない 600Φ×950H	1	組			
配管切断 (樹脂管類) ・手間のみ	配管切断 100A 保温無	1	か所			
硬質塩化ビニル管 (給水、排水、通 気) (一般) 撤去	再使用しない 一般 100A	50.5	m			
根切り(機械)	バックホ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式カラー型	20.2	m3			
埋戻し	機 械 バックホ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式カラー型	20.2	m3			
排水樹洗浄消毒費	600φ	10	個			
排水管高压洗浄消 毒費 (屋外、屋内)	100A	50.5	m			
〈屋外ガス設備撤 去工事〉						
本管取出撤去費	供給ガス会社工事 舗装復旧工事共 地中ボール弁・弁きょう撤去含む	1	式			
鋼管(ねじ接合) (一般) 撤去	再使用しない 一般 50A	61.3	m			
根切り(機械)	バックホ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式カラー型	11.4	m3			
埋戻し	機 械 バックホ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式カラー型	11.4	m3			
〈衛生器具設備撤 去工事〉						
大便器撤去	タンク式 再利用しない C-14 隅付ロータンク	24	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再利用しない L-230D 壁掛形	24	組			
衛生器具清掃消毒 費	大便器	24	個			
衛生器具清掃消毒 費	洗面器	24	個			

解体工事		9 機械設備撤去工事			機械設備撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
〈屋内給水設備撤去工事〉						
集中検針盤	再使用しない 露出形 8戸用	3	個			
量水器取外	返却後 市へ返却 13Φ	24	個			
共用部 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 50A	1	m			
共用部 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 40A	54.7	m			
共用部 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 32A	15.6	m			
共用部 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 20A	68.4	m			
共用部 給水管 保温撤去	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 50A 再使用しない	1	m			
共用部 給水管 保温撤去	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 40A 再使用しない	39.1	m			
共用部 給水管 保温撤去	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラスクロス 40A 再使用しない	15.6	m			
共用部 給水管 保温撤去	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラスクロス 32A 再使用しない	15.6	m			
共用部 給水管 保温撤去	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A 再使用しない	68.4	m			
住戸内 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 20A	317	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内、パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A 再使用しない	185	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 露出、パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A 再使用しない	132	m			
〈屋内排水設備撤去工事〉						
共用部 硬質塩化ビニル管 撤去	再使用しない 一般 100A	18	m			
共用部 硬質塩化ビニル管 撤去	再使用しない 一般 65A	39.6	m			
共用部 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 25A	50.4	m			
共用部 鋼管（ねじ接合） （一般）撤去	再使用しない 一般 50A	23.4	m			

解体工事		9 機械設備撤去工事		機械設備撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
共用部 排水管高圧洗浄消毒費	100A	18	m			
共用部 排水管高圧洗浄消毒費	65A	39.6	m			
根切り(機械)	バックホウ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	10.6	m3			
埋戻し	機械 バックホウ 0.28m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	10.6	m3			
住戸内 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 100A	62.4	m			
住戸内 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 75A	7.2	m			
住戸内 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 65A	93.6	m			
住戸内 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 50A	170	m			
住戸内 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 40A	19.2	m			
排水管 保温 撤去	露出 GW 100A	62.4	m			
排水管 保温 撤去	露出 GW 75A	7.2	m			
住戸内 排水管高圧洗浄消毒費	100A	62.4	m			
住戸内 排水管高圧洗浄消毒費	75A	7.2	m			
住戸内 排水管高圧洗浄消毒費	65A	93.6	m			
住戸内 排水管高圧洗浄消毒費	50A	170	m			
住戸内 排水管高圧洗浄消毒費	40A	19.2	m			
〈屋内ガス設備撤去工事〉						
共用部 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 40A	47.7	m			
共用部 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 20A	28.8	m			
住戸内 鋼管(ねじ接合) (一般)撤去	再使用しない 一般 20A	228	m			

解体工事		9 機械設備撤去工事		機械設備撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガスロック類撤去	15	72	個			
〈換気設備撤去工事〉						
壁換気扇撤去	200Φ	24	台			
〈受水槽棟設備撤去工事〉						
受水槽撤去	FRP製 再使用しない 2.5×2.0×1.0H	1	台			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般 65A	0.9	m			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般 50A	8.3	m			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般 40A	6.1	m			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般 20A	3.3	m			
給水・排水・給湯保温 撤去	機械室 露出 GW 65A	0.9	m			
給水・排水・給湯保温 撤去	機械室 露出 GW 50A	8.3	m			
給水・排水・給湯保温 撤去	機械室 露出 GW 40A	5.4	m			
蒸気管保温 撤去	機械室 露出 GW 20A	3.3	m			
搬出費	単独搬出 250kg以下	0.1	t			
浸透樹撤去	再使用しない 600Φ×1600H MHB-R	1	組			
硬質塩化ビニル管（給水、排水、通気）（一般）撤去	再使用しない 一般 100A	2.3	m			
硬質塩化ビニル管（給水、排水、通気）（一般）撤去	再使用しない 一般 75A	1.5	m			
排水樹洗浄消毒費	600φ	1	個			
排水管高圧洗浄消毒費（屋外、屋内）	100A	2.3	m			
排水管高圧洗浄消毒費（屋外、屋内）	75A	1.5	m			

解体工事		10 発生材積込運搬費		発生材積込運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート類 集積、積込み	機 械	882	m3			
内装材 積込み	機 械 木材	186	m3			
内装材 積込み	機 械 木材以外	328	m3			
(発生材運搬)						
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 鉄筋コンクリート DID区間無し 2.0km以下	772	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 2.0km以下	110	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 アスファルト塊 DID区間無し 2.0km以下	33.6	m3			
とりこわし 発生材運搬 木くず	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 木材類 DID区間無し 2.0km以下	186	m3			
とりこわし 発生材運搬 有価物	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 11.0km以下	26.9	m3			
とりこわし 発生材運搬 ガラス・陶器類	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間無し 2.0km以下	8.3	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃プラスチック	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 5.0km以下	21.9	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃プラスチック FP板	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 8.5km以下	79.2	m3			
とりこわし 発生材運搬 ガラスウール	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 31.5km以下	11.7	m3			
とりこわし 発生材運搬 畳	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 60.0km以下	19.3	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃石膏ボード	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 石膏ボ ード 類 DID区間有り 11.0km以下	19.5	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃蛍光管、廃電球	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 11.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬 安定器 PCBを含まないもの	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 11.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬 アスファルト防水	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 60.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬 石綿混合含有	ダンプトラック 10t積級 バ ックホ 0.8m3 仕上材・材料類 DID区間有り 60.0km以上					

解体工事		11 発生材処分費		発生材処分		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物処理料金	中間処理 鉄筋コンクリート	1,855	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 無筋コンクリート	230	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 アスファルト塊	78	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 木くず	64.9	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 有価物処理	22.6	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 ガラス、陶磁器くず	6.4	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 廃プラスチック	5.6	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 廃プラスチック FP板	2.8	t			
産業廃棄物処理料金	最終処分 ガラスウール	0.4	t			
産業廃棄物処理料金	最終処分 畳	7.7	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 廃石膏ボード	14.6	t			
産業廃棄物処理料金	中間処理 廃蛍光灯、廃電球 (50kg未満)	1	式			
産業廃棄物処理料金	中間処理 安定器 PCBを含まないもの (50kg未満)	1	式			
産業廃棄物処理料金	中間処理 リチウム電池 CR型 (20kg未満)	1	式			
産業廃棄物処理料金	有価物処理 IV線	0.1	t			
産業廃棄物処理料金	最終処分 アスファルト防水	1.3	t			
産業廃棄物処理料金	最終処分 吹付材 飛散性アスベスト	2.9	t			
産業廃棄物処理料金	最終処分 スレート、フレキ類 等 非飛散性アスベスト	18.8	t			
循環税相当額	税率 -					
		31.1	t			

大空団地4街区丘6号棟除却工事

特記仕様書

令和 7 年 4 月

帯広市都市環境部都市建築室住宅営繕課

● 解体工事特記仕様書

I 工事概要及び範囲

II 各 工 事

- 第1章 一般共通事項
- 第2章 仮 設 工 事
- 第3章 解 体 施 工
- 第4章 建設廃棄物の処理
- 第5章 特別管理産業廃棄物等の処理等
- 第6章 石綿含有建材の除去及び処理
- 第7章 特殊な建設副産物の処理
- 第8章 そ の 他

I 工事概要及び範囲

1. 工事場所 帯広市大空町9丁目2番1、2番2の内

2. 解体する建築物等の概要

(1) 解体建物 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	構造種別・階数	数量	単位	備考
●	丘6号棟	鉄筋コンクリート造 4階建	1,504.04	m ²	詳細は図示による
●	受水槽棟6	コンクリートブロック造 平屋建	18.36	m ²	詳細は図示による
●	自転車置場	鉄骨造 平屋建	21.6	m ²	詳細は図示による
○					
○					

内訳

	名称	構造	階数	型別	戸数	延べ面積	備考
●	丘6号棟	鉄筋コンクリート造	4	2DK	戸	1,504.04m ²	
				2LDK	戸		
				3DK	24戸		
				住戸計	24戸		
○				2DK	戸	m ²	
				2LDK	戸		
				3LDK	戸		
				住戸計	戸		
○				2DK	戸	m ²	
				2LDK	戸		
				3LDK	戸		
				住戸計	戸		
○				2DK	戸	m ²	
				2LDK	戸		
				3LDK	戸		
				住戸計	戸		

(2) 解体付帯施設等 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	品 種	規格	数量	単位	備考
●	アスファルト舗装ほか			1	式	詳細は図示による
●	樹木			1	式	詳細は図示による
●	地中埋設物			1	式	詳細は図示による
○						
○						

3. 建物の解体後に設置する工作物等（塀、柵等） ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	品 種	規格	数量	単位	備考
○	木製防護柵	焼き丸太	H=1,000		m	範囲は、図面による
○	鋼製防護柵	丸パイプ	H=1,000		m	範囲は、図面による
○						
○						
○						

4. 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の対象の有無 ● 有 ○ 無

5. 指定部分工事

(1) 工事範囲

(2) 指定工期 契約日より 令和 年 月 日まで

II 各 工 事

1. 図面(閲覧用設計書を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和4年版(各工事編)」(以下「標準仕様書」という)、「公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版(各工事編)」(以下、改修標準仕様書」という)、「公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版」、「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という)及び、「北海道建設部土木工事共通仕様書(令和4年10月版)」による。
2. 特記事項の適用については次による。
 - (1) 章は●印を、項目は▶印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
 - ・ ●印の付かない場合は、*印の付いたものを適用する。
 - ・ ●印と*印の付いた場合は、共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。
3. この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。
4. 本工事における工事監理業務委託の有無 ○ 有 * 無
5. 石綿含有建材の事前調査
あらかじめ関係法令に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。
7. 調査範囲に係る既存の設計図書の貸与をする。
 4. 調査は、既存の設計図書、石綿含有建材の調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査により確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。なお、分析調査を行う場合は「建材中の石綿含有率の分析方法について」(平成18年8月21日基発第0821002号、最終改正 令和3年12月22日 基発1222第17号)に基づき、定性分析又は定量分析を行うこととする。
 - ウ. 調査結果を監督員に報告する。
6. 次の場合に該当し、発注者が必要と認める場合は、設計変更する。
ただし、概数の確定による変更は除く。
 - (1) 設計図書間に不一致等がある場合
設計図書に記載されている内容が数量総括表等と一致しない、又は脱漏している場合等
 - (2) 設計図書と現場の状態とに不一致等がある場合
 7. 設計図書により示した条件と現場の状態が一致しないことにより施工方法・範囲の変更を必要とする場合等
 4. 設計図書のとおりに施工することにより施設利用者又は使用者の利便性、安全性を損ねることが判明した場合等
 - ウ. 受注者からの提案に基づく施工方法が設計図書のとおりに施工することより経済性、工法的に合理性があると判明した場合等
 - (3) 関係機関等との協議結果による工法変更及び仮設工変更等がある場合
なお、大空間等の仮設工事において施工条件に変更が生じた場合や受注者からの提案がより経済性や工法的な合理性に優れていると認められる場合は、原則として設計変更の対象とする。
7. 関係法令等
 - (1) 受注者は、工事の施工に当たり、周辺環境の保全に努めるとともに適用を受ける関係法令等を遵守し、必要に応じて次の関係法令等に従い手続き等を行い、工事を適切に施工すること。
 - ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」という。)
 - ・ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)
 - ・ 資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)
 - ・ ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法(以下「PCB特別措置法」という。)
 - ・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(以下「フロン回収破壊法」という。)
 - ・ ダイオキシン類対策特別措置法

- ・ 労働安全衛生法
- ・ 大気汚染防止法
- ・ 騒音規制法
- ・ 振動規制法
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 石綿障害予防規則
- ・ 特定化学物質障害予防規則
- ・ 建築基準法
- ・ 環境基本法
- ・ 土壌汚染対策法
- ・ 建設副産物適正処理推進要綱

(2) 受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編」及び「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」を遵守し、災害防止に努めること。

8. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。

- ・ 工事場所周辺には、集合住宅や一般住宅があり、通学路に面していることから、
工事に関する騒音・振動・粉塵・工事車両等について周辺住民に対して適切に配置すること。
- ・ 帯広市環境課所管の特定建設作業について、所定の期限まで届け出ること。

● 第 1 章 一般共通事項

記載のない限り1.1.1等の3つの数字は、建築物解体工事共通仕様書の章・節・項を示す

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 道産材等の優先使用	<p>本工事に使用する主要資材は、道産資材及び北海道認定リサイクル製品を使用するよう努めること。（木材及び木材製品は除く。）</p>
▶ 2. 環境への配慮	<p>(1) 環境物品等の調達</p> <p>本工事の資材等に係る環境物品等の調達は、北海道グリーン購入基本方針に基づく現行の環境物品等調達方針により行うよう努める。</p> <p>上記における同調達方針として、資材（材料及び機材を含む）のこん包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷軽減に配慮したものを優先的に選択・使用するように努めること。</p>
▷ 3. 地域材の優先使用	<p>本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。</p> <p>地域材とは、道内の森林で産出され、道内で加工された木材をいう。</p>
▷ 4. 合法木材の使用	<p>木材又は、木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。</p> <p>また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのライドライン」（平成18年2月林野庁）に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して5年間保存すること。</p>
▶ 5. 工事写真	<p>工程写真及び完成写真は、帯広市営繕工事写真撮影要領による。</p>
▶ 6. 技能士	<p>(1) 技能士の適用は次の職種とし、従事する技能士の氏名・職種及び資格を記載した書面により監督員に報告すること。</p> <p>ただし、作業の軽微なものは、監督員との協議により省略することができる。</p> <p>なお、施工計画書等の記載事項や添付資料（資格証明等）により、選定技能士の内容が確認できる場合も「技能者選定通知書」の提出を省略できる。</p> <p><職種></p> <p>型枠施工・鉄筋施工・防水施工・内装仕上げ施工・サッシ施工・ガラス施工・表装・塗装・建築板金・石材施工・建築大工・とび・左官・ブロック建築・タイル張り・エーエルシーパネル施工・カーテンウォール施工・造園・樹脂接着剤注入施工・コンクリート圧送施工・冷凍空気調和機器施工・配管・熱絶縁施工・枠組壁建築、厨房設備施工、自動ドア施工、バルコニー施工、ウェルポイント施工、建具製作、畳製作</p> <p>(2) 技能士は、職業能力開発促進法による1級、2級若しくは単一等級の資格を有し、地域技能士会の発行する資格証明書又は、技能検定合格書の写し或いは、技能士手帳の写しを上記（1）の書面に添付すること。</p> <p>(3) 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p>

▶ 7. 施工中の安全確保及び環境保全等	<p>受注者は、標準仕様書に定められた安全確保及び環境保全等のほか、特に次の事項に留意し、工事現場の事故防止に努めること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働者の安全衛生教育を徹底すること。 (2) 工事現場の安全パトロールを励行すること。 (3) 建設機械器具などの危害防止処置を徹底すること。 (4) 第三者に災害を及ぼしてはならない。 (5) 公害防止に努めること。 (6) 公道の汚染防止に努めること。 (7) 善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置は、監督員と協議する。
▶ 8. 交通安全管理	<p>受注者は、工事の施工中の交通事故防止のため交通安全管理に努め、次の事項を遵守する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 工事施工中の安全管理について、工事着手に先立ち作成する総合施工計画書で計画する。 なお、計画は資材搬出入運行路線・点検体制・その他車両運行に係る安全対策等について道路管理者等関係機関と十分な事前協議を行い、以後も常に連絡を密にとりながら適切な処置を講じるものとする。 (2) 常に下請負人も含め工事施工中の交通安全管理状況の把握に努め、管理状況を適宜、監督員に報告する。 (3) 工事に関連して交通事故が発生したときは速やかに書面により監督員に報告する。 (4) 運搬には、許可業者を選定するなどして、過積載又は過労運転等に伴う交通事故防止に努める。 (5) 建設機械（ブルドーザー、バックホ等）は、排出ガス対策型を使用し、かつ、低騒音・低振動型の車両を使用すること。
▶ 9. 工事完成時の提出図書等	<p>工事が完成した時は、帯広市営繕工事現場管理要領により、書類を整理のうえ、イージーキャビネット（A4版）に収納し提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 電子データ（完成図のCADデータ・完成写真） CD-R等による提出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計原図の貸与 * 有り ○ 無し ・ CADデータの貸与 * 有り ○ 無し <p style="margin-left: 40px;">※CADデータの貸与有りの場合 * 完成図のCADデータ及びPDFデータ CD-Rによる。</p> (2) 保全に関する資料（提出部数 * 1部 ○ 部） (3) その他、必要とする書類については、監督員の指示による。
▶ 10. 工事特性・創意工夫・社会性等	<p>受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や社会性等及び技術力に関する事項について工事完了時まで所定の様式により提出することができる。</p>
▶ 11. 北海道循環資源利用促進税	<p>本工事で発生する産業廃棄物が、道内の最終処分場に直接搬入される場合、又は中間処理場に搬入される場合でも残さ等が発生し、最終処分場に搬出される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。</p>
▷ 12. 自主施工期間の施工条件	<p>自主施工期間中は、低温時施工により品質管理上支障の起こす恐れのない工種は、これを積極的に活用できる。 ただし、支障の起こす恐れのある次の工種は、工法等を監督員と十分協議の上、施工するものとする。</p>
▶ 13. 法定外の労災保険の付保	<p>本工事の受注者は、下記に従い、法定外の労災保険に付さなければならない。</p>

	<p>(1) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害（後遺障害、死亡を含む）を被った場合に、法定労災保険の給付に上乗せして雇用者が従業員等又はその遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。</p> <p>(2) 受注者は、本請負工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」（以下、「法定外労災保険」という。）を締結しなければならない。本請負工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着工の前に「法定外労災保険」を締結すること。</p> <p>(3) 受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(4) 契約書第23条に基づき本工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険適用外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 本工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無等の契約内容は問わず、保険契約の事実のみを求めるものとする。</p> <p>工事施工に際しては、職業安定機関と密接な連携を図り、季節労働者などの雇用の拡大に努めること。</p>
▶ 14. 季節労働者などの雇用	
▶ 15. 現場環境改善	魅力ある建設工事を推進するため、工事現場の環境改善に努めること。
▶ 16. 快適トイレの設置	<p>本工事は、「快適トイレ設置工事」の対象工事である。</p> <p>(1) 受注者が当該工事の現場に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに働きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討すること。</p> <p>(2) 快適トイレとは、次の1)及び2)の各項目を全て満たすものとする。3)については、必須ではないが、装備していればより快適になると思われる項目なので、設置を検討すること。</p> <p>1) 快適トイレに求める標準仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 洋式（洋風）便器 ② 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付き含む） ③ 臭い逆流防止機能（フラッパー機能：必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること） ④ 容易に開かない施錠機能（二重ロック等：二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの） ⑤ 照明設備（電源がなくても良いもの） ⑥ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上） <p>2) 快適トイレとして活用するために備える付属品</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 ⑧ 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 ⑨ サニタリーボックス（女性専用トイレに限る） ⑩ 鏡付きの洗面台 ⑪ 便座除菌シート等の衛生用品 <p>3) 推奨する仕様、付属品</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑫ 便房内寸法900×900mm以上（半畳程度以上） ⑬ 擬音装置 ⑭ 着替え台

- ⑮ フラッパー機能の多重化
- ⑯ 窓など室内温度の調整が可能な設備
- ⑰ 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）

(3) 快適トイレの設置にあたっては、以下に留意する。

7. 男女別で1基ずつ設置することを原則とする。ただし、女性が現場にいない場合はこの限りではない。
 なお、設計変更数量の上限は、男女別で1基ずつ2基／現場まで、一体型で1基／現場までとする。

4. 具体的な実施内容や設置時期については、工事着手前の施工計画書提出時に、(2)の項目を満たすことを確認できる資料（見積書を含む）を監督員に提出し、規格・設置基数等の詳細について、協議のうえ決定すること。

ウ. 手配が困難な場合は、監督員と協議のうえ設置しないことができる。

▶ 17. 建設業退職金共済制度

工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示する。

▶ 18. 発生材の処理等

発生材の処理等は次により、「建設リサイクル法」、「資源有効利用促進法」、「廃棄物処理法」等の関係法令及び「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理すること。

処分を行った場合は、その施設の許可書等（写し）、受入伝票又はマニフェスト伝票等（写し）を監督員に提示すること。

なお、工事完成書類としてマニフェスト伝票等（写し）の提出は求めない。

明示している処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設としているが、処理施設場所を指定するものではない。

受注者の提示する処理施設と積算上の処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、異なる処理施設となった理由が受注者の責によるものでないと判断される場合は、設計変更の対象として扱う。

なお、下記の内容を変更する場合は、別途監督員と協議をすること。

(1) 発生材のうち、引き渡しを要する範囲は次による。監督員の指示する方法及び位置に堆積、整理し所定の発生材報告書により監督員に報告すること。

引き渡しを要する範囲： _____

(2) 受注者が処分する有価物の範囲は次による。

有価物の範囲： 金属

なお、有価物は、次の登録又は許可業者で処分すること。

ア. 廃棄物再生事業者登録（知事登録）

イ. 金属くず商許可業者（警察許可）

また、処分を行った場合は、その施設の許可書（写し）と受入伝票又はマニフェスト伝票等、及び許可書等の写しを監督員に提出すること。

(3) 上記以外のものの処理は、4章「建設廃棄物の処理」及び5章「特別管理産業廃棄物等の処理等」によること。

(4) 建設廃棄物の収集・運搬は、産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた者とする。

当該運搬車には、次に掲げる表示を行い、環境省令で定める書面を備え付けること。

産業廃棄物収集運搬車					
業者名	(○	○	○	○
許可番号	x	x	x	x	x

- (5) 「建設リサイクル法」対象工事及び「資源有効利用促進法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再生資源利用・利用促進計画書を提出し、提出時にその内容を説明するとともに、書面または映像（デジタルサイネージ）により工事現場の見やすい場所へ掲示し、可能な限りインターネットの利用により公表するよう努めなければならない。
- また、工事完了時に再生資源利用・利用促進実施書を提出し、監督員から請求があった時は、当該実施状況を報告すること。
- なお、受注者による再生資源利用（促進）計画書及び実施書の保存期間は工事完成後5年間とする。

資源有効利用促進法で定められた一定規模以上の工事
（次表の一つでも該当するもの）

- 再生資源利用計画書

次のような建築資材を搬入する工事

土	砂	500 m ³ 以上
砕	石	500 t 以上
加熱アスファルト混合物		200 t 以上

- 再生資源利用促進計画書

次のような指定副産物を搬出する建設工事

土	砂	500 m ³ 以上
コンクリート塊		合計
アスファルト・コンクリート塊		200 t 以上
建設発生木材		

- (6) 発生材の処理に関し、変更が生じる場合は、別途、監督員と協議すること。

▶ 19. 工事実績情報の登録

受注者は、受注時、変更時及び完了時に（10日以内）工事実績情報システム（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない（ただし、請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時のみ登録するものとする。）。また、同センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に、提出しなければならない。（対象工事：請負代金額500万円以上の全工事）

▶ 20. 施工体制台帳の整備

建設業法に基づく施工体制台帳を作成し、施工管理体制に関する事項を監督員に提出しなければならない。

また、公衆の見やすい場所に施工体系図を掲示する。

(1.4.1)

▶ 21. 施工調査

工事着手に先立ち、施工計画作成のための調査を行い、調査には、3章「解体施工」以降の各章による施工調査の調査事項を含めるものとする。

▶ 22. 工事標識

受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示する。

	<p>(4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。</p> <p>(5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。</p> <p>(6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。 工事着手前 ・ 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。 ・ 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。</p> <p>(7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。</p> <p>(8) 受注者が月単位の週休2日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、月単位の週休2日に満たない場合は、労務費（工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）の補正について、通期の週休2日の補正係数に設計変更するものとし、通期の週休2日に満たないものは、補正係数を乗じない。</p> <p>(9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。</p> <p>(10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。</p> <p>(11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。</p>
<p>▶ 25. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間</p>	<p>請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、受注者が申出た日とし、工事工程表、総合施工計画書、工事指示・協議書のいずれかで示すこと。 不明な点については、監督員と協議すること。</p>
<p>▶ 26. 電子納品、情報共有システムの活用</p>	<p>受注者が希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品運用ガイドラインに基づき、情報共有システムを活用し、完成図書を電子納品することができる。 また、ICT技術の活用によるWEB会議や遠隔臨場、建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用による施工体制台帳の作成などを希望する場合は、監督員と協議すること。</p>

● 第 2 章 仮 設 工 事

項 目	特 記 事 項												
▶ 1. 監督員事務所及び備品等	<p>監督員事務所 * 設ける ● 設けない (* 10㎡ ○ 20㎡ ○ 35㎡ ○ 65㎡ ○ 100㎡) 程度 備品は次に掲げるものの中から監督員との協議による。 机・椅子・書棚・黒板・寒暖計・ゴム長靴・雨合羽・保護帽・懐中電灯・安全帯・請負者加入電話の子機・衣類ロッカー・暖房機器・消火器・湯沸器・掃除機等</p>												
▶ 2. 工事用便所	* 設ける												
▶ 3. 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる (* 有償 ○ 無償) * 利用できない												
▶ 4. 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる (* 有償 ○ 無償) * 利用できない												
▶ 5. 指定仮設	* 外構撤去図兼仮設計画図による。												
▶ 6. 騒音・粉じん等対策	(1) 建物を解体するに当たり、騒音及び粉じん等の対策のため、次のとおり養生を行う。												
	なお、シート類は、防災処理（防災2類）されたものとする。												
	<table border="1" data-bbox="568 965 1398 1151"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>区分</th> <th>設置範囲及び高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>防音パネル</td> <td rowspan="4">* 図面による</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>防音シート</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>メッシュ金網</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>養生シート</td> </tr> </tbody> </table>	対象	区分	設置範囲及び高さ	○	防音パネル	* 図面による	○	防音シート	○	メッシュ金網	●	養生シート
対象	区分	設置範囲及び高さ											
○	防音パネル	* 図面による											
○	防音シート												
○	メッシュ金網												
●	養生シート												
▶ 7. 足場	足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月策定）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。												
▶ 8. 交通誘導警備員	建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を図ること。 なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による。 配置位置：図面 警備員詰所：(○ 設ける * 設けない) 表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方												
	<table border="1" data-bbox="616 1592 1398 1742"> <thead> <tr> <th>工事現場の出入り口を設ける道路（路線）</th> <th>交通誘導警備員区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地（DID）内の路線</td> <td rowspan="2">交通誘導警備員A</td> </tr> <tr> <td>北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線</td> </tr> <tr> <td>上記以外の路線</td> <td>交通誘導警備員B</td> </tr> </tbody> </table>	工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分	市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A	北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	上記以外の路線	交通誘導警備員B					
工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分												
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A												
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線													
上記以外の路線	交通誘導警備員B												
	市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置すること。												
	交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は、監督員と協議すること。												
▶ 9. 清掃員	建設機械及び車両等の出入りの際には、適宜作業員を配置し、敷地外の道路等を泥等で汚した場合には、速やかに清掃を行うこと。												

▷ 10. 環境測定等	<p>(1) 建設作業騒音レベル測定 <input type="radio"/> 行う <input type="radio"/> 行わない 測定方法： JIS Z 8731の方法に準ずる <input type="radio"/> _____ 測定時期： * 監督員の指示による (_____ 日間 _____ ケ所) 測定場所： <input type="radio"/> 図示による</p> <p>(2) 建設作業振動レベル測定 <input type="radio"/> 行う <input type="radio"/> 行わない 測定方法： JIS Z 8735の方法に準ずる <input type="radio"/> _____ 測定時期： * 監督員の指示による (_____ 日間 _____ ケ所) 測定場所： <input type="radio"/> 図示による</p>
-------------	---

● 第 3 章 解体施工

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 事前措置	<p style="text-align: right;">(3.2.1)</p> <p>(1) 特別管理産業廃棄物等がある場合は、5章「特別管理産業廃棄物の処理等」による処理を行う。</p> <p>(2) 石綿含有建材は、6章「石綿含有建材の除去及び処理」による処理を行う。</p> <p>(3) 特殊な建設副産物は7章「特殊な建設副産物の処理」による処理を行う。</p> <p>(4) 各種設備機器の停止並びに給水、ガス電力及び通信の供給が停止していることを確認すること。</p> <p>(5) ガス管は、供給者と協議の上、処理すること。</p> <p>(6) 給水管は、給水本管の分水部分を閉止し、水道事業者及び道路管理者と協議の上処理すること。</p> <p>(7) 引き込み電気は、施設管理者と打ち合わせの上、処理すること。</p> <p>(8) 電話線の処理は、施設管理者と打ち合わせの上、通信事業者に依頼すること。</p> <p>(9) 建築物の解体に当たり、周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は監督員と協議の上、駆除する。</p> <p>(10) 電気設備のコンデンサは、残留電荷を確認し、残留がある場合は放電を行う。</p> <p>(11) 蓄電池は、充電状態の確認を行い、短縮による事故を防止する。</p> <p>(12) 排水管・排水槽類、浄化槽・衛生陶器類は、汚物の抜き取り及び次により洗浄・消毒を行うこと。 洗浄： 屋外配管及び樹は、洗浄圧力10MPa、吐出量100L/min以上で高圧洗浄を行う。 屋外配管及び樹以外は、洗浄圧力7MPa、吐出量25L/min以上で高圧洗浄を行う。 消毒： 洗浄後に行う。(消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム溶液)濃度100mg/L以上) 消毒後、30分以上放置する。</p> <p>(13) オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油の事前回収及び洗浄 * 適用 <input type="radio"/> _____</p>

	(14) 廃油は5章「特別管理産業廃棄物の処理等」により処理することとし、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。
▶ 2. 解体方法等	<p>原則分別解体を行うこととし、解体手順及び方法は、次による。(3.3.2) ただし、解体施工の技術上これにより難しい場合は、手順を変更し、監督員に報告する。</p> <p>(3.3.2) (3.4.1) (3.5.1)</p> <p>(1) 設備機器及び内・外装材を人力（監督員と協議のうえ必要に応じて機械併用）により取外しする。</p> <p>(2) 屋根葺き材等の取外し ○ 人力 ● 機械併用 (3.3.2) (3.6.1) (3.6.2)</p> <p>(3) 躯体は機械により取壊しする。 (3.8.2)</p> <p>(4) 基礎・杭その他は、騒音・振動等に配慮し取壊しする。 (3.9.1) (3.9.2)</p> <p>(5) 構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管 (3.10.1) (3.11.1)</p>
▶ 3. 基礎等の解体	(1) 建築物、工作物等の土中解体範囲：図面に指定がない場合は、基礎捨てコンクリート（砂利地業を除く）までとする。
▶ 4. 杭の解体	<p>(2) 建築物解体に伴う地下埋設物（排水管・柵・電線管・給水管等）の解体範囲：図面に指定がない場合は、建物周囲とする。</p> <p>(1) 杭の解体の有無 (3.9.2) ● 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無</p> <p>(2) 解体方法（○ 引き抜き工法 ○ 破碎）</p> <p>(3) 杭の解体後は、地盤の安定性を維持するため山砂等の充填材を充填すること。</p>
▶ 5. さく、照明設備等	<p>(1) さく、照明設備等の解体 (3.10.1) ● 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無</p>
▶ 6. 構内舗装、樹木等の処理	<p>(1) 構内舗装等の撤去 (3.11.1) ● 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無</p> <p>(2) 樹木等の撤去 ○ 伐採伐根 ○ 抜根のみ ○ 伐採抜根 ○ 移植 移植場所： * 図面による ○ 監督員の指示による</p>
▶ 7. 地下埋設物、埋設配管等	<p>(1) 地下埋設物、埋設配管等 (3.12.1) ● 有[撤去範囲： * 図面による ○ _____] ○ 無</p>
▶ 8. 整地・埋戻し・盛土	<p>(1) 埋戻し・盛土は、次の材料で行うこと。 (3.13.1) ● 山砂 ● 現場内の良質土 ○ 建設発生土受入 ○ その他 _____</p> <p>(2) 建設発生土受入場所（ _____ ） 受入量 _____ m³</p> <p>(3) 埋め戻し及び敷き均しの工法は、次のとおりとする。 埋戻し方法：各層300mm程度ごとに締固める。 ブルドーザによる押土程度： ○ 15 t ○ 3 t 盛土の高さ： ○ 現状GL+ _____ m ○ 図面による</p>

▶ 9. 建築設備の解体	オイルタンク、オイルサービスタンク及び油管は、洗浄・中和し、洗浄水・スラッジは、廃油として処理すること。
--------------	--

● 第 4 章 建設廃棄物の処理

項 目	特 記 事 項																						
▶ 再資源化等	(1) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物） (4.4.1)																						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">種 類</td> <td>コンクリート塊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先： 山口重機(有)</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (2 km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>アスファルト塊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先： 山口重機(有)</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (2 km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>建設発生木材</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先： 山口重機(有)</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (2 km)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td> <input type="checkbox"/> 金属類 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 木材 </td> </tr> <tr> <td>処理区分</td> <td><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 現場で使用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">場 所</td> <td>受入先：</td> </tr> <tr> <td>片道運搬距離 (km)</td> </tr> </table>	種 類	コンクリート塊	場 所	受入先： 山口重機(有)	片道運搬距離 (2 km)	種 類	アスファルト塊	場 所	受入先： 山口重機(有)	片道運搬距離 (2 km)	種 類	建設発生木材	場 所	受入先： 山口重機(有)	片道運搬距離 (2 km)	種 類	<input type="checkbox"/> 金属類 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 木材	処理区分	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 現場で使用	場 所	受入先：	片道運搬距離 (km)
	種 類	コンクリート塊																					
	場 所	受入先： 山口重機(有)																					
		片道運搬距離 (2 km)																					
	種 類	アスファルト塊																					
	場 所	受入先： 山口重機(有)																					
		片道運搬距離 (2 km)																					
	種 類	建設発生木材																					
	場 所	受入先： 山口重機(有)																					
		片道運搬距離 (2 km)																					
	種 類	<input type="checkbox"/> 金属類 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 <input type="checkbox"/> 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 <input type="checkbox"/> ガラス <input type="checkbox"/> 木材																					
	処理区分	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 現場で使用																					
	場 所	受入先：																					
		片道運搬距離 (km)																					
	(2) その他の発生材 (4.4.1)(4.4.2)(4.4.3)(4.5.1)																						
	種 類	廃石膏ボード																					
	処理区分	<input checked="" type="checkbox"/> 中間処理 <input type="checkbox"/> 最終処分																					
	処分場所	受入先： (有)タナベ																					
		片道運搬距離 (8.7 km)																					
種 類	木くず類																						
処理区分	<input checked="" type="checkbox"/> 中間処理 <input type="checkbox"/> 最終処分																						
処分場所	受入先： 山口重機(有)																						
	片道運搬距離 (2 km)																						
種 類	ガラス、陶磁器類																						
処理区分	<input checked="" type="checkbox"/> 中間処理 <input type="checkbox"/> 最終処分																						
処分場所	受入先： 山口重機(有)																						
	片道運搬距離 (2 km)																						
種 類	廃プラスチック類																						
処理区分	<input checked="" type="checkbox"/> 中間処理 <input type="checkbox"/> 最終処分																						
処分場所	受入先： (株)岩佐																						
	片道運搬距離 (4.6 km)																						
種 類	廃プラスチック類 (FP板)																						
処理区分	<input checked="" type="checkbox"/> 中間処理 <input type="checkbox"/> 最終処分																						
処分場所	受入先： (有)野崎重機建設興業																						
	片道運搬距離 (8 km)																						

種類	グラスウール
処理区分	○ 中間処理 ● 最終処分
処分場所	受入先： (有)旭ヶ丘農場長寿園 片道運搬距離 (21.2 km)
種類	タタミ
処理区分	○ 中間処理 ● 最終処分
処分場所	受入先： 小川建設工業(株) 片道運搬距離 (62.1 km)
種類	廃蛍光灯・廃電球・安定器 (PCBを含まないもの)
処理区分	● 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： (株)北海道エコシス 片道運搬距離 (9.8 km)
種類	アスファルト防水
処理区分	○ 中間処理 ● 最終処分
処分場所	受入先： 小川建設工業(株) 片道運搬距離 (62.1 km)
種類	飛散性アスベスト
処理区分	○ 中間処理 ● 最終処分
処分場所	受入先： 小川建設工業(株) 片道運搬距離 (62.1 km)
種類	非飛散性アスベスト
処理区分	○ 中間処理 ● 最終処分
処分場所	受入先： (有)旭ヶ丘農場長寿園 片道運搬距離 (21.2 km)
種類	硬質塩化ビニル管・継手
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： 片道運搬距離 (km)
種類	配管用グラスウール
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： 片道運搬距離 (km)
種類	ゴムくず
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： 片道運搬距離 (km)
種類	
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： 片道運搬距離 (km)
種類	
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： 片道運搬距離 (km)

▷ 2. 処理に注意を要する建設廃棄物

- 木造建築物を解体する場合 (4.5.1)
CCA含有調査を実施し、含有が確認された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。

処理区分	* 中間処理
処分場所	受入先： 片道運搬距離 (km)

○ 施設管理者による運搬

○ 敷地外に保管
 住 所： _____ (_____ km)
 保管場所： _____
 運搬方法： ○ PCB運搬許可業者
 ○ 施工業者（施設管理者を同乗）が運搬
 ○ その他

(2) 臭気リチウム水溶液等

処理区分	○ 製造者	○ 専門業者
処分場所	受入先： _____	
	片道運搬距離 _____ (_____ km)	

(3) 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液

処理区分	○ 中間処理
処分場所	受入先： _____
	片道運搬距離 _____ (_____ km)

(4) その他 (5.4.1)

種 類	_____
処理区分	○ 中間処理 ○ 最終処分
処分場所	受入先： _____
	片道運搬距離 _____ (_____ km)

● 第 6 章 石綿含有建材の除去及び処理

項 目	特 記 事 項									
▶ 1. 石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査 (1.4.1) 建材の石綿含有調査は、次による。 受注者は施工調査の結果を書面により監督員へ報告すると共に、「石綿事前調査結果報告システム」による労働基準監督署及び大気汚染防止法所管部局への報告手続き（申請）を行うこと。 施工調査の結果、設計図書等と異なる場合は、監督員と協議する。</p> <p>(1) 受注者調査範囲 ○ 分析調査箇所及び調査部位 * 図示 分析方法 * JIS A 1481-2（建材製品中の含有率測定方法-第2部：試料採取及び石綿含有の有無を判定するための定性分析方法）とする。</p> <p style="text-align: center;">● なし</p> <p>● 発注者分析調査済：含有建材及び調査済部位は図示による。 分析結果 ● 石綿含有 ○ 石綿非含有 分析方法は、JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 * 貸与 ○ 無</p> <p>(2) 石綿含有建材除去後の仕上げ ○ 図示</p> <p>(3) 石綿粉じん濃度測定 * 行う ○ 行わない</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 40%;">測定方法</td> <td style="width: 20%;">* 図示</td> <td style="width: 40%;">● ろ過捕集法等</td> </tr> <tr> <td>測定時期</td> <td>* 図示</td> <td>● 処理作業中及び作業後</td> </tr> <tr> <td>測定場所</td> <td>* 図示</td> <td>● 外壁面(4箇所)、前室前(6箇所)、敷地境界(4箇所)</td> </tr> </table>	測定方法	* 図示	● ろ過捕集法等	測定時期	* 図示	● 処理作業中及び作業後	測定場所	* 図示	● 外壁面(4箇所)、前室前(6箇所)、敷地境界(4箇所)
測定方法	* 図示	● ろ過捕集法等								
測定時期	* 図示	● 処理作業中及び作業後								
測定場所	* 図示	● 外壁面(4箇所)、前室前(6箇所)、敷地境界(4箇所)								

測定箇所数 * 図示 ● 14箇所

▷ 2. 石綿含有吹付け材の除去

- (1) 処理を行う吹付け材の種類
種類 _____
種類 _____
(処理を行う範囲は図示による)
- (2) 石綿含有吹き付け材の除去工法 (6.3.2)
* 粉じん飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去
○ _____
- (3) 石綿飛散防止措置
* 湿潤化 ○ 固形化

▶ 3. 石綿含有保温材等の除去

- (1) 除去する保温材等の種類
種類 図示 _____
種類 _____
- (2) 石綿含有保温材等の除去方法 (6.4.1)
○ 切断
○ 破碎
○ 手ばらし
● 無石綿部切断工法 _____

▶ 4. 石綿含有成形板等の除去

- (1) 除去する成形板等の種類
種類： 図示 _____
種類： _____
種類： _____
養生 (6.5.1)
● 養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生
養生の仕様 *図示 ● 箇所ごとに養生
- (2) 除去した成形板の集積及び積み込みは、高所より投下しないことのほか、粉じんの飛散防止に努める。 (6.6.1)
- (3) 破碎された成形板は、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 (6.5.4)

▶ 5. 石綿含有仕上塗材の除去

- (1) 石綿含有仕上塗材の除去方法 (6.3.3) (6.4.3) (6.5.3) (6.6.4)
● 集塵機能付きディスクグラインダー

▶ 6. 除去した石綿含有建材等の処分等

- (1) 特別管理産業廃棄物
- | | |
|------|--------------------------------|
| 種類 | 廃石綿（飛散性一特別管理廃棄物） |
| 処理方法 | 埋立 |
| 処分場所 | 小川建設工業(株)
片道運搬距離 (62.1 km) |
| 種類 | |
| 処理方法 | |
| 処分場所 | 片道運搬距離 (km) |
- (2) その他
- | | |
|------|------------------------------------|
| 種類 | ○ 汚泥 |
| 処理方法 | |
| 処分場所 | 【 _____ 】（総合）振興局管内
片道運搬距離 (km) |

--	--

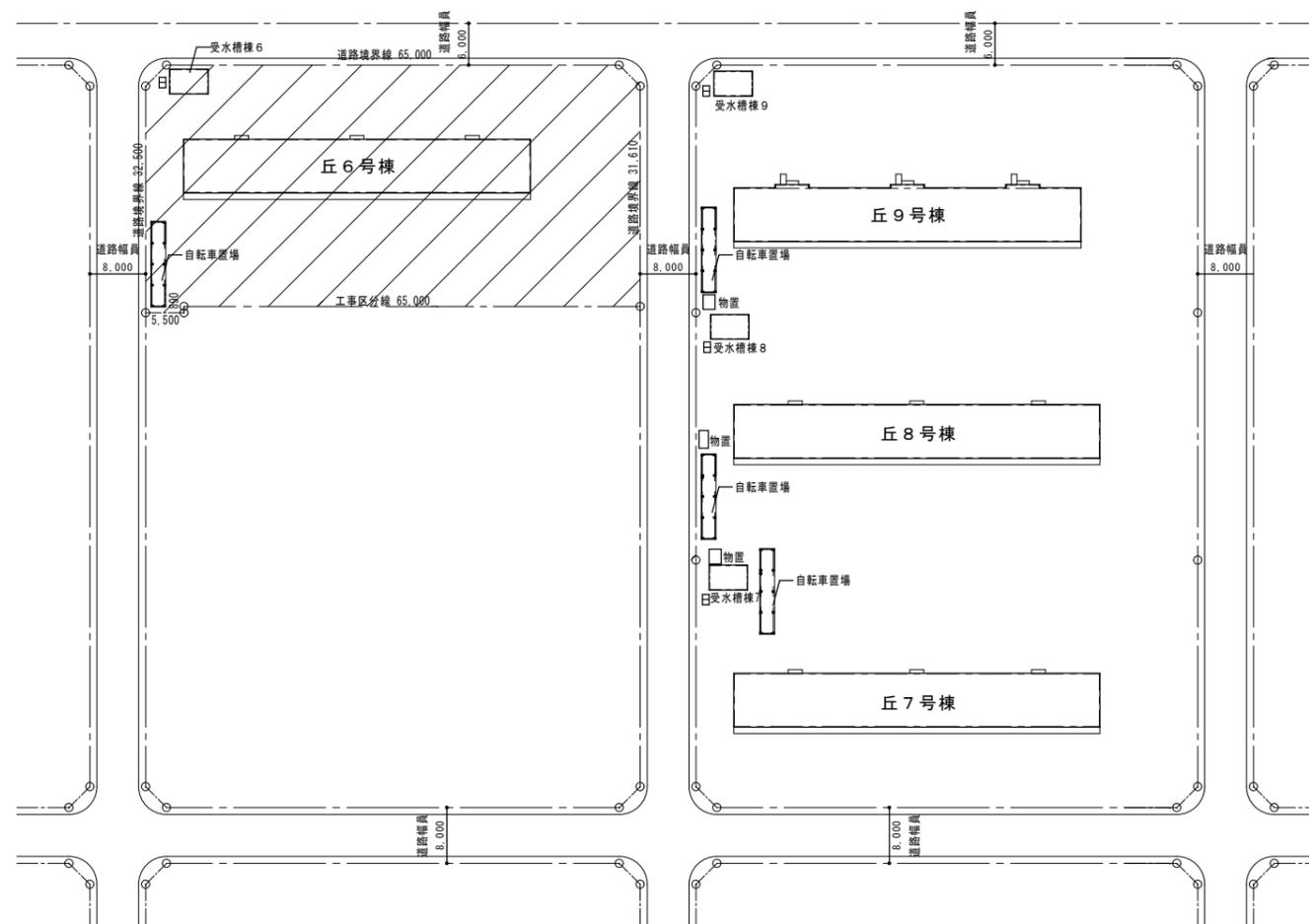
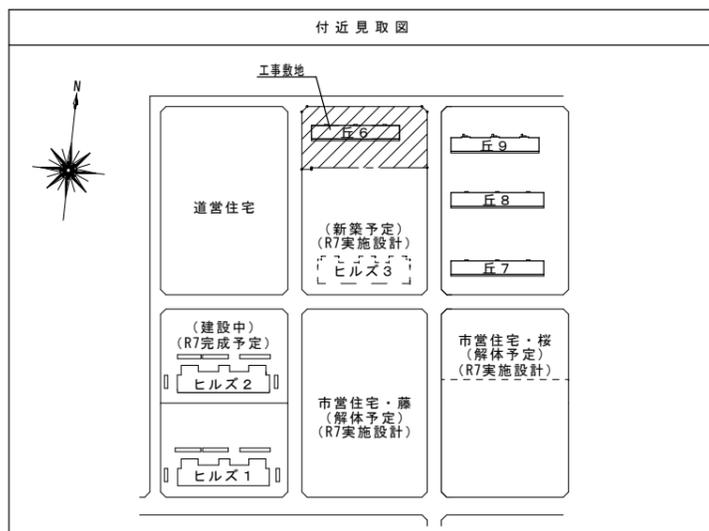
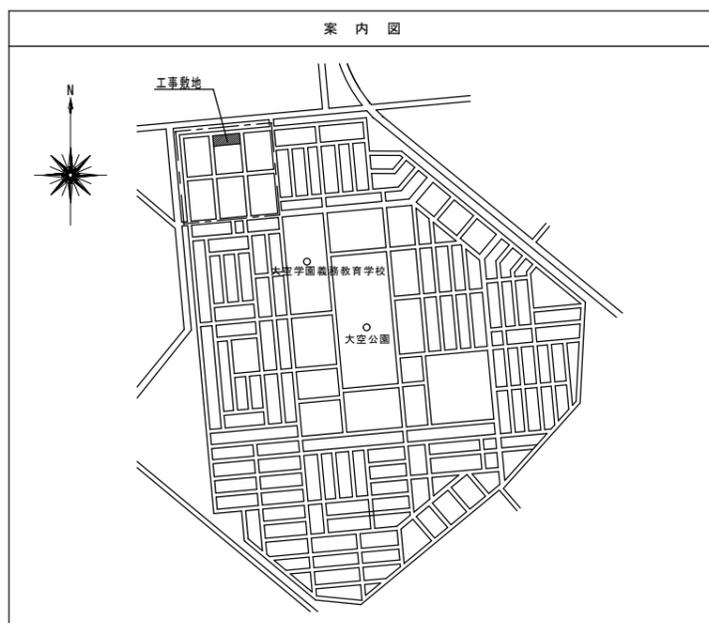
<input type="radio"/>	第 7 章	特殊な建設副産物の処理
-----------------------	-------	-------------

<input type="radio"/>	第 8 章	その他
-----------------------	-------	-----

大空団地 4 街区 丘 6 号棟 除却工事

図面リスト					
番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
A - 1	建物概要・案内図・付近見取図・配置図	E - 1	電気設備 外構図	M - 1	衛生設備 外構図
A - 2	仕上表	E - 2	電気設備 1階・2階平面図	M - 2	衛生設備 1階・2階平面図
A - 3	平面図・天井伏図・小屋伏図・断熱伏図・床伏図	E - 3	電気設備 3階・4階平面図	M - 3	衛生設備 3階・4階平面図
A - 4	立面図	E - 4	電気設備 平面詳細図	M - 4	衛生設備 平面詳細図
A - 5	矩計図	E - 5	各戸電気設備 1階・2階平面図	M - 5	衛生設備 受水槽棟詳細図
A - 6	階段詳細図	E - 6	各戸電気設備 3階・4階平面図		
A - 7	平面詳細図・展開図	E - 7	電気設備 受水槽棟詳細図		
A - 8	建具キープラン図、建具表				
A - 9	開口部詳細図				
A - 10	杭伏図、基礎伏図、基礎リスト				
A - 11	床伏図・軸組図				
A - 12	受水槽棟詳細図				
A - 13	自転車置場詳細図				
A - 14	外構撤去図兼仮設計画図				

敷地・建物概要			
建物名称	大空団地4街区 丘6号棟		
所在地	大空町9丁目2番1、2番2の内		
敷地面積	2,453.20㎡		
対象施設	共同住宅、受水槽棟、自転車置場、外構付帯設備、植栽		
住戸数	24戸		
	共同住宅	受水槽棟	自転車置場
構造	鉄筋コンクリート造	コンクリートブロック造	鉄骨造
階数	4階建	平屋建	平屋建
1階床面積	375.5808㎡	18.36㎡	21.60㎡
2階床面積	375.5808㎡		
3階床面積	375.5808㎡		
4階床面積	377.2989㎡		
延床面積	1,504.04㎡	18.36㎡	21.60㎡
建築面積	387.23㎡	18.36㎡	21.60㎡



配置図 1 / 500
 工事範囲を示す

CONSTRUCTION TITLE 大空団地4街区丘6号棟除却工事	DRAWING NAME 建物概要・案内図・付近見取図・配置図	SCALE A1:1/500 A3:1/1000	DATE 2025. 3	Check	Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	丘6号棟		
							代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録(大臣) 193537号 竹本 泰之 1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏	NUMBER A - 1

外部仕上表

* 住居外壁のスレート管は、スレート管を切断することなく30cm四方のコンクリートと共に切り離し、非飛散性アスベストとして処理する。
* 煙突・臭突(スレート管)は、切断することなくコンクリートと共に切り離し非飛散性アスベストとして処理する。

基礎	壁	屋根	煙突	庇	バルコニー	樋	塗装	備考
合板型枠コンクリート打放しの上 防水塗装(EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材)	合板型枠コンクリート打放しの上 防水塗装(EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材)	木造置屋根 長尺カラー鉄板#29(縦掛葺) アスファルトルーフィング 22kg ※石綿含有 野地板 t12 タル木 45×45@455	合板型枠コンクリート打放しの上 防水塗装(EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材) 障笠: プレート3.2m/m 足16φケル焼付塗装 灰出口: 鋼鉄製 5号 0.P-2回塗り 素焼土管 200φ 各住戸用差込口: 火口用スレート管105φ	合板型枠コンクリート打放しの上防水塗装 (EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材) バルコニー側 吊環付 小屋ウラ換気孔 塩化ビニールパイプφ80(両面スリソ付) 【共同玄関庇】 長尺カラー鉄板 #29 アスファルトルーフィング 22kg ※石綿含有 下端 合板型枠コンクリート打放しの上防水塗装 (EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材)	床 : 防水モルタル塗り 立上り共 スラブ下 : 合板型枠コンクリート打放しの上防水塗装 (EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材) 笠木 : 木製(#28 杉-鉄板包み) 手摺 : 鋼製(錆止め1回 0.P-2回) 角パイプ 50×50×1.6 鼻 : 合板型枠コンクリート打放しの上防水塗装 (EPリソ同等品)スプレー2回 ※石綿含有(下地調整材) 1階床下 : 合板型枠コンクリート素地	落し口 : 鋼鉄製 φ50 BOLA 縦樋 : 白ガス管 φ50	木部 0.P-2回 鉄部 錆止め1回 0.P-2回	床下換気孔 : 鋼鉄製 0.P-2回塗り 360×150 棟番号 : PL加工 9φ脚 0.P-2回塗り バルコニー-隅板 : 石綿セメント板 6.3M/M(ウレタ1回 E.P2回塗り) ※石綿含有 バルコニー物干金物 : 公団型 錆止め1回 0.P-2回塗り 猿梯子 : 妻面1棟1ヶ処 鉄製0.P-2回塗り 外壁打継部分 — チオコール 開口部周囲 — ウレタンフォーム その他 — 油性コーキング 避難梯子 : 両妻側住戸のみ 避難口 : 両妻側住戸のみ フロアードレイン : 鋼鉄製 φ50

内部仕上表

* プリントボードは全て石膏ボードとする。
* フレキシブルボードは石綿含有とする。

室名	床	巾木	腰壁	壁	天井		その他の 木・鉄部塗装	備考
					一般階	最上階		
共用玄関	防水モルタル コテ押え 20m/m	モルタル コテ押え 20m/m H=100	モルタル コテ押え 20m/m H=800	モルタル刷毛引 20m/m	コンクリート素地の上 リソ吹付		木部 0.P 鉄部 0.P	連絡板 (4階建-8戸用) 集合郵便受 (4階建-8戸用)
階段室	防水モルタル コテ押え 20m/m	モルタル コテ押え 20m/m H=100	モルタル コテ押え 20m/m H=800	モルタル刷毛引 20m/m	コンクリート素地の上 リソ吹付	発泡樹脂板 38m/m打込みの上 リソ吹付	鉄部 0.P	パイプ手摺 鋼製ノンスリップ L=900、W=35 階段表示 SUS牛乳受箱 (公団型) 室名札(プラスチック) 最上階タラップ2段 小股改め口 450×450 (鉄製 1ヶ処)
玄関	防水モルタル コテ押え 20m/m	一部モルタル コテ押え 20m/m E.P 木巾木 H=100		プリントボード 9m/m モルタル コテ押え 20m/m E.P	プリントボード 9m/m	プリントボード 9m/m	木部 0.P 鉄部 0.P	
ホール	化粧フロアー 12m/m	ラワン 60×21 0.S		フレキシブルボード 2.7m/m	フレキシブルボード 4m/m V.P	フレキシブルボード 4m/m V.P	木部 0.P 鉄部 0.P	下駄箱 (押入下段に設置)
便所	化粧フロアー 12m/m	ラワン 60×21 0.S		プリントボード 9m/m	プリントボード 9m/m	プリントボード 9m/m	木部 0.P 鉄部 0.P	
脱衣室	化粧フロアー 12m/m	ラワン 60×21 0.S		フレキシブルボード 2.7m/m	フレキシブルボード 4m/m V.P	フレキシブルボード 4m/m V.P	木部 0.P 鉄部 0.P	洗面器取付用受木 鏡 吊棚 (吊ボルト9φ0.P 化粧ナット付)
浴室	防水モルタル コテ押え 20m/m (7mm防水E-2)		モルタル コテ押え 20m/m H=1,200 V.P (防水立上り400周囲 アスファルト防水 E-2)	【コンクリート面】 モルタル刷毛引 (発泡樹脂板打込) 20m/m V.P 【木造】 モルタル刷毛引 (分岐入、ケフェ下地) 20m/m V.P プリントボード 9m/m 一部フレキシブルボード 4m/m V.P 流し前 着色ハンガーボード 3.5m/m	フレキシブルボード 4m/m V.P	フレキシブルボード 4m/m V.P	木部 0.P 鉄部 0.P	差込口: 火口用スレート管105φ 夏蓋 換気孔 122φ
居間・台所	化粧フロアー 12m/m	ラワン 60×21 0.S		プリントボード 9m/m	コンクリート素地の上 リソ吹付	発泡樹脂板 38m/m打込みの上 リソ吹付	木部 0.P 鉄部 0.P	ステンレス流し台セット L=1,000 コンロ台セット L=600 吊戸棚 L=1,200 換気扇取付枠及フード 差込口: 火口用スレート管105φ 夏蓋 換気孔 (レジスター、フード共プラスチック製) 200×150
洋室	化粧フロアー 12m/m	ラワン 60×21 0.S		プリントボード 9m/m	コンクリート素地の上 リソ吹付	発泡樹脂板 38m/m打込みの上 リソ吹付	木部 0.P 鉄部 0.P	室内換気孔 (レジスター、フード共プラスチック製) 200×150
和室 4.5帖	タタミ敷 一部化粧フロアー 12m/m	タタミ寄せ 60×24		プリントボード 9m/m	コンクリート素地の上 リソ吹付 一部 発泡樹脂板打込みの上 リソ吹付	発泡樹脂板 38m/m打込みの上 リソ吹付	木部 珪の粉拭 鉄部 0.P	落下防止柵 (アルミ製) 換気孔 (レジスター、フード共プラスチック製) 200×150
和室 6帖	タタミ敷	タタミ寄せ 60×24		プリントボード 9m/m	コンクリート素地の上 リソ吹付 一部 発泡樹脂板打込みの上 リソ吹付	発泡樹脂板 38m/m打込みの上 リソ吹付	木部 珪の粉拭 鉄部 0.P	落下防止柵 (アルミ製) 換気孔 (レジスター、フード共プラスチック製) 200×150
押入	ラワンベニヤ 5.5m/m 一部ラワンベニヤ2重張り	雑巾摺		ラワンベニヤ 5.5m/m	コンクリート素地 一部 合板ベニヤ貼 (木下地) 635, 616, 626 一部 発泡樹脂板打込み素地 614, 625, 636	発泡樹脂板打込み素地 一部発泡樹脂板打込みの上ウレタン吹付25t 645	木部 珪の粉拭 鉄部 0.P	中棚 吊棚 (吊ボルト9φ0.P 化粧ナット付)
石炭庫	防水モルタル コテ押え 20m/m	モルタル コテ押え 20m/m H=100 木巾木 H=100		【コンクリート面】 コンクリート素地 及 発泡樹脂板素地の上ウレタン吹付25t 【木部】 ラワンベニヤ 2.7m/m 0.S	発泡樹脂板打込み(w900)の上ウレタン吹付25t 一部 コンクリート素地の上ウレタン吹付25t	発泡樹脂板打込みの上ウレタン吹付25t	木部 珪の粉拭 鉄部 0.P	木製棚

防寒工法 (断熱欠図参照)

	1階	一般階	最上階
床	居間・台所、洋室、脱衣、便所の床下は50m/m グラスウール+PF0.15t敷込 タタミ下発泡樹脂板 30m/m敷込	タタミ下発泡樹脂板 30m/m敷込	タタミ下発泡樹脂板 30m/m敷込
壁	外壁は発泡樹脂板 25m/m打込み 各戸仕切壁は北面外壁内面より900迄防寒する。 和室(北面及び妻面)の外壁は発泡ウレタン 45m/m増し吹き 浴室は発泡樹脂板 25m/m全面打込みとする	外壁は発泡樹脂板 25m/m打込み 各戸仕切壁は北面外壁内面より900迄防寒する。 和室(北面及び妻面)の外壁は発泡ウレタン 45m/m増し吹き 浴室はターフェルト発泡樹脂板 25m/m全面打込みとする	外壁は発泡樹脂板 25m/m打込み 各戸仕切壁は北面外壁内面より900迄防寒する。 和室(北面及び妻面)の外壁は発泡ウレタン 45m/m増し吹き 浴室はターフェルト発泡樹脂板 25m/m全面打込みとする
天井	外壁内面より900迄 発泡樹脂板 25m/m打込み (北面のみ) 浴室は発泡樹脂板 25m/m全面打込みとする。 両妻住戸のみ妻壁に添って巾900で北面外壁内面より和室6帖と 居間、台所境の押入内部迄 発泡樹脂板 25m/m打込み	外壁内面より900迄 発泡樹脂板 25m/m打込み (北面のみ) 浴室は発泡樹脂板全面打込みとする。 両妻住戸のみ妻壁に添って巾900で北面外壁内面より和室6帖と 居間、台所境の押入内部迄 発泡樹脂板 25m/m打込み	発泡樹脂板 38m/m全面打込みとする。

床: クッションフロア増貼り 全てアスベスト含有 (レベル3) * ホール脱衣室 612, 613, 614, 623, 624, 626, 631, 632, 634, 635, 636, 641, 643, 646 * 便所 612, 613, 614, 623, 624, 625, 626, 631, 632, 633, 634, 635, 636, 643, 646 * 居間 台所 612, 614, 616, 623, 624, 626, 631, 632, 633, 634, 635, 636, 643, 646 * 洋室 612, 614, 616, 624, 626, 631, 633, 634, 635, 636, 643, 646	和室4.5帖 クッションフロア: アスベスト含有 (レベル3) * 畳から化粧フロアに変更 614, 634, 636 * 畳からクッションフロアに変更 616, 626, 635 * 畳から一部板タタミに変更 612, 641, 642, 643, 645, 和室6帖 * 畳から化粧フロアに変更 614, 634, 636 * 畳からクッションフロアに変更 616, 626, 635, 645 * 畳から一部板タタミに変更 612, 633, 642, 643	壁・天井: ビニルクロス増貼り (一部梁型含む) 全てアスベスト含有 (レベル3) * 玄関 622, 633, 643 * ホール脱衣室 615, 621, 632, 633, 642, 643 * 便所(壁) 613, 614, 621, 623, 633, 642, 643 * 便所(天井) 614, 623, 633, 643 * 居間 台所 611, 612, 613, 614, 615, 621, 622, 624, 625, 626, 632, 633, 634, 642, 643, 645, 646 * 洋室 612, 613, 614, 615, 621, 622, 624, 625, 626, 631, 632, 633, 634, 642, 643, 645, 646, * 和室 (1) 4.5帖 611, 612, 613, 614, 615, 621, 622, 623, 624, 625, 626, 631, 632, 633, 634, 635, 641, 642, 643, 645, 646 * 和室 (2) 6.0帖 611, 612, 613, 614, 615, 621, 622, 623, 624, 625, 626, 631, 632, 633, 634, 635, 641, 642, 643, 645, 646	石炭庫コンクリート壁: 発泡ウレタン t30 増吹き 全面 (2面) 613, 614, 616, 624, 626, 631, 634, 635, 636, 643, 644, 645, 646 折返し面 (2面) 633, 642, 641 石炭庫コンクリート天井: 発泡ウレタン t30 増吹き 全面 613, 614, 616, 624, 626, 631, 634, 635, 636, 643, 644, 645, 646 折返し面 633	和室6帖押入天井仕上: 発泡ウレタン t30 全面 614, 625, 636, 645 和室6帖押入天井仕上: 合板ベニヤ t5.5 (木下地) 全面 616, 626, 635
---	--	---	---	---

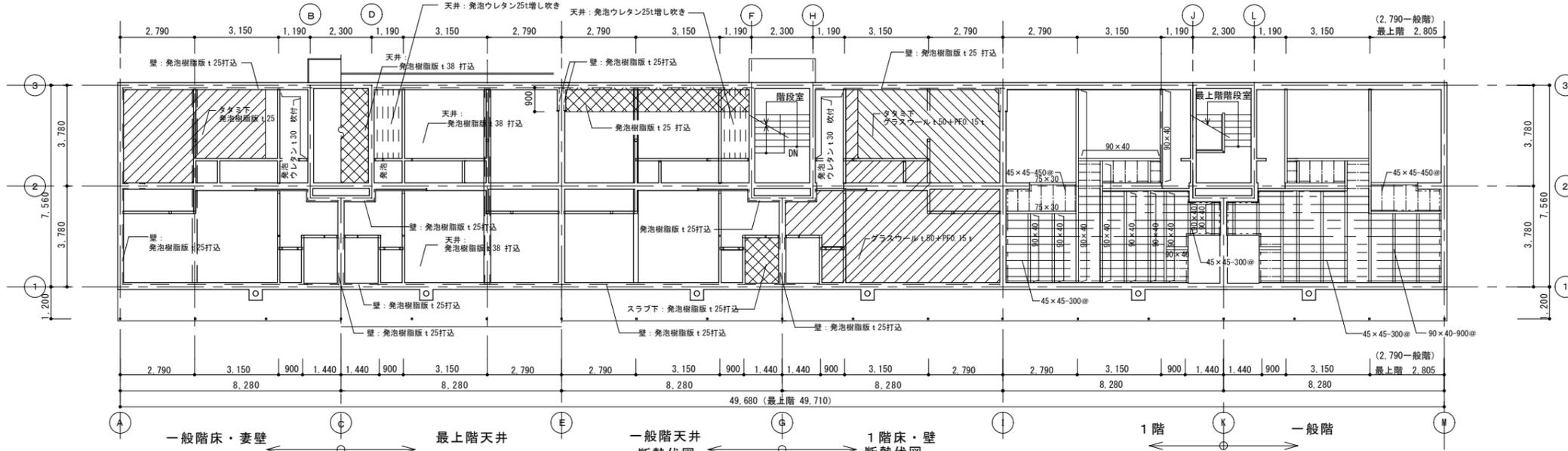
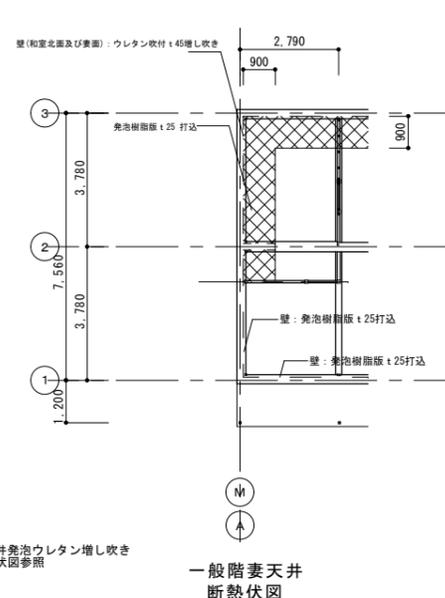
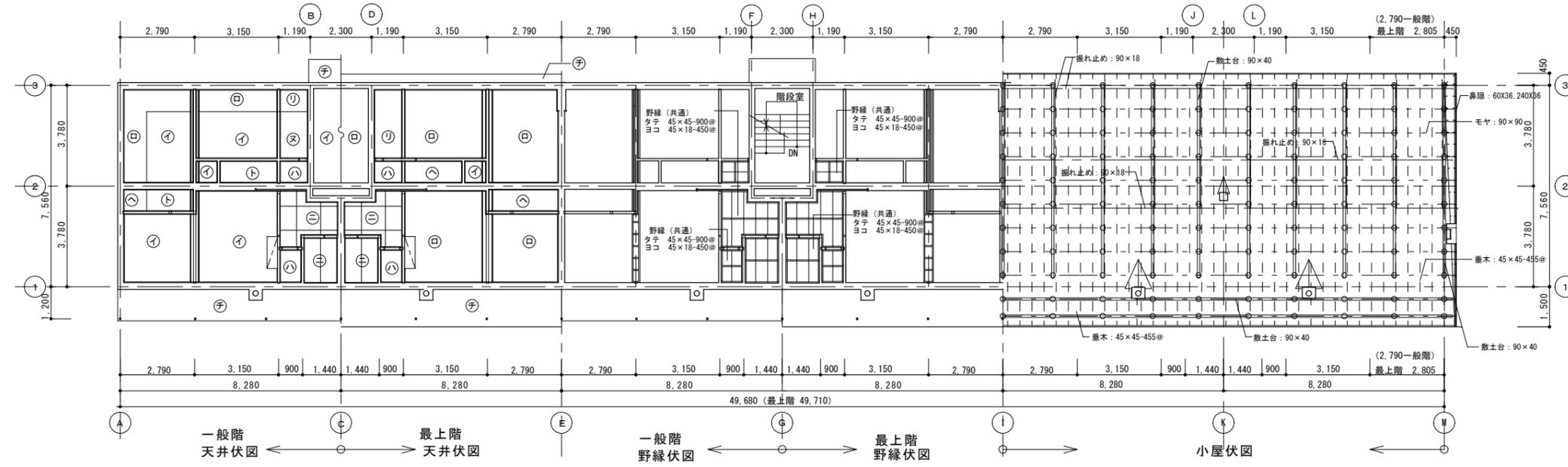
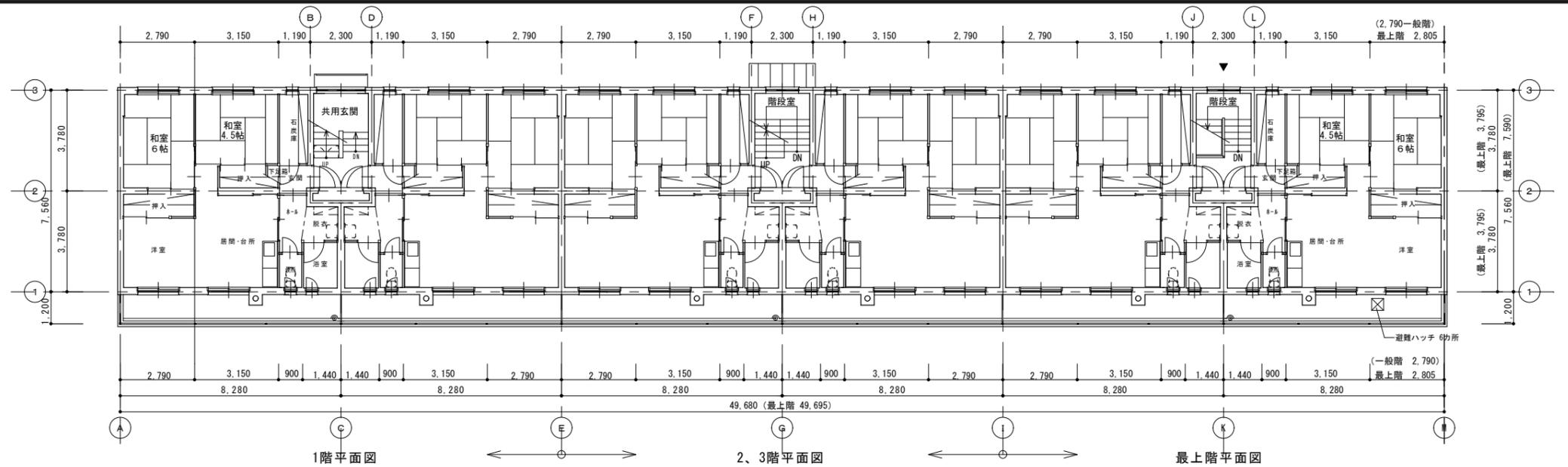
CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	Check	Drawing	interior design project	代表となる設計者	NUMBER
大空団地4街区丘6号棟除却工事	仕上表	-	2025. 3			1級建築士事務所 (株) 404号 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合 〒5市西16条南6丁目3番18号 TEL (0155) 66-6655	1級建築士登録 (大匠) 193537号 竹本 豊之 1級建築士登録 (大匠) 158816号 佐藤 有宏	A - 2

小屋伏図 凡例

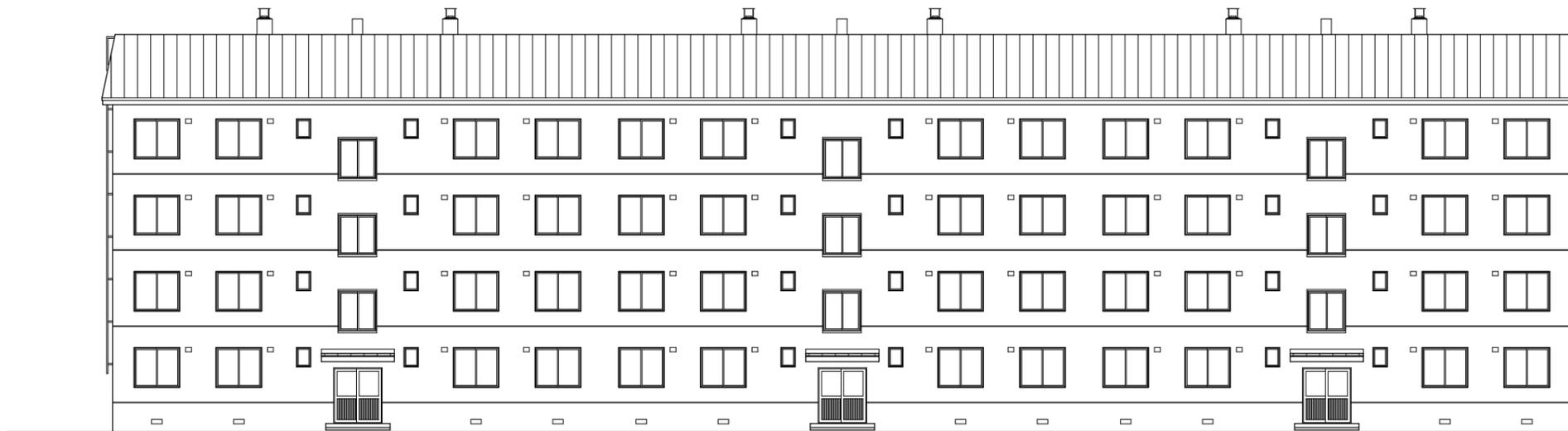
=====	敷き土台 90×40
○	小屋束 90×90
-----	母屋 90×90
-----	垂木 45×45@455
-----	振止め 90×18

凡例 天井伏図

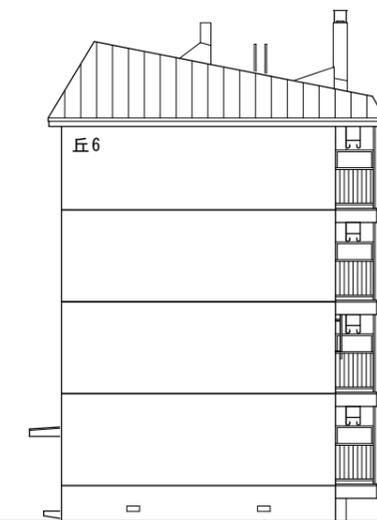
記号	仕上表
イ	コンクリート素地の上リシン吹付
ロ	発泡樹脂版打込の上リシン吹付
ハ	プリントボード t9
ニ	フレキシブルボード t4 VP
ホ	コンクリート素地
ヘ	発泡樹脂版打込素地
ト	コンクリート素地
チ	合板型枠打ち放しの上 防水塗装スプレー (EPリシン同等) 2回
リ	発泡樹脂版打込みの上発泡ウレタン t25吹付
ヌ	コンクリート素地の上発泡ウレタン t25吹付



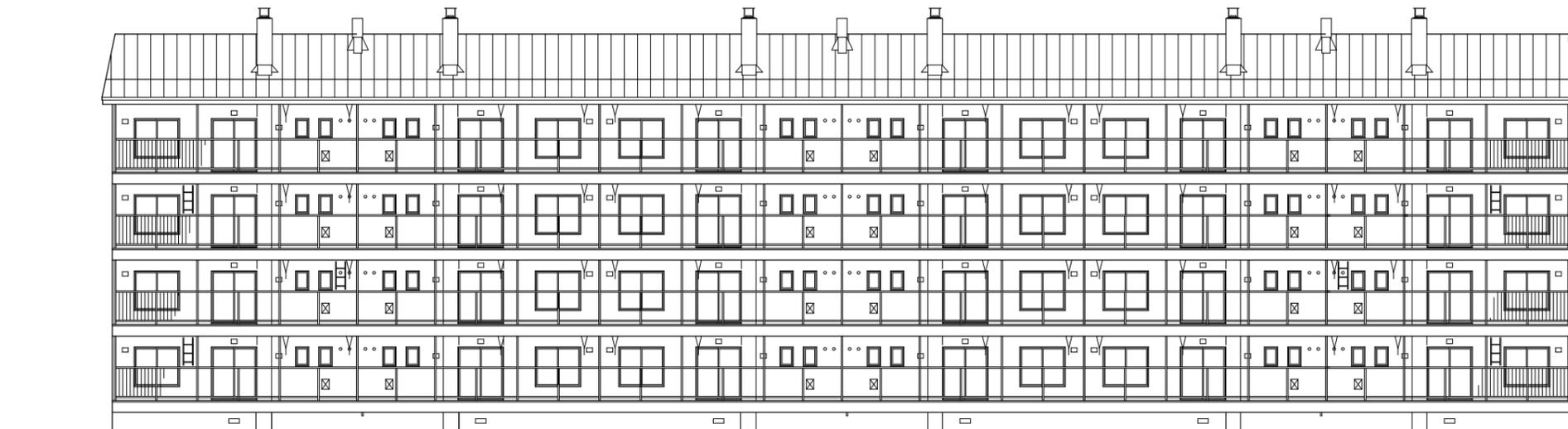
*石炭庫の天井発泡ウレタン増し吹き範囲は天井伏図参照



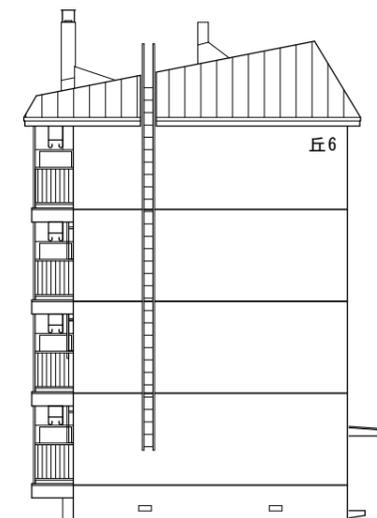
北側 立面図



西側 立面図

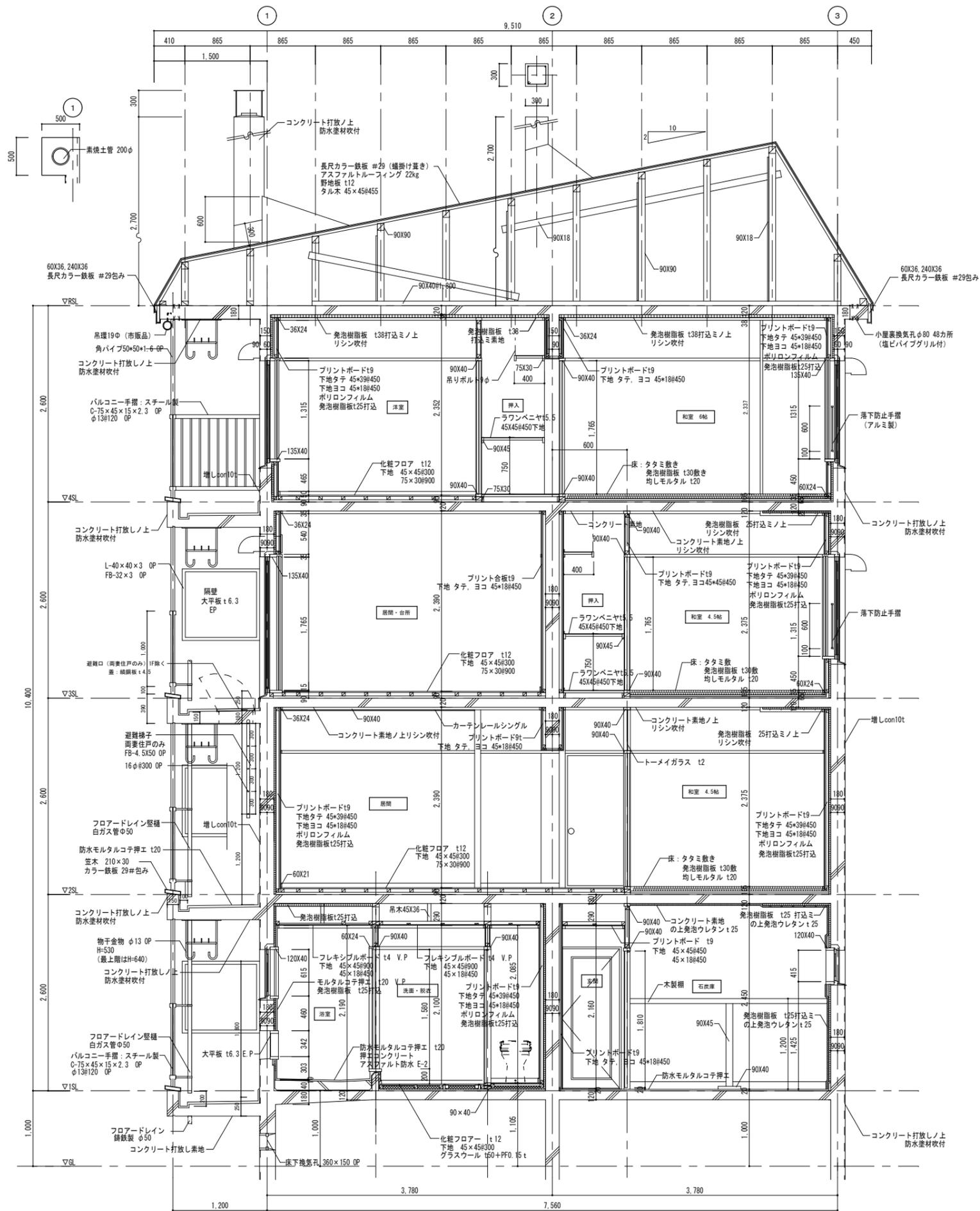


南側 立面図



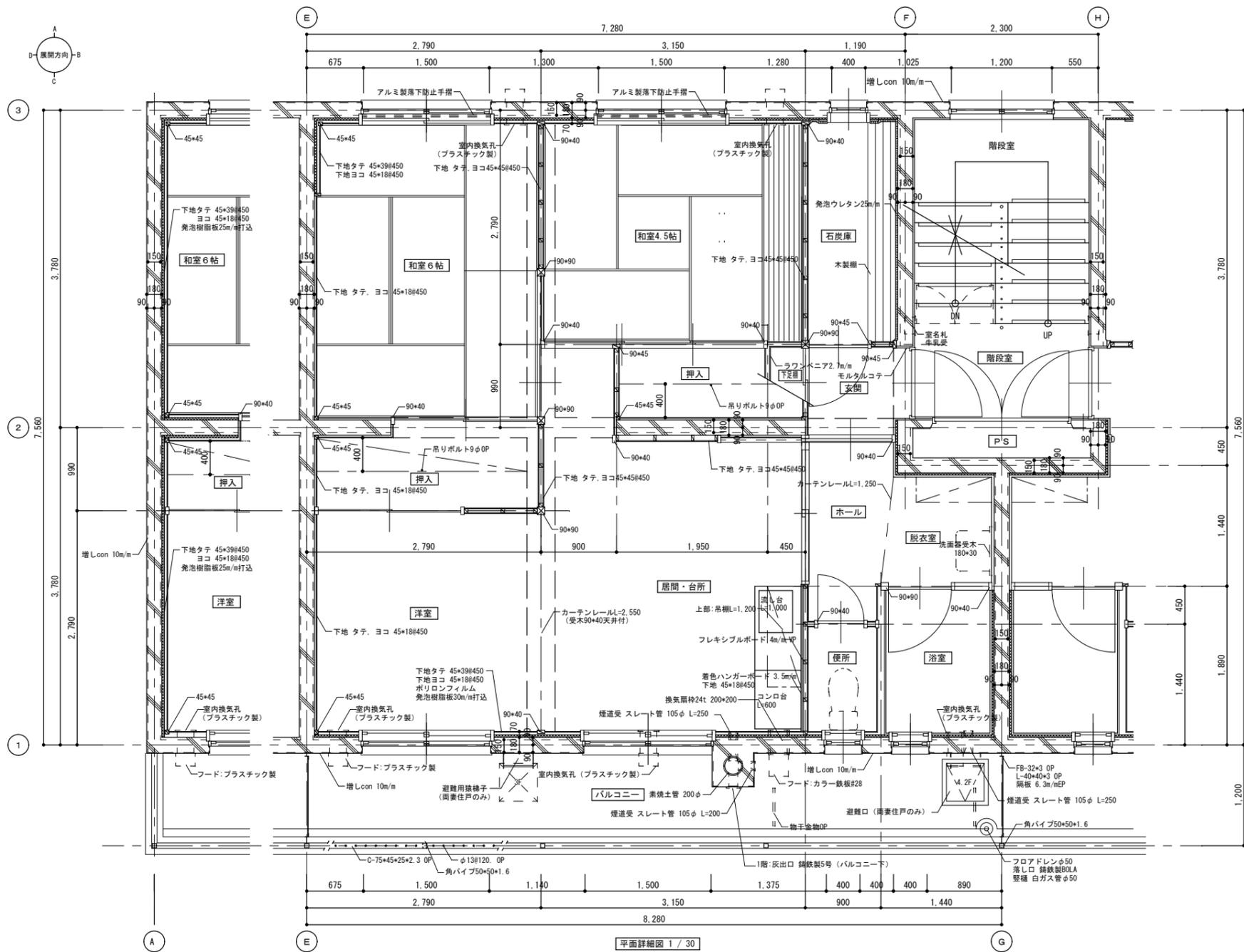
東側 立面図

CONSTRUCTION TITLE 大空団地4街区丘6号棟除却工事		DRAWING NAME 立面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	丘 - 6号棟 代表となる設計者 1級建築士登録(大臣) 193537号 竹本 泰之 管理建築士 1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏	NUMBER A - 4
---------------------------------------	--	---------------------	----------------------------	-----------------	------------------	--	--	-----------------

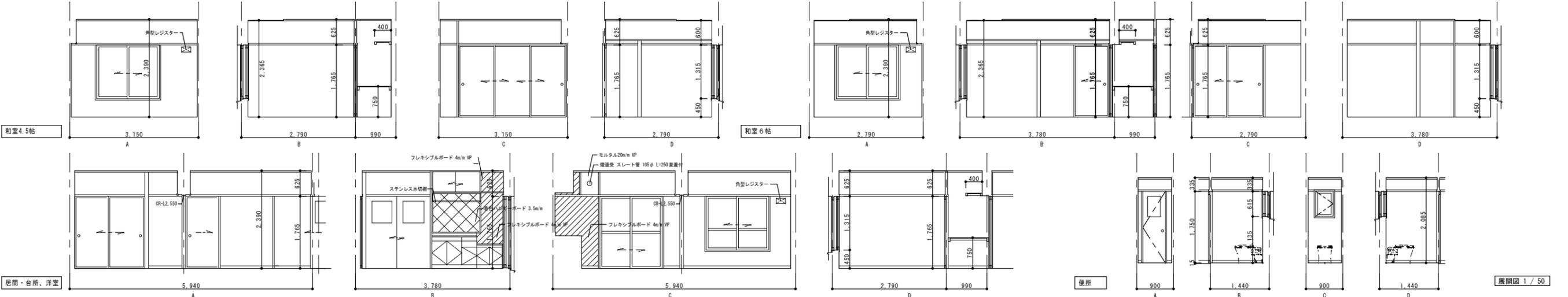
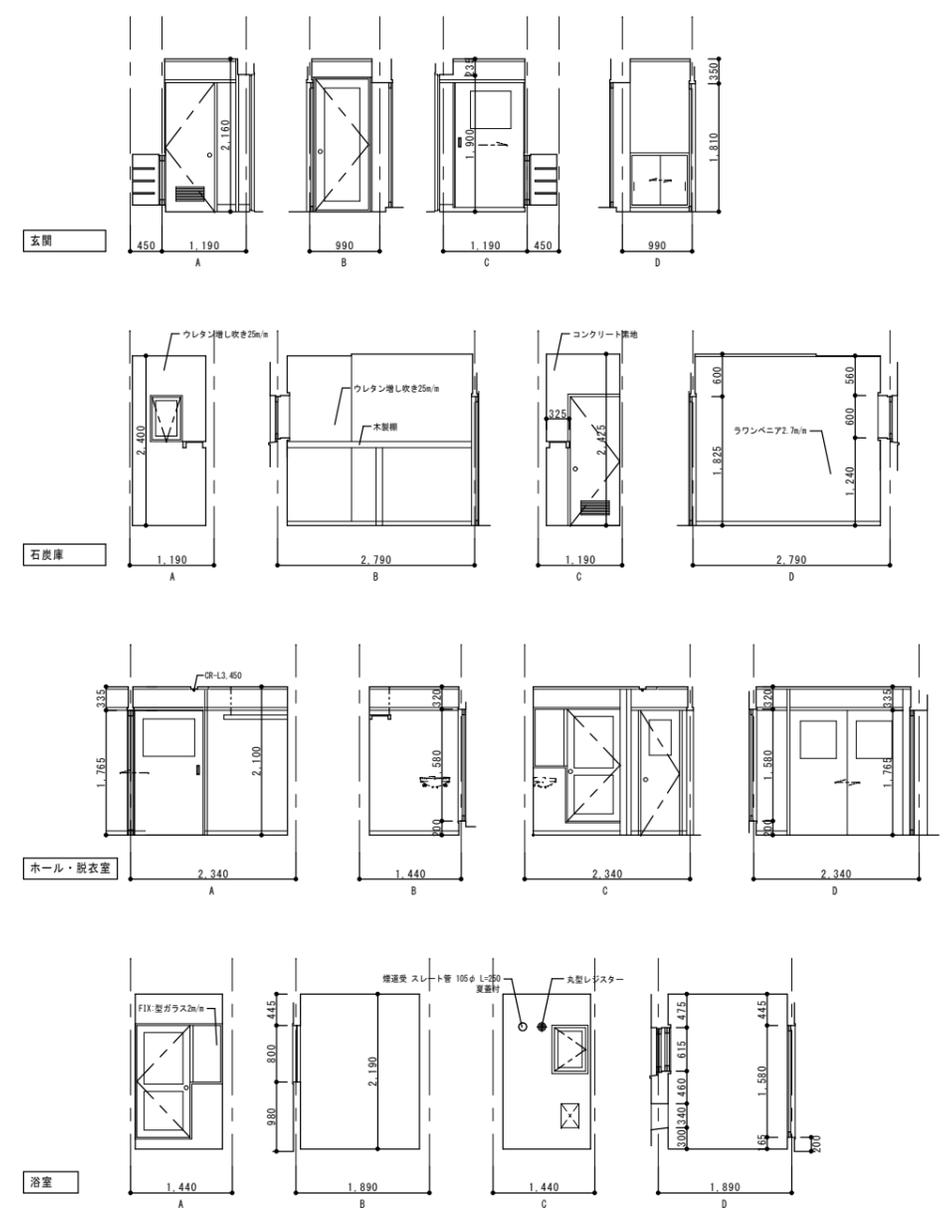


矩計図 1 : 30

CONSTRUCTION TITLE		DRAWING NAME		SCALE	DATE	Check	Drawing	丘 - 6号棟		
大空団地4街区丘6号棟除却工事		矩計図		A1:1/30 A3:1/60	2025. 3			代表となる設計者	1級建築士登録(大臣) 193537号 竹本 泰之	NUMBER A - 5
interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合								管理建築士	1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏	
								1級建築士事務所(十) 404号 帯広市西16条南6丁目3番18号 TEL (0155) 66-6655		



平面詳細図 1 / 30



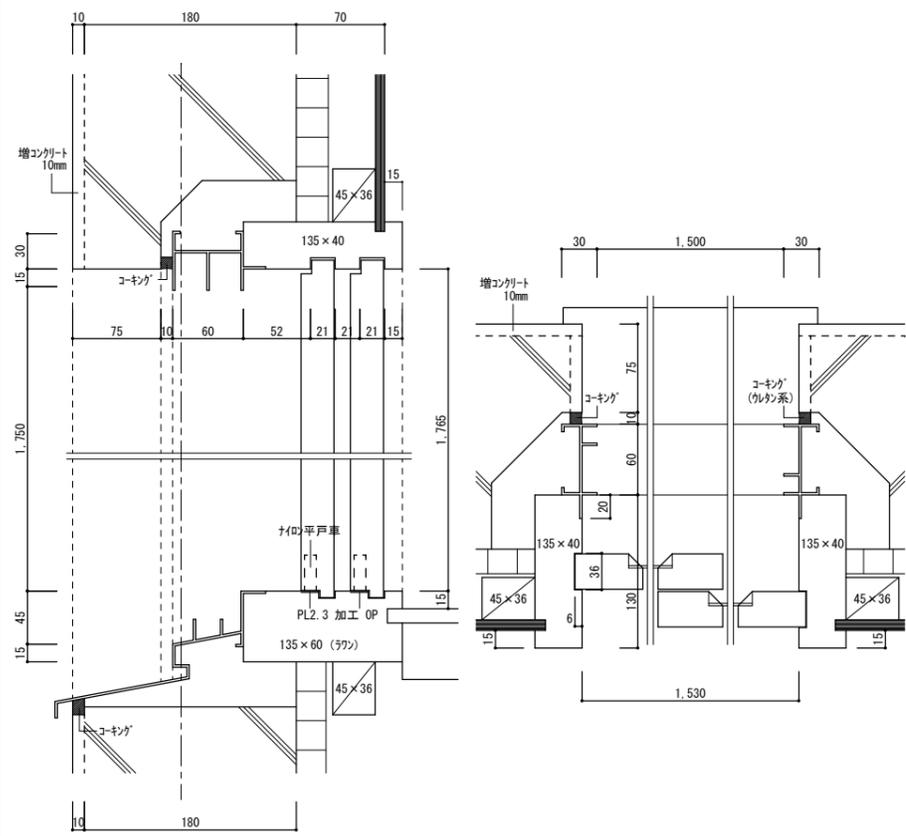
展開図 1 / 50

丘 - 6号棟

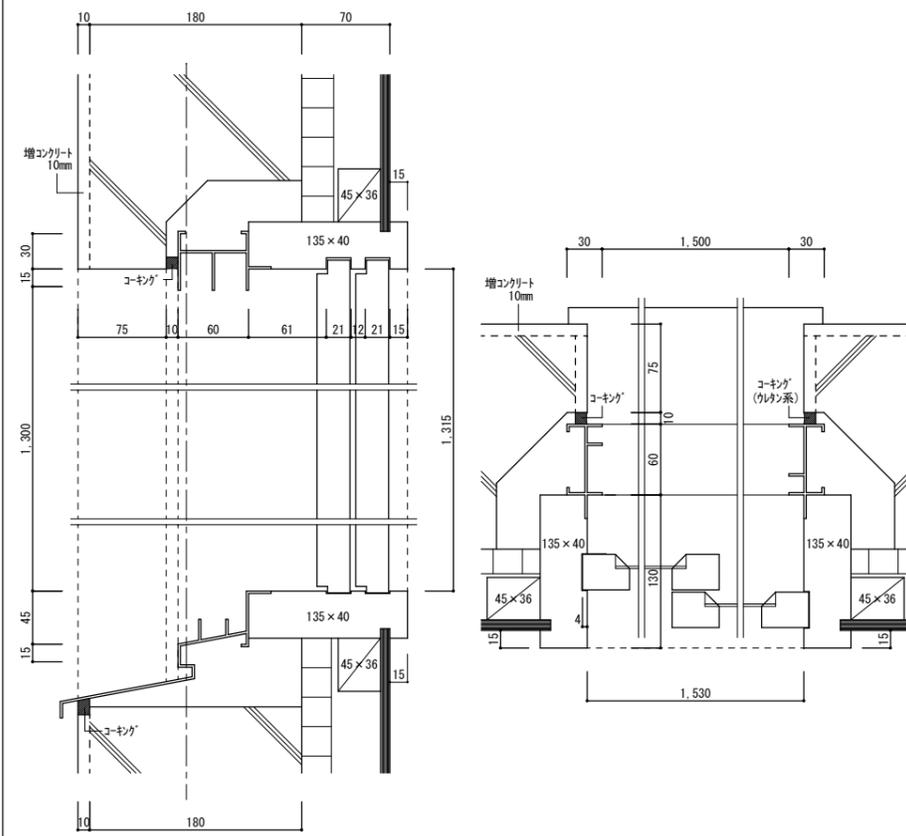
CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	Check	Drawing	interior design project	1級建築士事務所 (大) 404号	代表となる設計者	1級建築士登録 (大) 193537号	NUMBER
大空団地4街区丘6号棟除却工事	平面詳細図・展開図	A1:1/30 A1:1/50	2025. 3			一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	常広市西16条南6丁目3番18号 TEL (0155) 66-6655	竹本 泰之	1級建築士登録 (大) 158816号 佐藤 有宏	A - 7

記号名称	①SD 片開きKJスチール戸	②SD 両開きKJスチール戸	①AD 引違いアルミ戸	②AD 引違いKJアルミ戸	①AW 引違いKJアルミ窓	②AW 引違いKJアルミ窓	③AW 引違いKJアルミ窓	④AW 突出しKJアルミ窓			
室名	玄関	P S	共同玄関(1階)	浴室	居間 台所~バルコニー	居間 台所~バルコニー	洋室 6帖 4.5帖	石炭庫 便所 浴室			
形状	24カ所 	12カ所 	3カ所 	24カ所 	24カ所 	24カ所 	72カ所 	72カ所 			
区分	見付	見込	見付	見込	見付	見込	見付	見込			
上 棧		40		40		36		36			
中 棧		40		40		36		36			
下 棧		40		40		36		36			
空 棧		40		40		36		36			
建具金物	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式			
仕上	内外共OP	内外共OP		3mm透明硝子	型硝子4t	3mm透明硝子	3mm透明硝子	3mm透明硝子			
備考											
記号名称	④AW 内開きKJアルミ窓	⑤AW 引違いKJアルミ窓	①WW 引違い硝子窓	①WD KJ片引きフラッシュ戸	②WD KJ片開きフラッシュ戸	③WD KJ片開きフラッシュ戸	④WD KJ引き違いフラッシュ戸	⑤WD 引違いフラッシュ戸	⑥WD 両開きフラッシュ戸		
室名	便所 浴室	階段室	洋室・和室	ホール~居間 台所	石炭庫	便所	ホール~居間 台所	下駄箱	床下改め口(1階)		
形状	48カ所 	9カ所 	洋室24+和室14=38カ所 	24カ所 	24カ所 	24カ所 	24カ所 	24カ所 	3カ所 		
区分	見付	見込	見付	見込	見付	見込	見付	見込	見付	見込	
上 棧		27		30		33		33		33	
中 棧		27		30		33		33		33	
下 棧		27		30		33		33		33	
空 棧		27		30		33		33		33	
建具金物	付属金物一式	付属金物一式	引手2ヶ 戸庫4ヶ 甲丸鉄レール2本	引手2ヶ レール1本 戸庫2ヶ	空錠1ヶ 丁番2枚 戸当り1ヶ	空錠1ヶ 表示錠 丁番2枚	引手4ヶ レール2本 戸庫4ヶ	引手2ヶ 戸庫4ヶ レール2本	引手2ヶ 戸庫4ヶ	引手2ヶ 戸庫4ヶ	
仕上	型硝子4t	3mm透明硝子	内外共OP	両面プリント合板2.7mm	内耐水ベニヤ4mmOP 外プリント合板2.7mm	両面プリント合板2.7mm	両面プリント合板2.7mm	片面プリント合板2.7mm	片面OP	片面OP	
備考			薄型硝子	厚型硝子	ガラリ	厚型硝子	厚型硝子	耐水ベニヤ4mm	耐水ベニヤ4mm		
記号名称	①PW 樹脂製引違い硝子障子	①F 引違いダン襖	②F 引違いダン襖	③F 引違いダン襖		①R ランマ					
室名	6帖 4.5帖	4.5帖~押入	居間 台所~押入 6帖~押入	居間 台所~6帖		居間 和室4.5帖					
形状	34カ所 	24カ所 	48カ所 	24カ所 		24カ所 					
区分	見付	見込	見付	見込	見付	見込					
上 棧		30		16		16					
中 棧		30		16		16					
下 棧		30		16		16					
空 棧		30		16		16					
建具金物											
仕上	PVC										
備考	ペアガラス3+12+型4t		ダンホ-ル襖	ダンホ-ル襖		透明硝子2t					
CONSTRUCTION TITLE 大空団地4街区丘6号棟除却工事			DRAWING NAME 建具キープラン図 建具表			SCALE A1:1/50 A3:1/100	DATE 2025. 3	Check Drawing interior design project		1級建築士事務所(大) 193537号 代表となる設計者 1級建築士登録(大) 158816号 NUMBER A-8	
						1級建築士事務所(小) 404号 代表となる設計者 1級建築士登録(大) 158816号		管理建築士 佐藤 有宏		TEL (015) 66-6655	

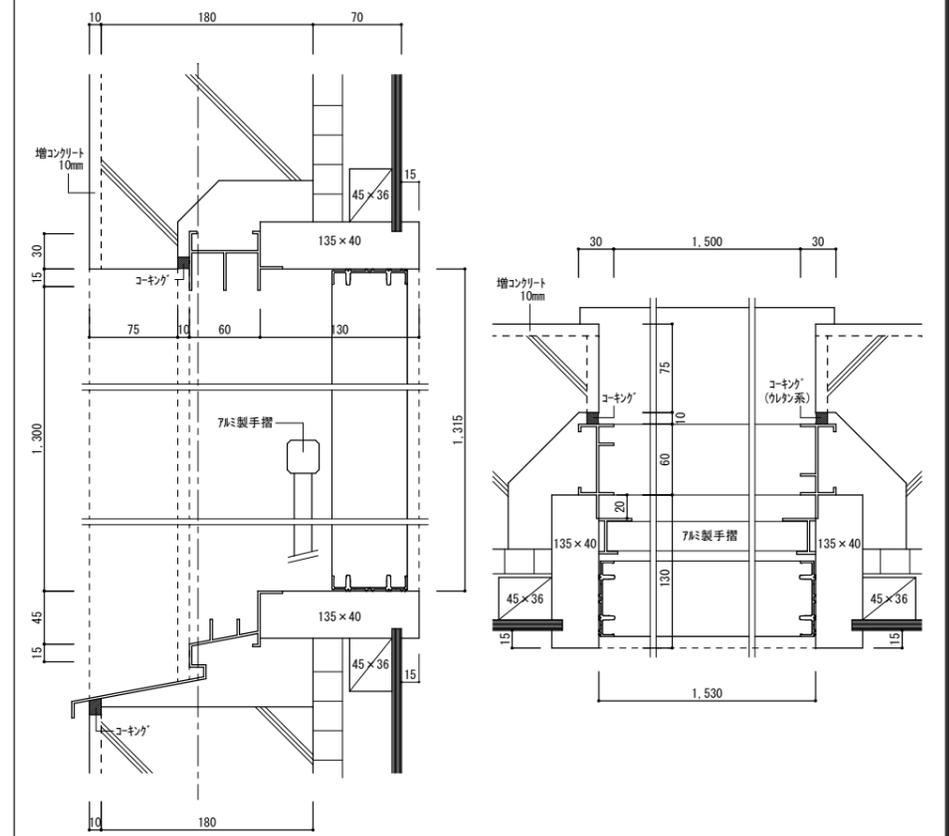
居間・台所



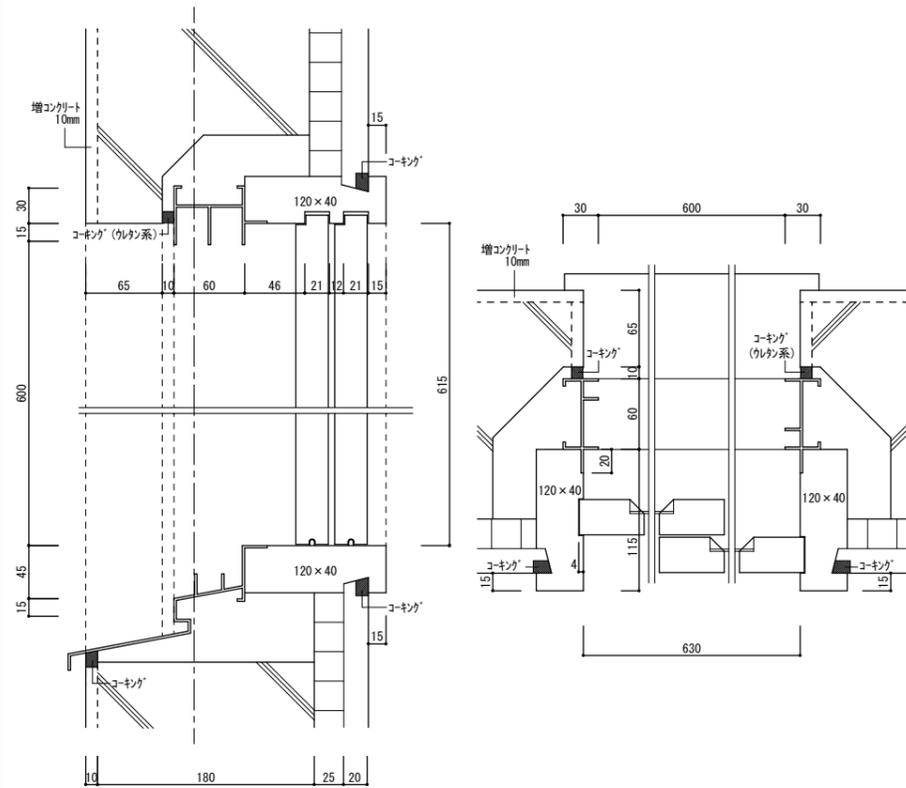
洋室



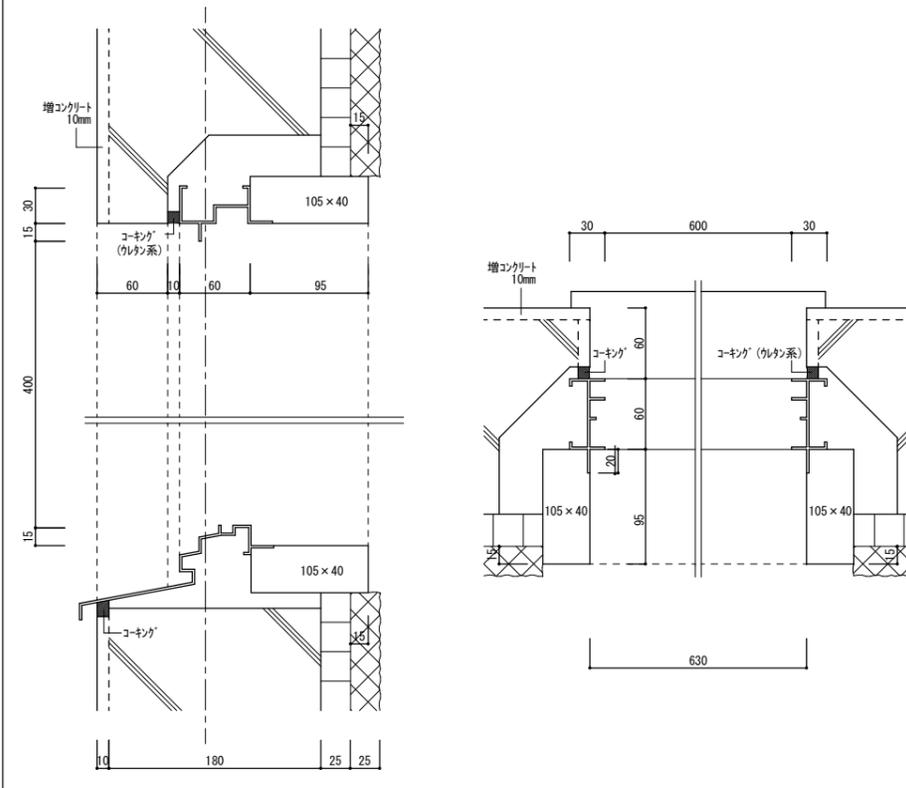
和室6帖・4.5帖



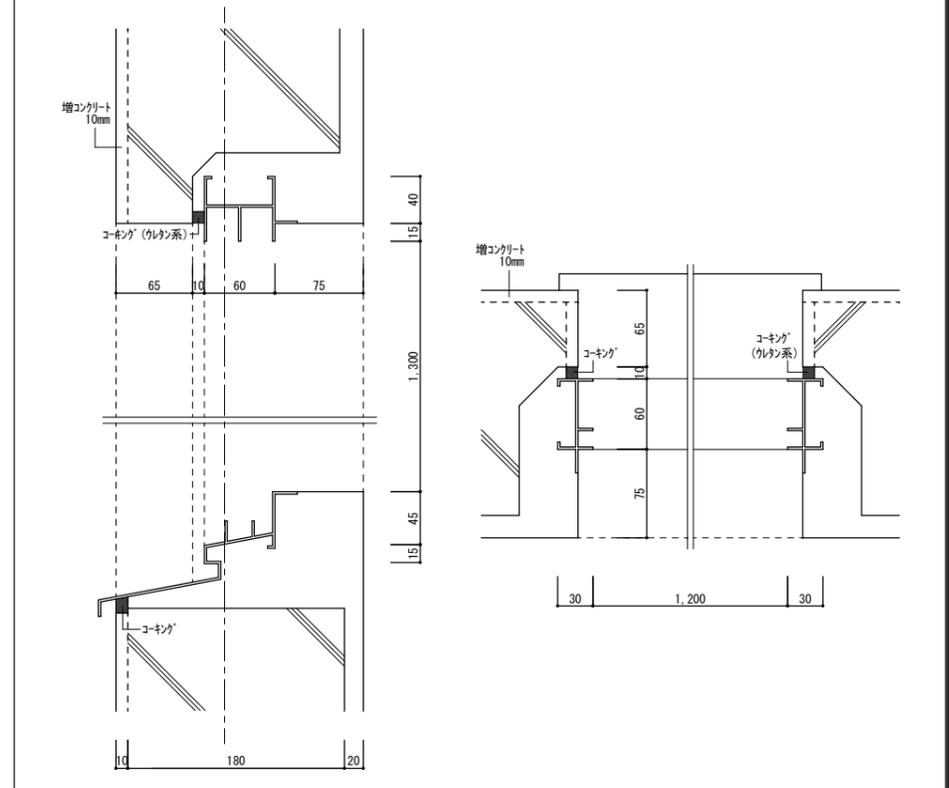
浴室



石炭庫

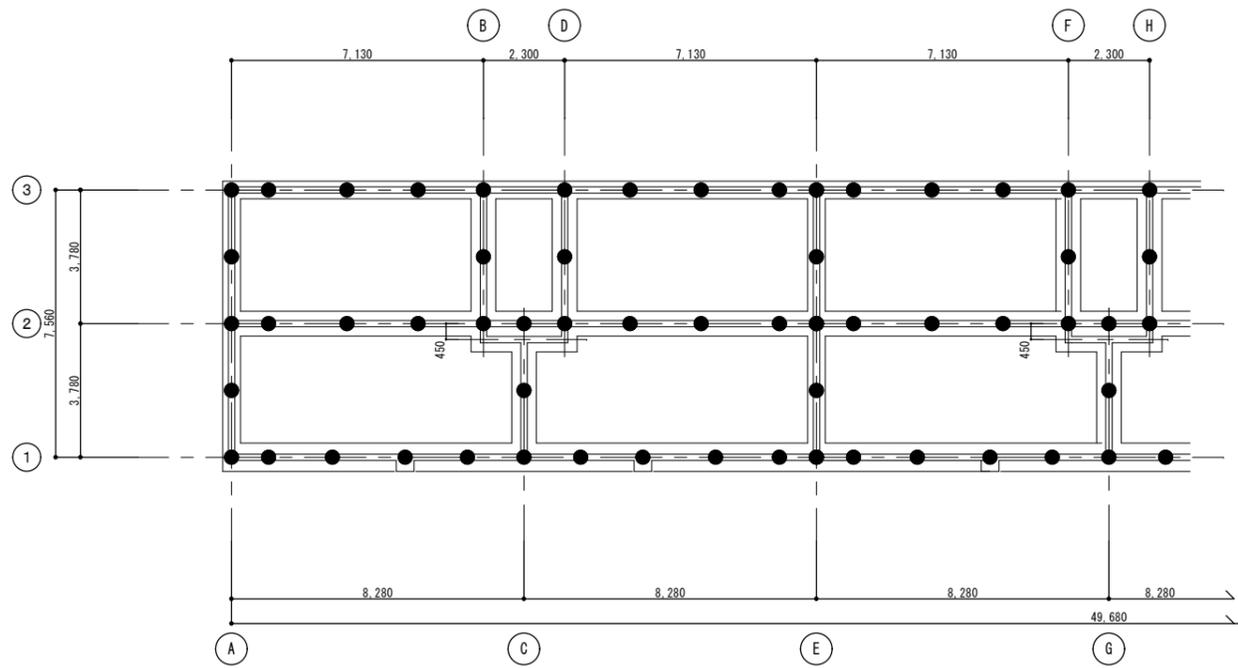


階段室

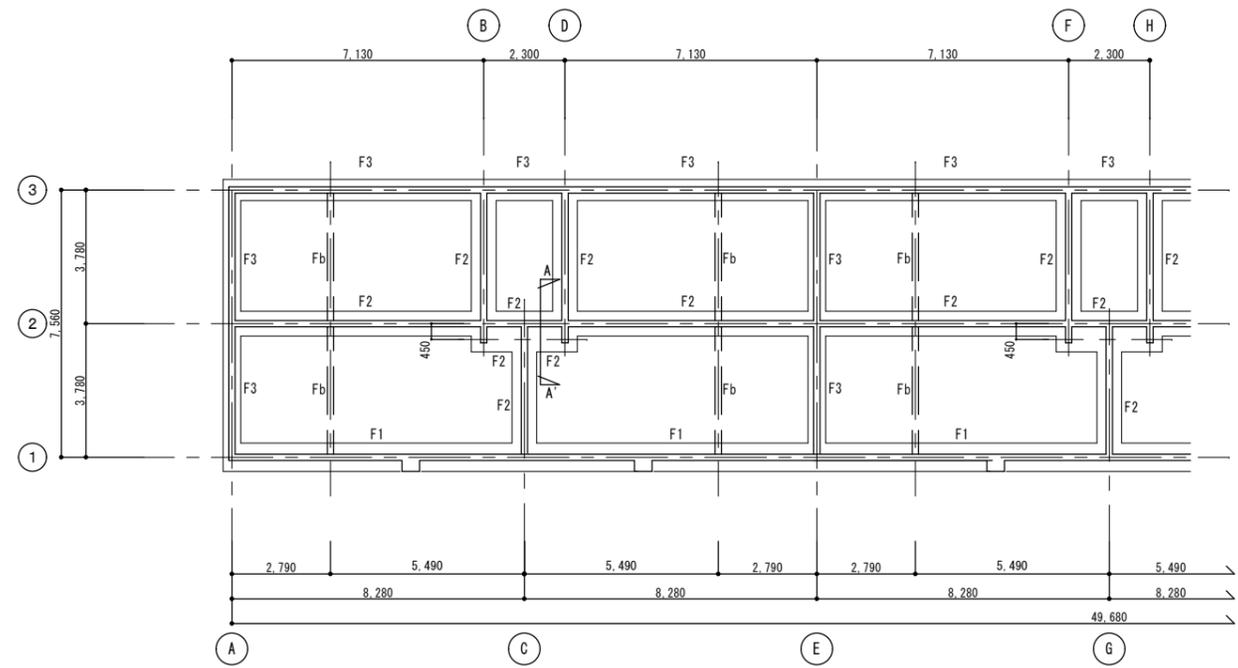


丘 - 6号棟

CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	Check	Drawing	interior design project	1級建築士事務所 (十) 404号 帯広市西16条南6丁目3番18号 TEL (0155) 66-6655	代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 193537号 竹本 泰之	NUMBER
大空団地4街区丘6号棟除却工事	開口部詳細図	A1:1/3 A3:1/6	2025. 3			一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合		管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 158816号 佐藤 有宏	A - 9



杭伏図 1/100 ● PC杭 φ300 杭長 L=7.0 109本
 (杭解体後は、山砂等で埋め戻しを行うこと。)

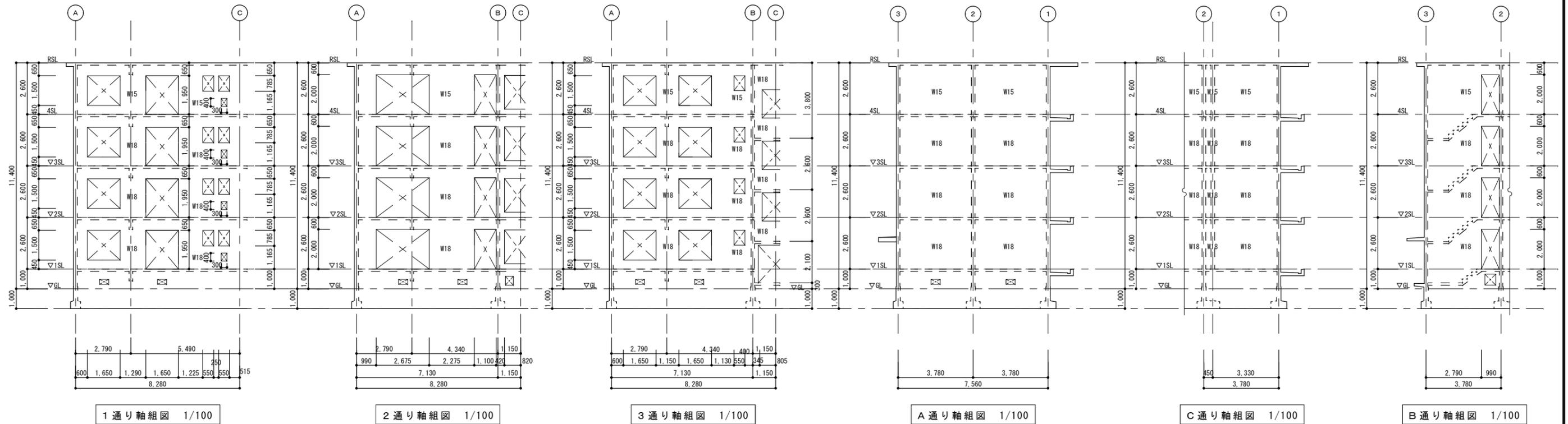
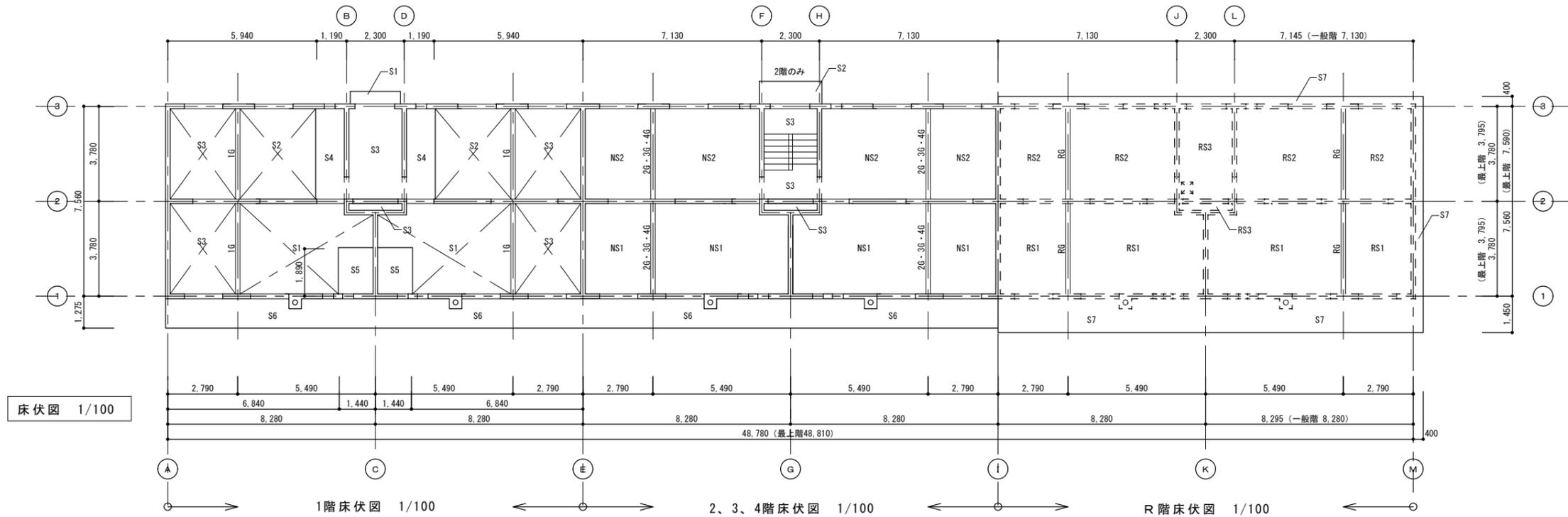


基礎伏図 1/100

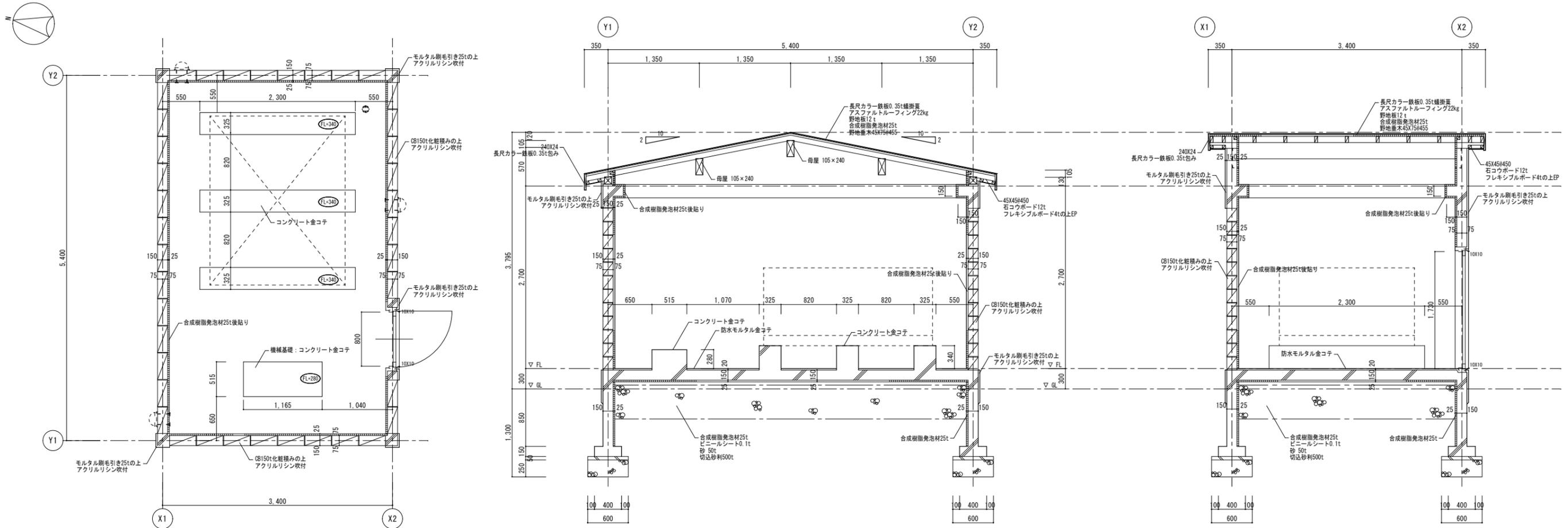
基礎リスト 1/30

F1	F2	F3	A~A' 断面	Fb・2G・3G・4G・RG

丘 - 6号棟

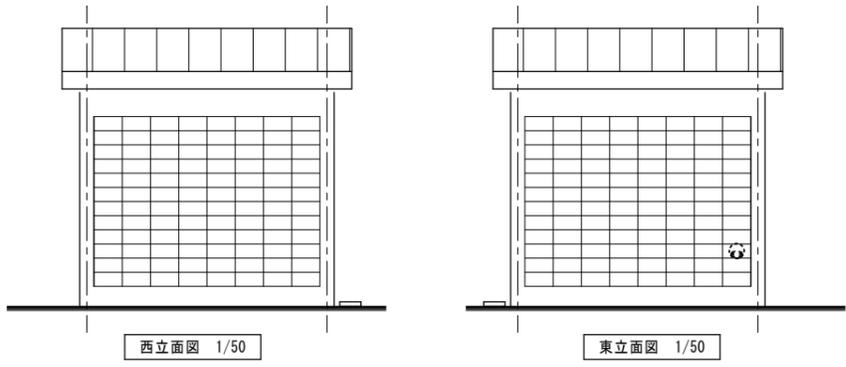


CONSTRUCTION TITLE 大空団地4街区丘6号棟除却工事		DRAWING NAME 床伏図・軸組図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	1級建築士事務所 (+) 404号 帯広市西16条南6丁目3番18号 TEL (0155) 66-6655	丘 - 6号棟	代表となる設計者 1級建築士登録(大臣) 193537号 竹本 憲之	NUMBER A - 11
								管理建築士 1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏		



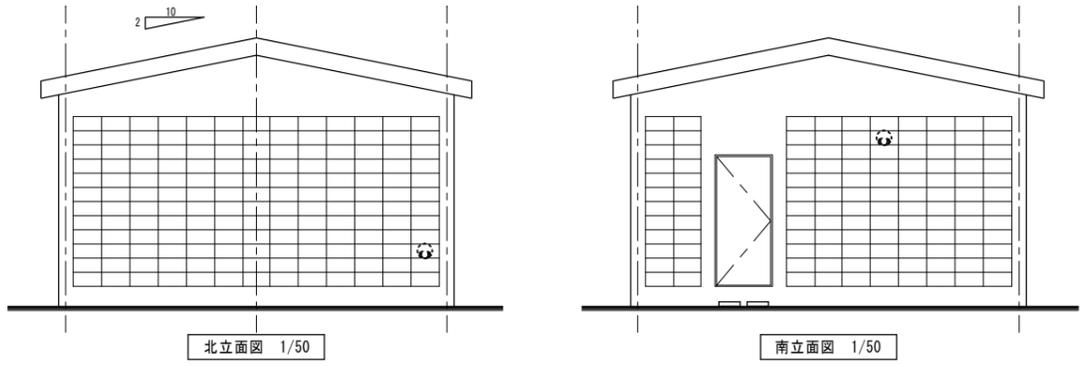
平面図 1/30

矩計図 1/30



西立面図 1/50

東立面図 1/50



北立面図 1/50

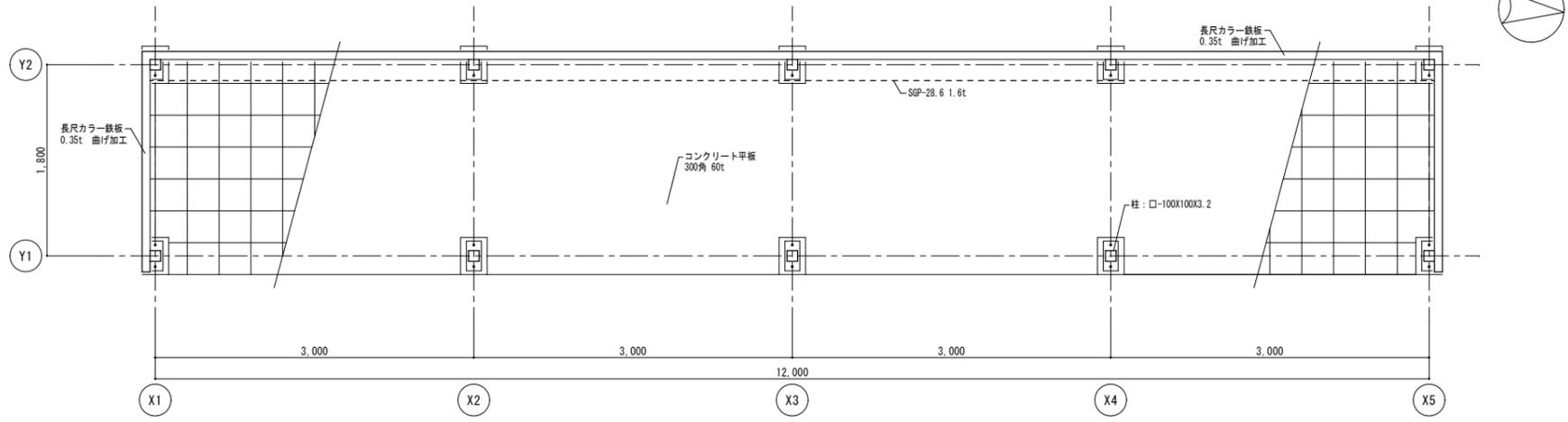
南立面図 1/50

建具表 1/50

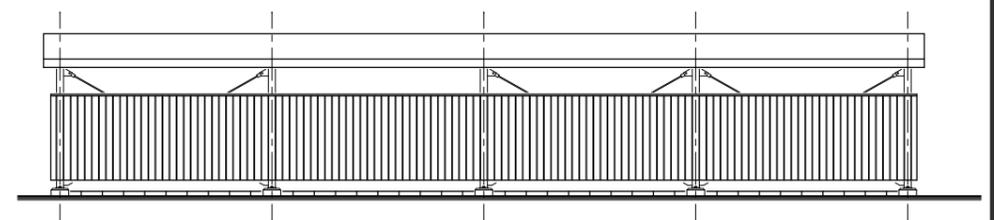
窓	1.730	800
形式	アルミ製片開きフラッシュ戸	
仕上	アルミ (シルバー)	
見込	70	
金物	シリンドー錠、ビス、ビス、ドアチェック	

丘 - 6号棟

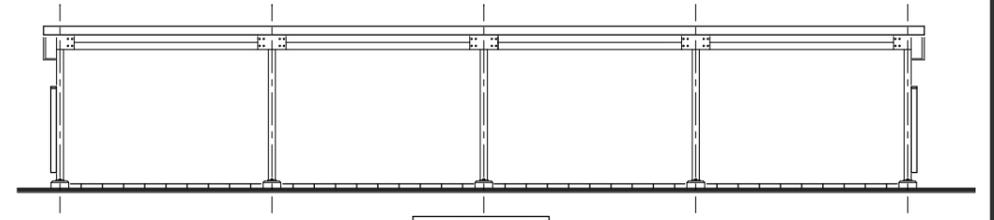
CONSTRUCTION TITLE	DRAWING NAME	SCALE	DATE	Check	Drawing	interior design project	1級建築士事務所 (大) 404号	代表となる設計者	1級建築士登録 (大) 193537号	NUMBER
大空団地 4 街区 丘 6 号棟 除却工事	受水槽棟詳細図	A1:1/30 A1:1/50	2025. 3			一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	帯広市西 1 6 条南 6 丁目 3 番 1 8 号 TEL (0155) 66-6655	竹本 泰之	158816号	A - 1 2



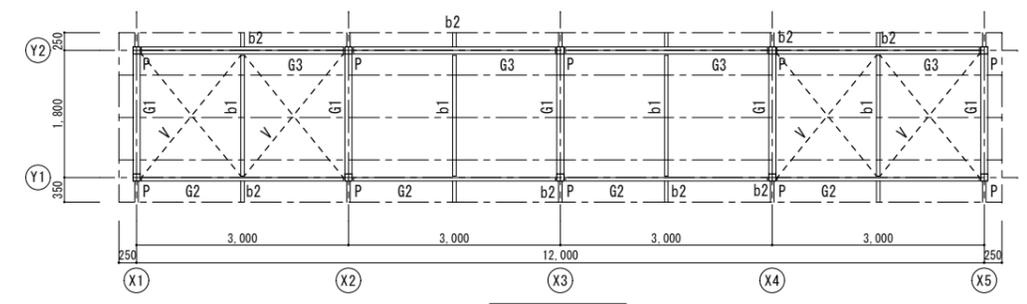
平面図 1/30



西立面図 1/50

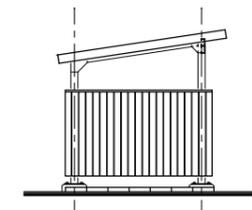


東立面図 1/50

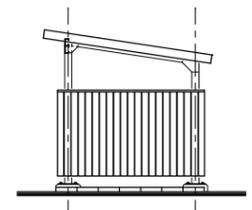


小屋伏図 1/50

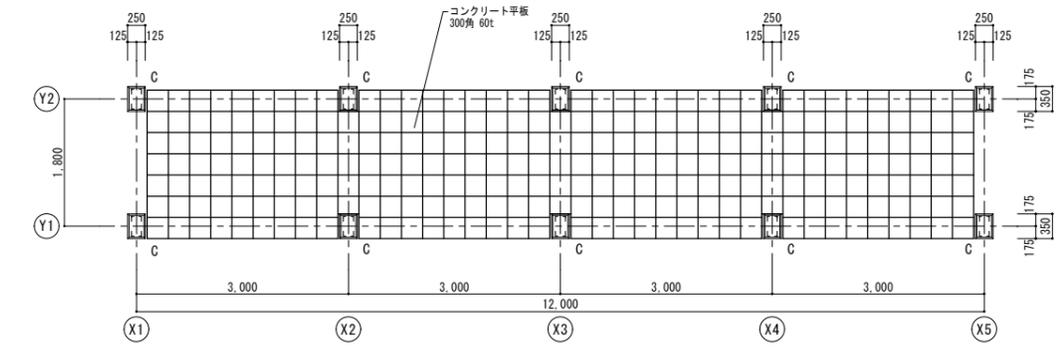
鉄骨部材リスト	
G1	□-100X100X3.2
G2	2C-100X50X20X2.3
G3	2C-100X50X20X2.3
b1	C-100X50X20X2.3
b2	□-50X50X1.6
P	□-100X100X3.2
母屋・胴縁	C-60X30X10X1.6
V	12φ



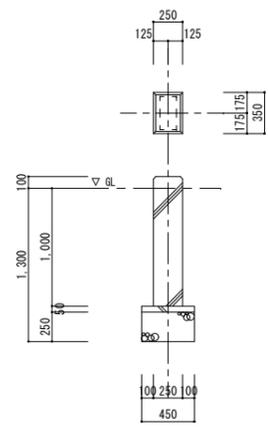
南立面図 1/50



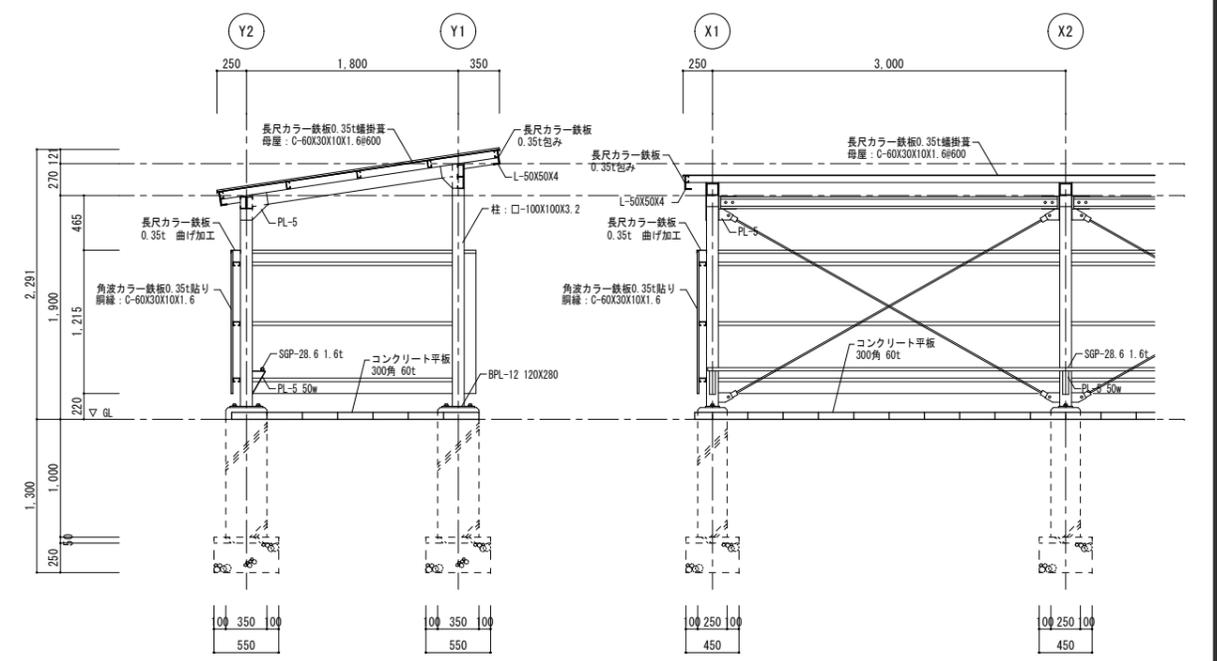
北立面図 1/50



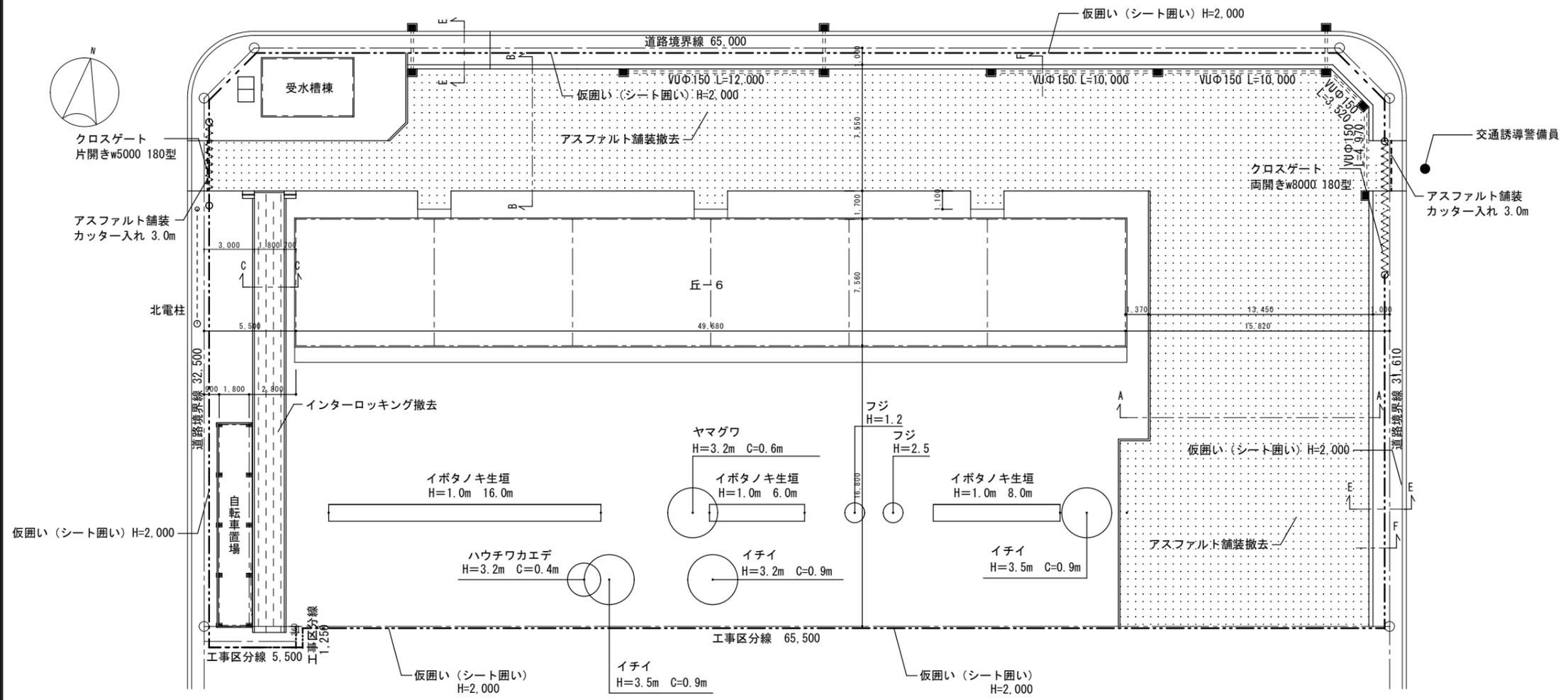
基礎伏図 1/50



C詳細図 1/30



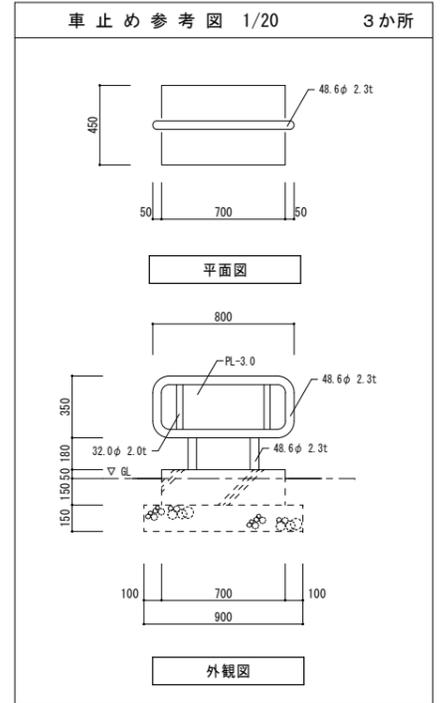
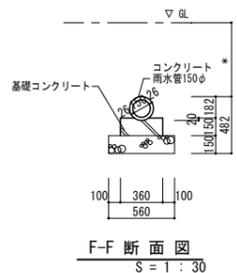
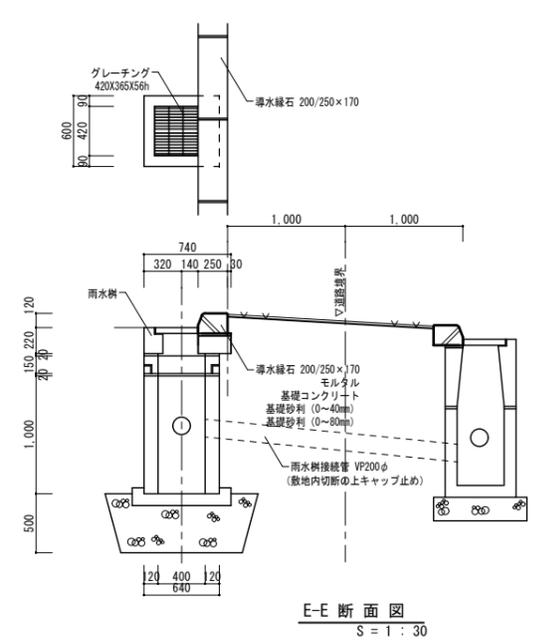
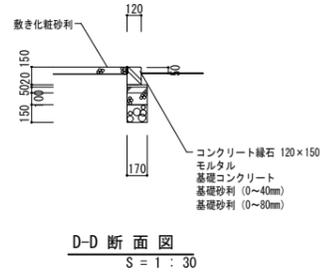
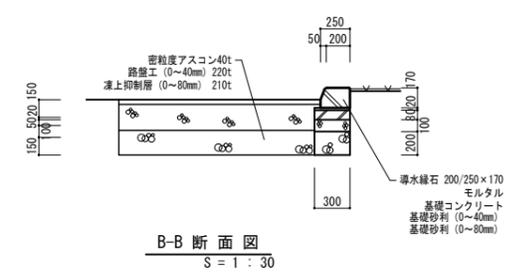
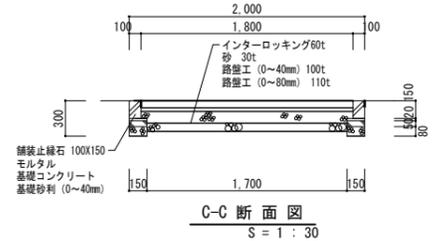
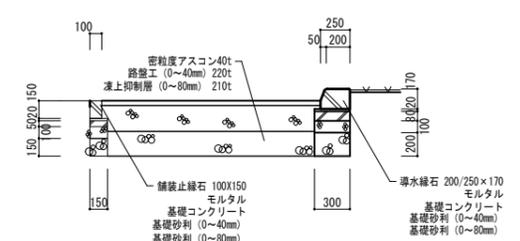
矩計図 1/30



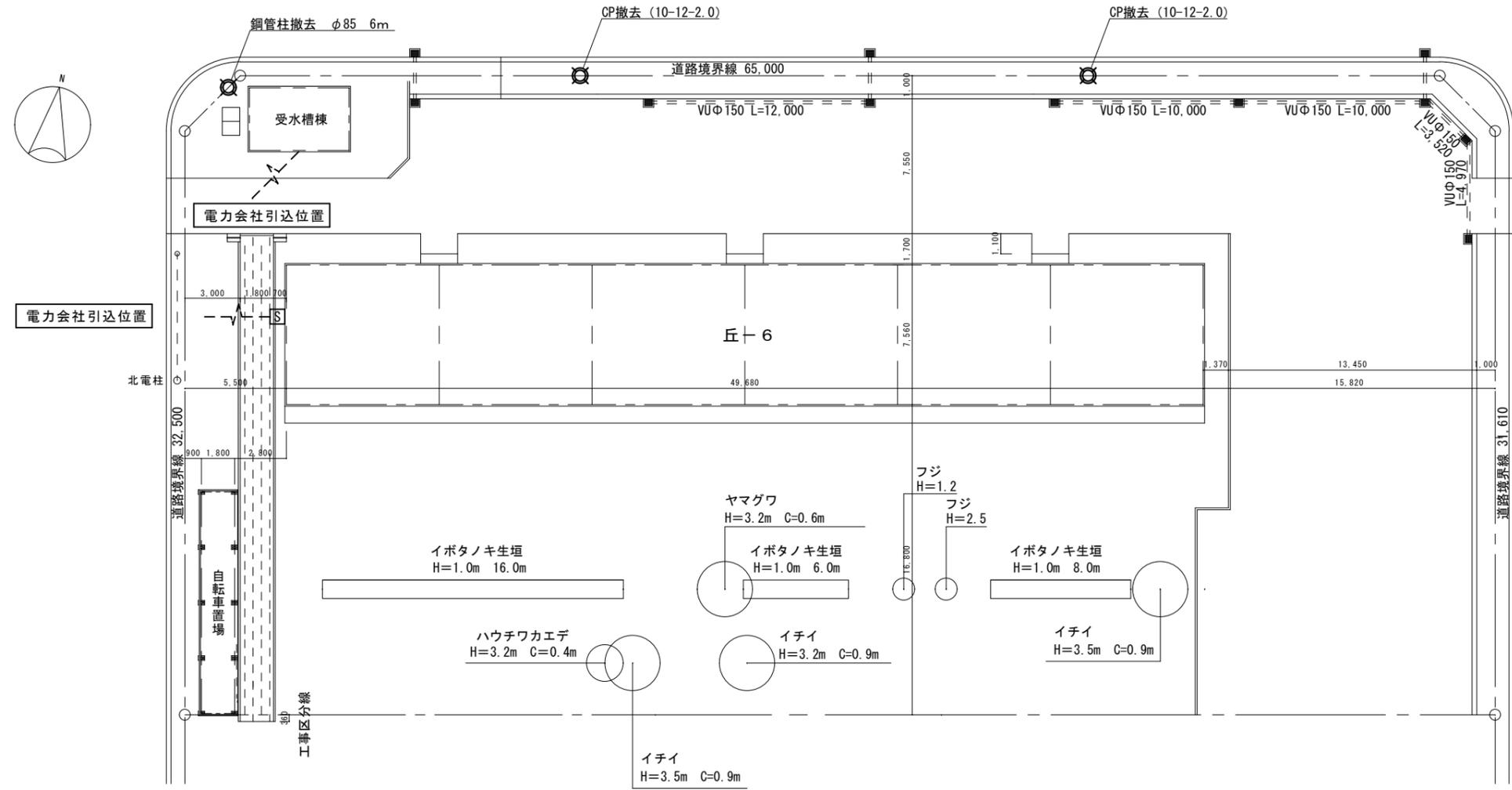
- * 仮囲内構造物は全て撤去する。
- * 建築物解体後の敷地のくぼみを緩勾配とし、危険の無い様に整地する。
- * 路床形成・締固めは敷地全体において実施すること。
- * 工事車両の出入りは、登下校の時間に配慮する等安全を十分確保すること。(西側道路：通学路)
- * 交通誘導警備員を配置すること。

クロスゲート
 仮囲い (シート囲い) H=2,000
 交通誘導警備員

撤去樹木リスト		(全て伐採根とする)
NO.	樹種	形状 寸法
1	イチイ	H=3.5 C=0.90
2	イチイ	H=3.2 C=0.90
3	イチイ	H=3.5 C=0.90
4	ハウチワカエデ	H=3.2 C=0.40
5	ヤマグワ	H=3.2 C=0.60
6	フジ	H=1.2
7	フジ	H=2.5
8	イボタノキ生垣	H=1.0 L=30.0m



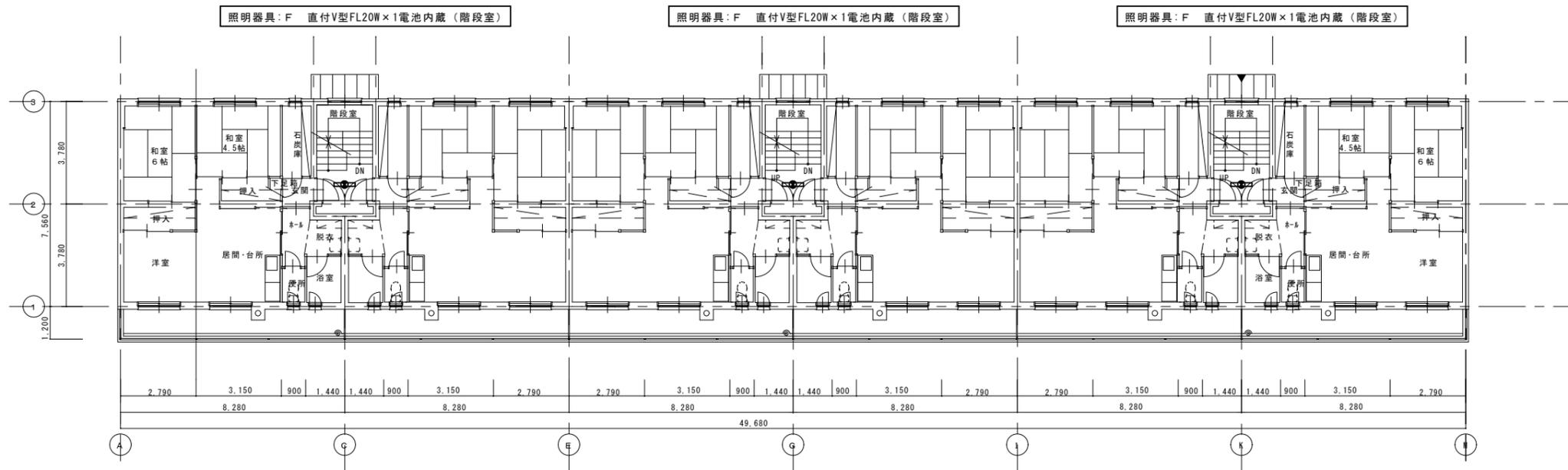
敷地に接する道路敷地内にある外灯撤去		
外灯位置	種類	全長
北道路 西	鋼管柱 85φ	6.000
北道路 中央	CP(10-12-2.0)	10.000
北道路 東	CP(10-12-2.0)	10.000



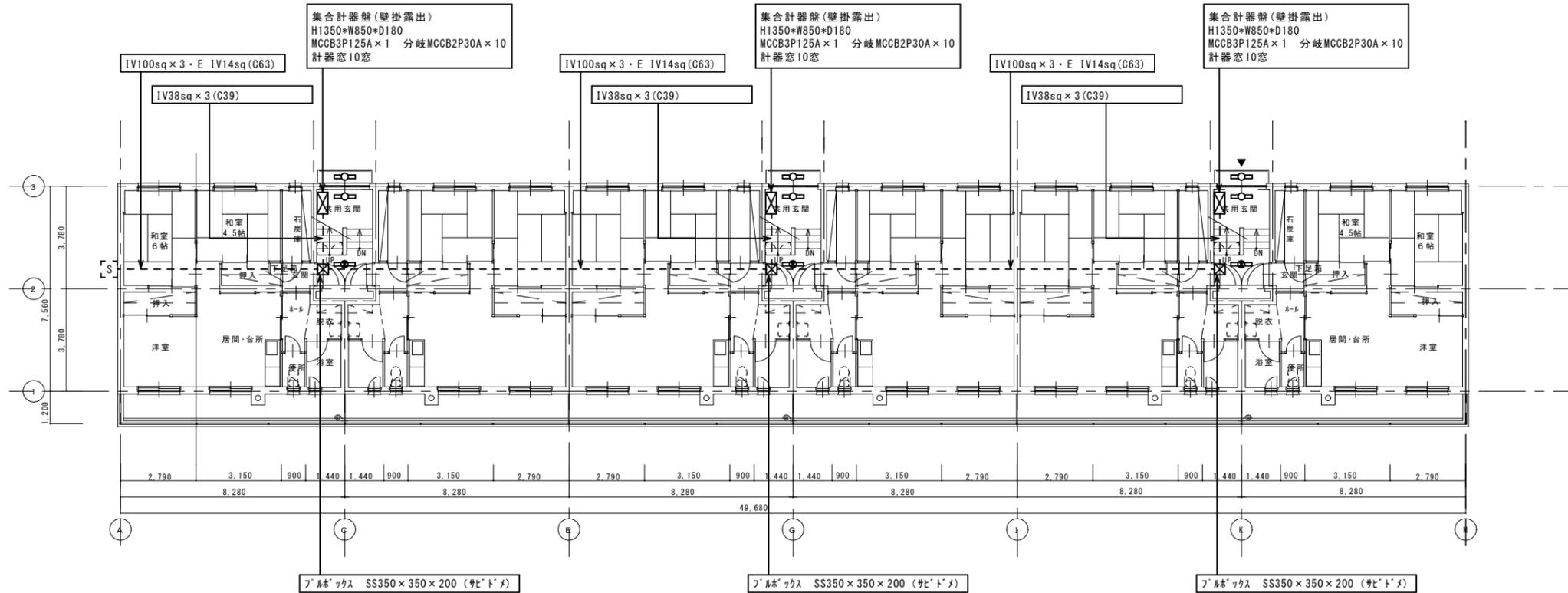
電気設備 外構図 1/100

丘 - 6号棟		
代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 193537号 竹本 泰之	NUMBER E - 1
管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 158816号 佐藤 有宏	

CONSTRUCTION TITLE 大空団地 4 街区丘 6 号棟除却工事	DRAWING NAME 電気設備 外構図	SCALE A1:1/30 A1:1/150	SCALE A3:1/60 A3:1/300	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	1級建築士事務所 (十) 404号 帯広市西 1 6 条南 6 丁目 3 番 1 8 号 TEL (0155) 66-6655
---	--------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------	------------------	--	---

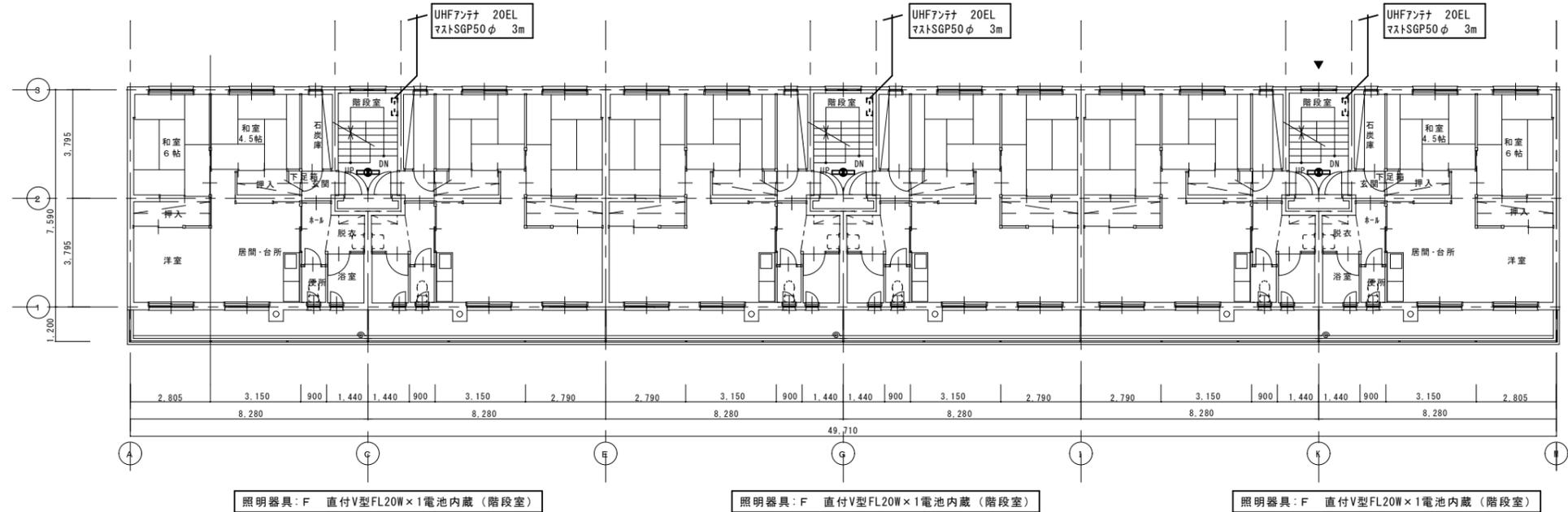


2 階平面図

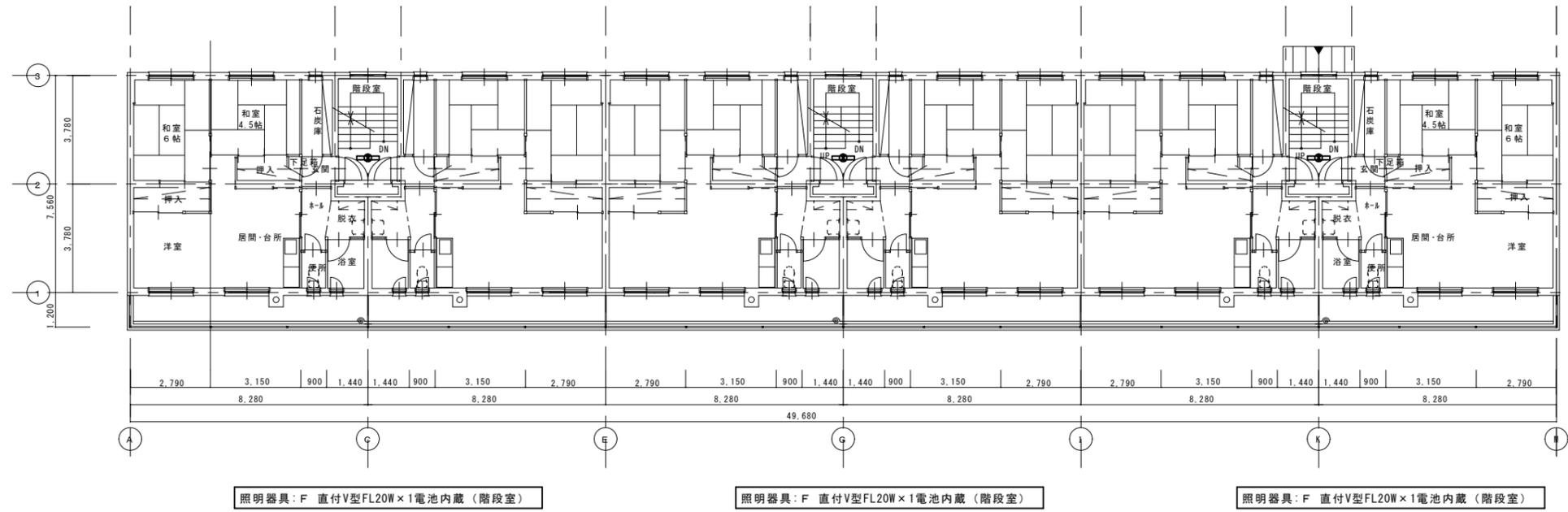


1 階平面図

CONSTRUCTION TITLE 大空団地4街区丘6号棟除却工事		DRAWING NAME 電気設備 1階・2階平面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	丘 - 6号棟	代表となる設計者 1級建築士登録 (大臣) 193537号 竹本 泰之	NUMBER E - 2
							管理建築士 1級建築士登録 (大臣) 158816号 佐藤 有宏		



4 階平面図



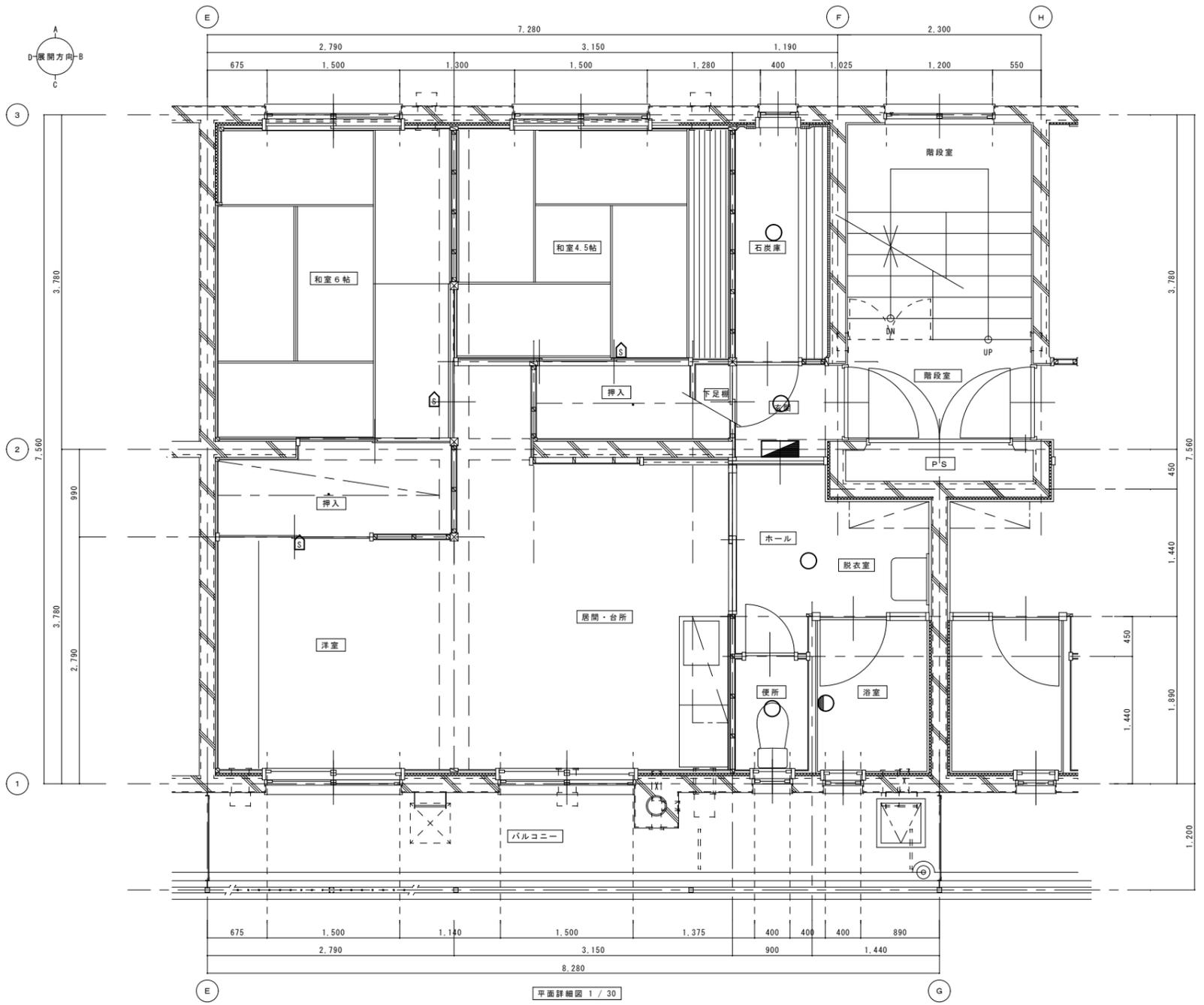
3 階平面図

CONSTRUCTION TITLE 大空団地 4 街区 6 号棟除却工事		DRAWING NAME 電気設備 3 階・4 階平面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	1級建築士事務所 (十) 404号 帯広市西 1 6 条南 6 丁目 3 番 1 8 号 TEL (0155) 66-6655	代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 193537号 竹本 泰之 1級建築士登録 (大臣) 158816号 佐藤 有宏	NUMBER E - 3
--	--	---------------------------------	----------------------------	-----------------	---------------	--	---	-------------------	--	-----------------

丘 - 6 号棟

石炭庫
シーリングライトIL40W ~1

玄関
シーリングライトIL60W ~1



凡例	記号	名称	仕様
	🏠	住戸用火災報知器	煙式(電池式)

住戸電灯盤(樹脂製露出取付)
H230×W330×D60
契約ブレーカ2P30A 主幹ELB2P30A
分岐MCCB2P20A×2 SP×1

ホール・脱衣
シーリングライトGW60W ~1

便所
シーリングライトIL40W ~1

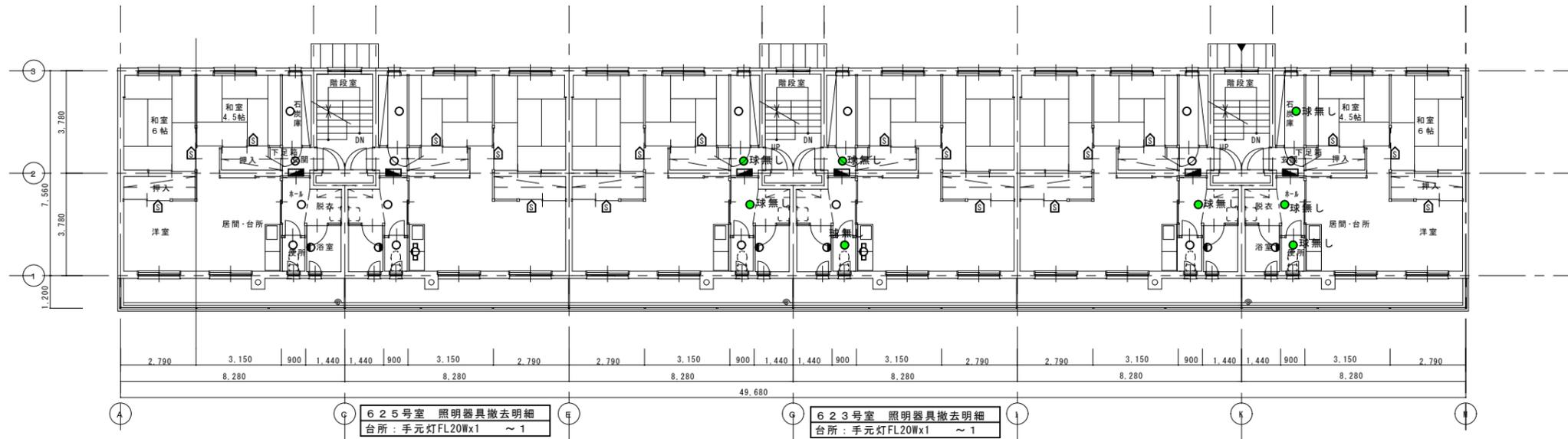
浴室
コップ型ブラケットIL40W ~1

※各器具は全て撤去、再使用無
※各戸ごとに電球撤去済みの器具等があるため
別紙 1・2階平面図 3・4階平面図にて詳細記載

平面詳細図 1 / 30

丘 - 6号棟

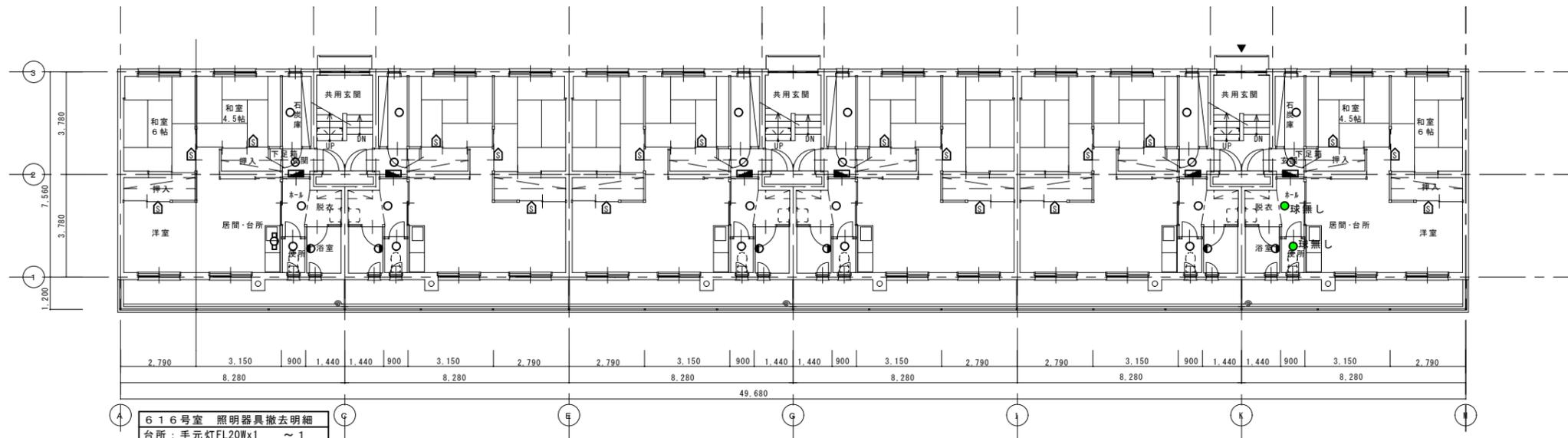
CONSTRUCTION TITLE 大空団地4街区丘6号棟除却工事	DRAWING NAME 電気設備 平面詳細図	SCALE A1:1/30 A1:1/50	SCALE A3:1/60 A3:1/100	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	1級建築士事務所(有)404号 帯広市西16条南6丁目3番18号 TEL (0155) 66-6655	代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録(大臣)193537号 竹本 泰之 1級建築士登録(大臣)158816号 佐藤 有宏	NUMBER E - 4
---------------------------------------	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	-----------------	------------------	--	---	-------------------	--	-----------------



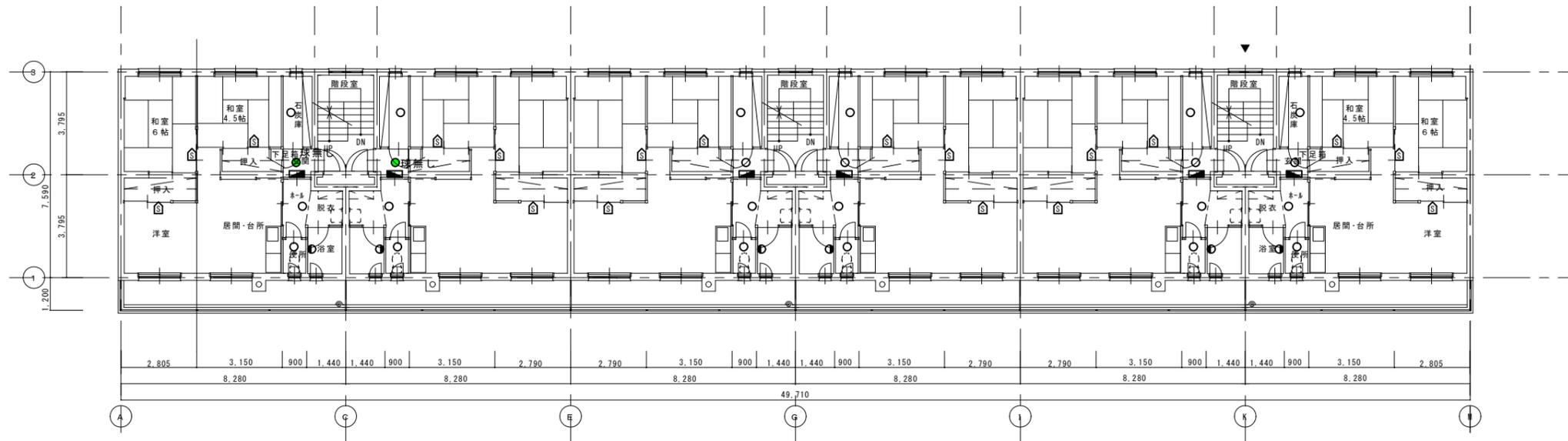
2 階平面図

各住戸共通 撤去機器明細

住戸電灯盤 H230×W330×D60 (樹脂製露出型) 契約7'レカ-2P30A 主幹ELB2P30A 分岐SB2P20A×2 SP×1			石炭庫 シーリングライト1L40W~1	浴室 コップ型ブラケット1L40W ~ 1
記号 名称 仕様 住戸用火災報知器 煙式 (電池式)			ホール・脱衣 シーリングライト6W60W~1	玄関 シーリングライト1L60W ~ 1
			便所 シーリングライト1L40W~1	※電球撤去済み器具は 図中に個別指示



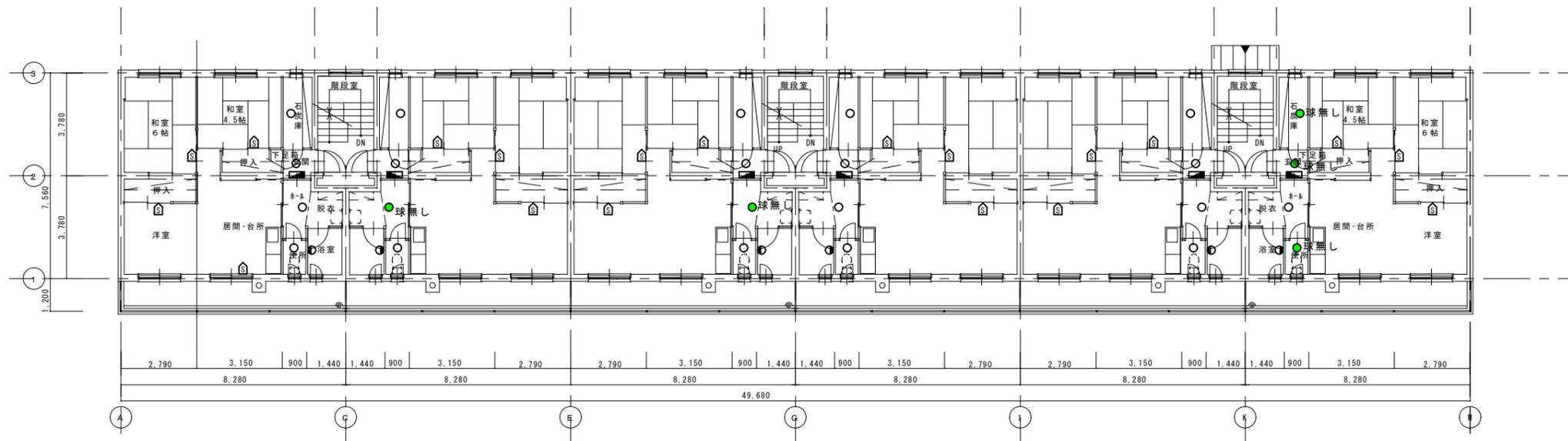
1 階平面図



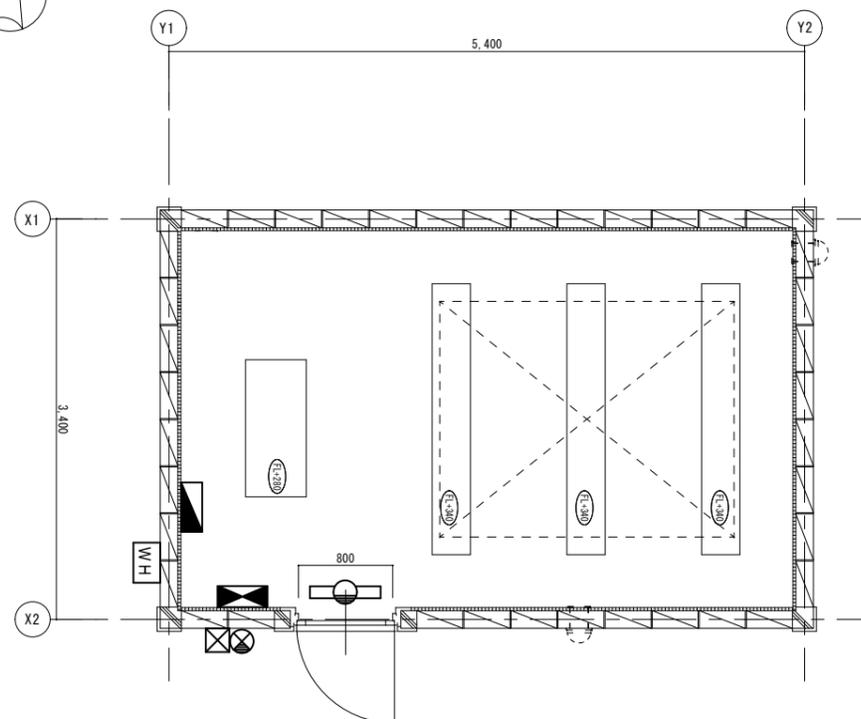
4階平面図

各住戸共通 撤去機器明細

住戸電灯盤 H230×W330×D60 (樹脂製露出型) 契約ブレーカ-2P30A 主幹ELB2P30A 分岐SB2P20A×2 SP×1			石炭庫 シーリングライトIL40W~1 ホール・脱衣 シーリングライトGW60W~1	浴室 コップ型ブラケットIL40W ~1 玄関 シーリングライトIL60W ~1
記号	名称	仕様	便所 シーリングライトIL40W~1	
記号	名称	仕様	※電球撤去済み器具は 図中に個別指示	
記号	名称	仕様		
記号	名称	仕様		



3階平面図



受水槽室
直付V型FL20W × 1 ~ 1

動力盤
H700 × W500 × D200 (露出型壁付)
主幹ELB3P50A
分岐MCCB3P7.3A × 1 MCCB2P20A × 2

電灯盤 1
H300 × W400 × D120 (露出型壁付)
ELB2P15A × 1
電線管端部2面所にアスベスト含有

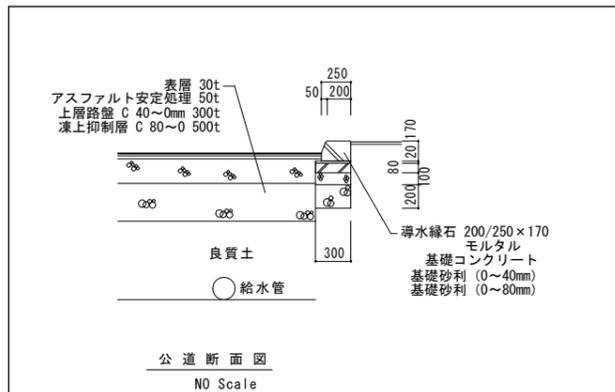
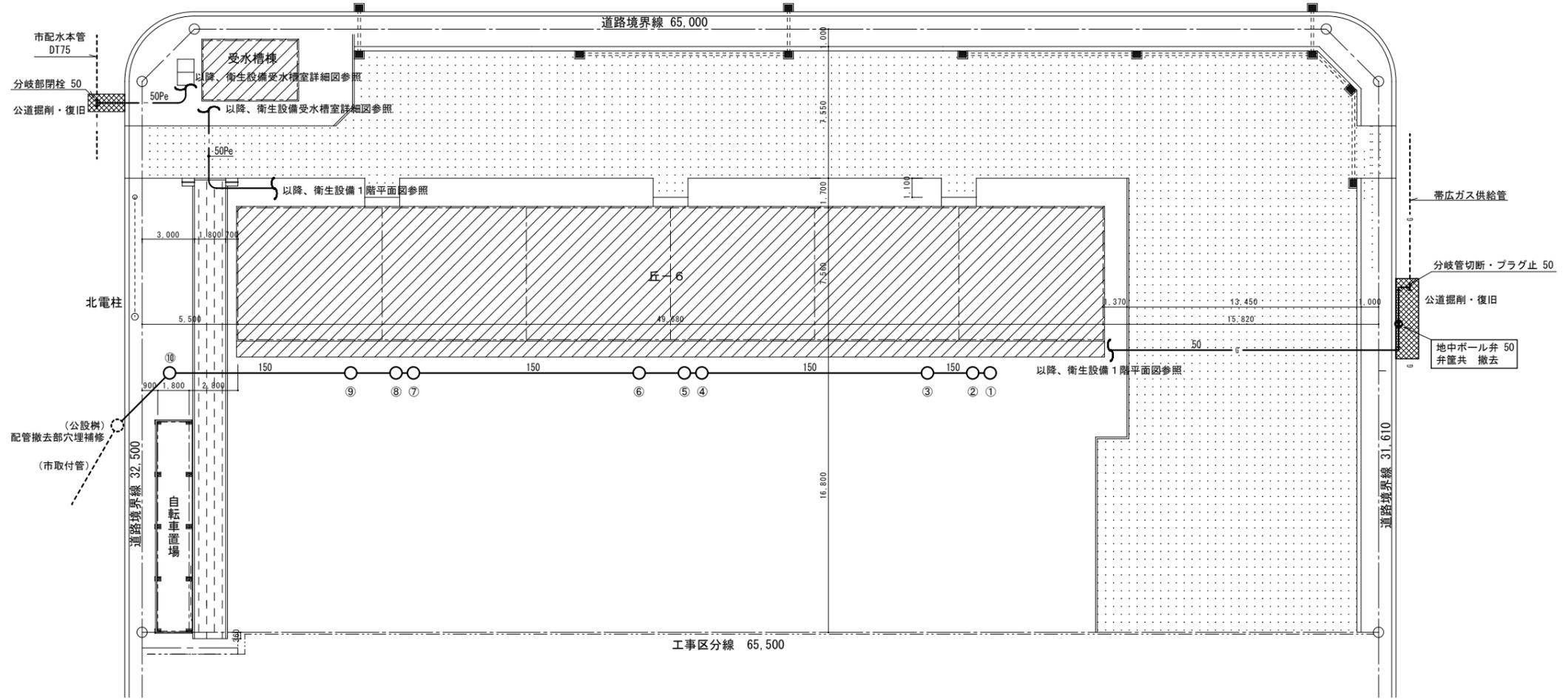
電力量計及び収納BOX
撤去は電力会社工事

150φ屋外用回転灯
壁面取付 (フック金具)
配線接続用フック
樹脂製 150 × 150 × 75

平面図 1/30

丘 - 6号棟

CONSTRUCTION TITLE 大空団地 4 街区丘 6 号棟除却工事	DRAWING NAME 電気設備 受水槽棟詳細図	SCALE A1:1/30 A1:1/50	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	代表となる設計者	1級建築士登録(大臣) 193537号 竹本 泰之	NUMBER
						管理建築士	1級建築士登録(大臣) 158816号 佐藤 有宏	E - 7



撤去樹一覧表

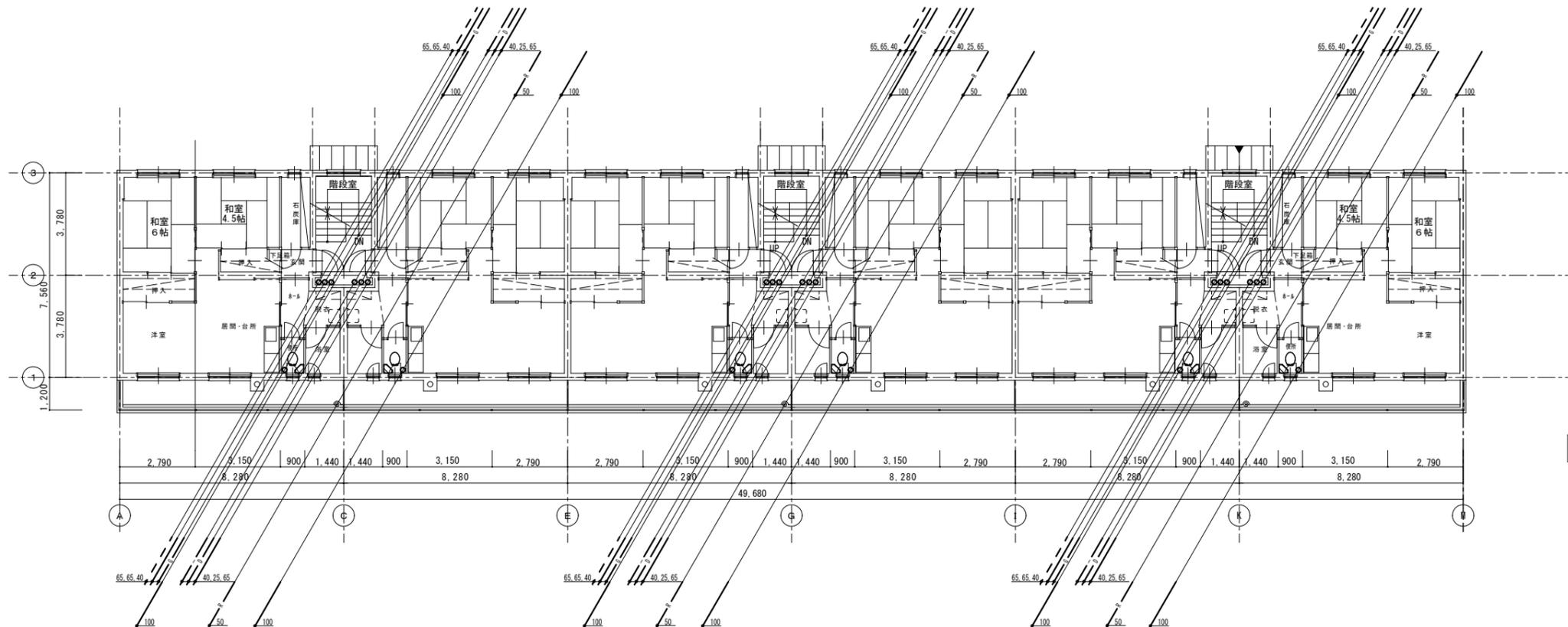
記号	名称	仕様	寸法	数	備考
①	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 500H	1	
②	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 510H	1	
③	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 530H	1	
④	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 670H	1	
⑤	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 680H	1	
⑥	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 700H	1	
⑦	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 840H	1	
⑧	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 850H	1	
⑨	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 870H	1	
⑩	汚水樹	コンクリート製インバート樹 MHR蓋	600φ × 950H	1	

汚水樹・排水管は洗浄後破棄する

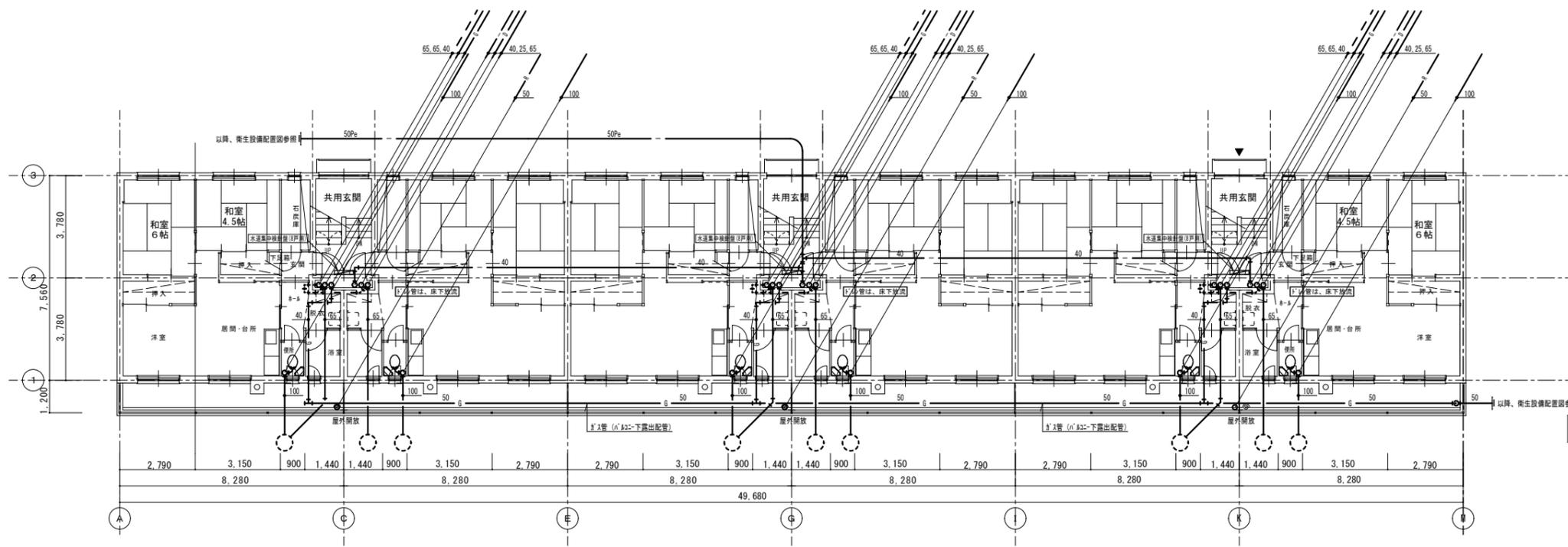
使用管種

名称	場所	仕様
給水管	屋外・土中	水道用ポリエチレン管
	屋内	塩ビライニング管
汚水管	屋外・土中	硬質塩化ビニル管
	屋内	硬質塩化ビニル管
雑排水管	屋内	硬質塩化ビニル管
通気管	屋内	硬質塩化ビニル管
水抜管	屋内	配管用炭素鋼管
ガス管	屋外・土中	外面被覆鋼管
	屋内	配管用炭素鋼管

丘 - 6号棟

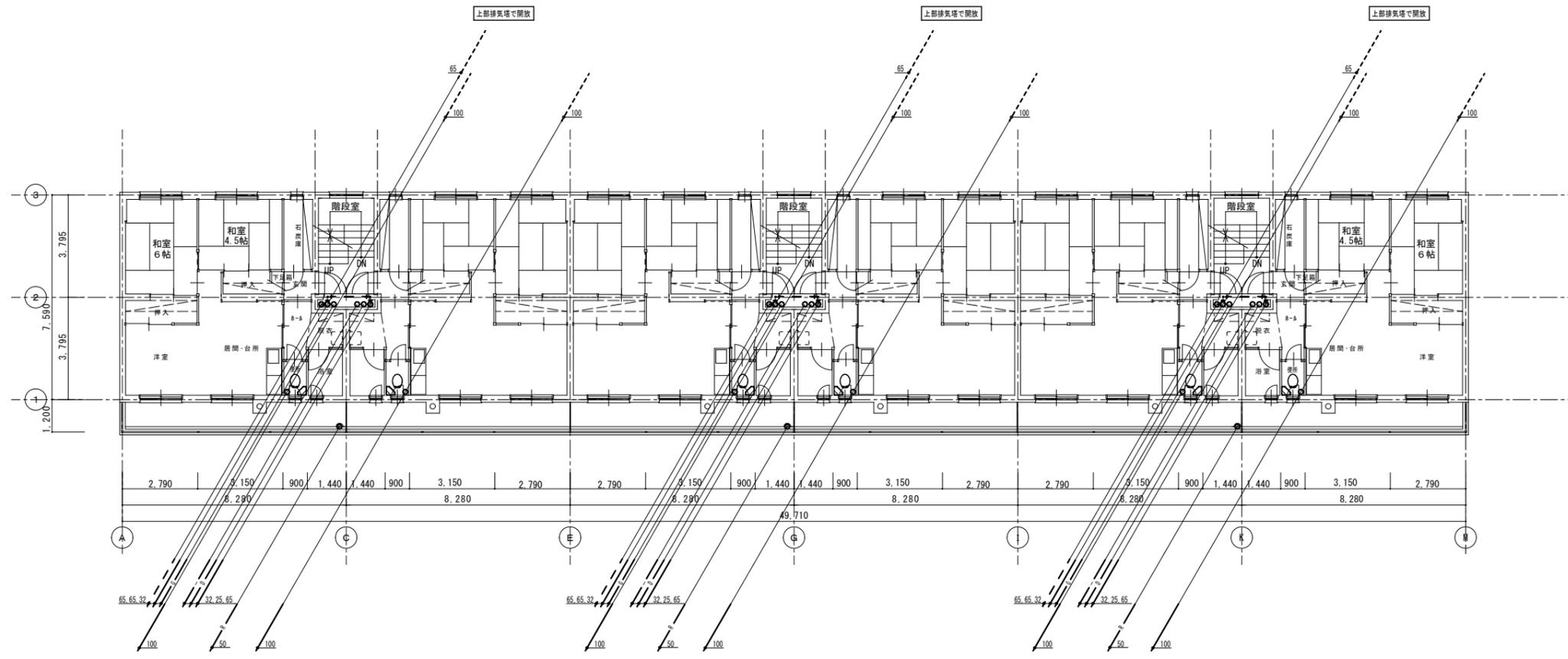


2 階平面図

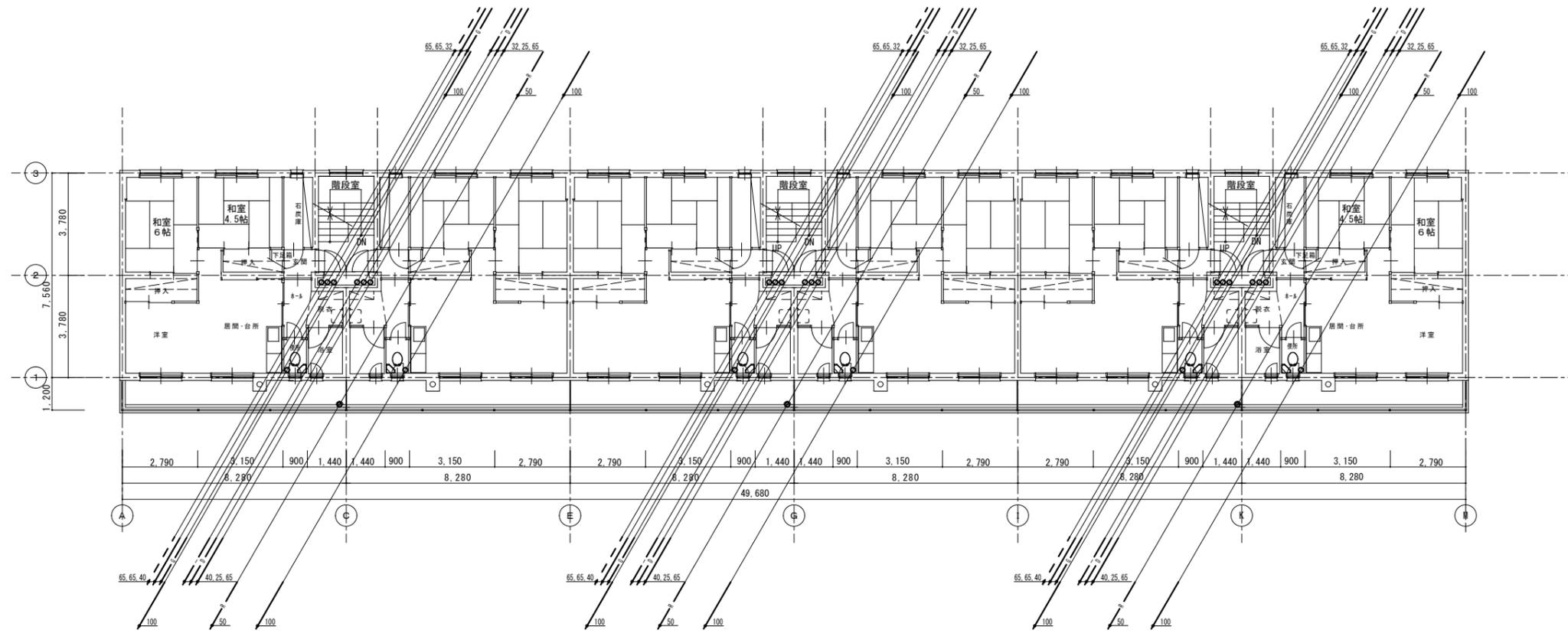


1 階平面図

CONSTRUCTION TITLE		DRAWING NAME		SCALE		DATE		Check Drawing		interior design project		丘 - 6号棟	
大空団地4街区丘6号棟除却工事		衛生設備 1階・2階 平面図		A1:1/100 A3:1/200		2025. 3				1級建築士事務所 (大匠) 193537号 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合		代表となる設計者 管理建築士	
										1級建築士登録 (大匠) 193537号 竹本 憲之		NUMBER M - 2	
										1級建築士登録 (大匠) 158816号 佐藤 有宏			

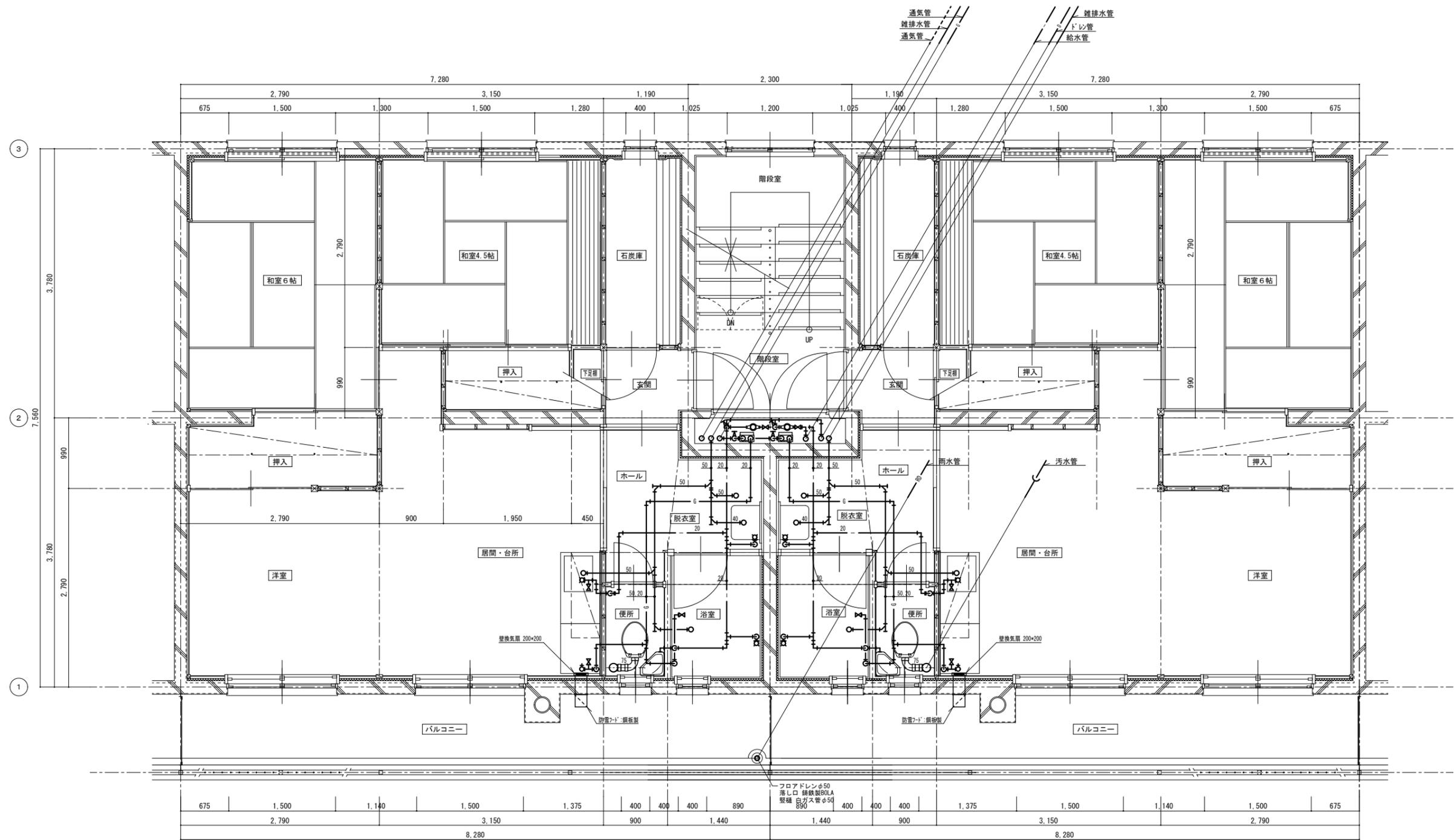


4 階平面図



3 階平面図

CONSTRUCTION TITLE 大空団地 4 街区丘 6 号棟除却工事		DRAWING NAME 衛生設備 3階・4階 平面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	1級建築士事務所 (+) 404号 帯広市西 1 6 条南 6 丁目 3 番 1 8 号 TEL (0155) 66-6655	丘 - 6 号棟 代表となる設計者 管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 193537号 竹本 憲之 1級建築士登録 (大臣) 158816号 佐藤 有宏	NUMBER M - 3
---	--	--------------------------------	----------------------------	-----------------	------------------	--	---	-------------------------------	--	-----------------



撤去機器表

名称	仕様	1戸当り	1棟当り	備考
洋風大便器	隅付0-9ヶ	1	24	
洗面器	水栓 1個	1	24	
水栓	単水栓 13φ	2	48	
量水器	20φ	1	24	
ガスコック	可とう管コック	2	48	
ガス栓	1口	1	24	
ガスメーター	都市ガス用	1	24	
換気扇	200×200	1	24	防音7-d'撤去は、建築工事

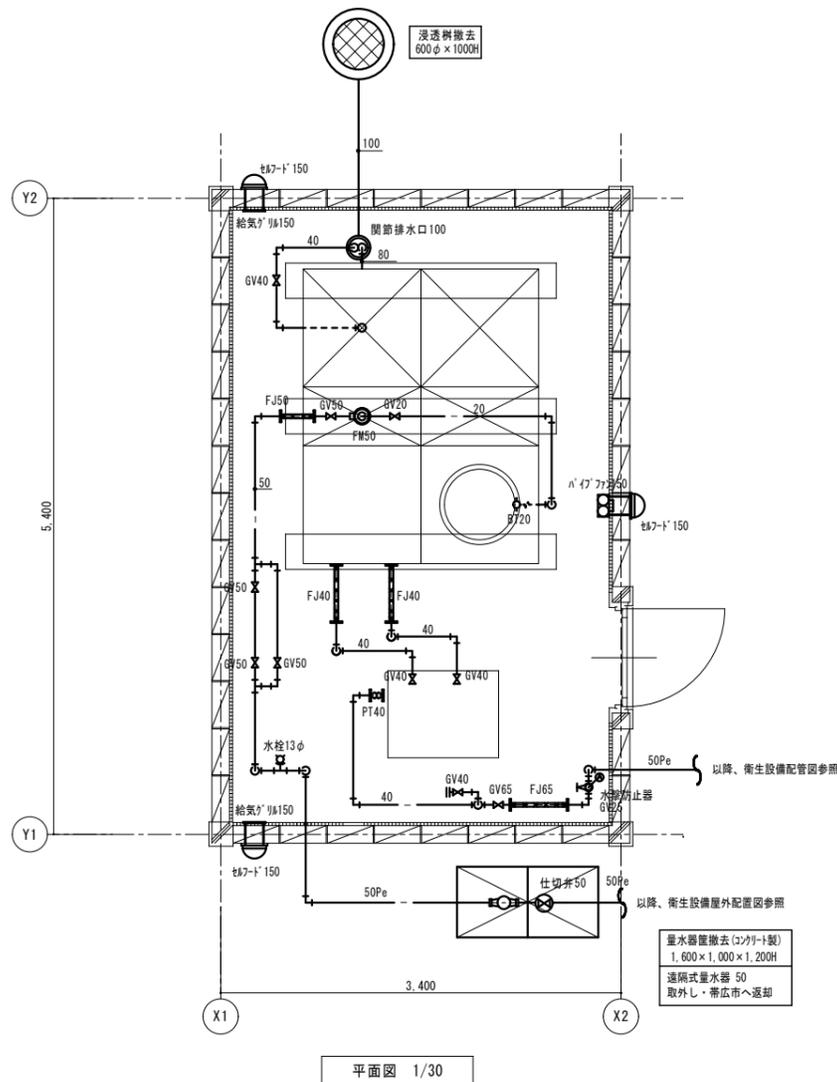
アスベスト含有箇所撤去

場所	名称	仕様	1箇所当り	1棟当り	備考
P.S内	フランジパッキン	フランジ 40	1	12	
	給水管	11/4" 20	5	60	

場所	名称	仕様	1戸当り	1棟当り	備考
便所	給水管	11/4" 20	1	24	
	汚水管	11/4" 75	1	24	
浴室	給水管	11/4" 20	1	24	
	給水管	11/4" 20	1	24	
脱衣室	給水管	11/4" 20	1	24	

特記
 本図は、各階共通図とする。
 1階ビット内排水主管は、一般平面図による。
 給水・ガス管は、天井内配管
 排水管は、下階天井内配管（1階は、ビット内配管）

丘 - 6号棟



衛生機器表

記号	名称	仕様	数	備考
WT-1	受水槽	有効貯水量：5,000L	1	コンクリート基礎の撤去は建築工事
		FRP製 1槽式		
		外形寸法：2,500×2,000×1,000H		

アスベスト含有箇所撤去

記号	名称	仕様	数	備考
	ユニオン・フランジ・ナット	・ユニオン 20	1	
		・フランジ 40	4	
		・フランジ 50	7	
		・フランジ 65	3	
	給水配管保温材	・仕様 40	1	
		・仕様 50	1	
		・仕様 65	2	

※ 本図は撤去工事を示す

丘 - 6号棟

CONSTRUCTION TITLE 大空団地 4 街区丘 6 号棟除却工事	DRAWING NAME 衛生設備 受水槽棟詳細図	SCALE A1:1/30 A3:1/60	DATE 2025. 3	Check Drawing	interior design project 一級建築士事務所 まちの建築家 あくていぶネット協同組合	1級建築士事務所 (十) 404号 帯広市西 1 6 条南 6 丁目 3 番 1 8 号 TEL (0155) 66-6655	代表となる設計者	1級建築士登録 (大臣) 193537号 竹本 泰之	NUMBER M - 5
							管理建築士	1級建築士登録 (大臣) 158816号 佐藤 有宏	